新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
定價 本紙一部五錢 一ヶ月壹圓五十錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話(編輯局專用(3)三二〇五 營業局專用(3)三三〇〇)
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

緩衝地帶として ポーランド復活か

獨、方針未決定と聲明

【ニューヨーク廿日發國通】廿日のU・P・ロンドン電報に依れば亡命ポーランド政府のザレスキー外相は先週チェンバレン首相並にハリファックス外相と會談の際イギリスが戰爭目的を達したる場合もソ聯のポーランド領の返還を要求しないものと傳へられ、一方フランス政府としては十九日宣言を發しポーランド領の曩の世界大戰前までドイツ領であつたダンツィッヒの地方だけを正式にドイツに返還する旨を明かにしたが、殘餘の領土即ちドイツ軍の占領してゐる舊ポーランド國の(總面積の六割六分)地區に對しては何等の言明もなさず、ソ聯は未だ手をつけてゐないので今後外交折衝の如何によつては新たに緩衝國としてポーランドの復活する可能性が存するわけである、從つて萬一英獨兩國が妥協するやうな事態が發生した場合には交渉の有力なる基礎として利用されることにならうと見られて居る

【ベルリン廿日發國通】ドイツ軍占領下の舊ポーランド領を如何に處理するかについては各方面の注目するところとなつてゐるがドイツ政府當局は廿日新聞記者團との會見に於て舊ポーランド領に對するドイツ政府の方針は未だ決定してゐないことを示唆して次の如く語つた

ポーランドに關する凡有る問題は現在のところ過渡的の狀態に置かれて居るといつてもよい、獨立國ポーランドが建設されるか否かに對しては未だ言明の限りではない

右に關してヒトラー總統は十九日宣言を發してベモルズポメラニア、上部シレジアの舊獨領三地方を正式にドイツ領に編入する旨發表したが爾餘のドイツ軍占領下にあるポーランドに對しては何等言明を行はなかつたことは意味深いことゝして注目されてゐる、一方少數民族交換協定に基きバルチック諸國からのドイツ少數民族は最近續々ドイツ本國に歸還しつゝあるが現在のところこれら引揚人の大部分は醫者、教師、法律家等に限られ未だ定住的の農民の歸還は餘り見受けられない

トルコを中立國と 今後見做せない

獨不快の色を示す

【ベルリン廿日發國通】十八日急遽歸國の途についたフォン・パーペン駐土獨大使は廿日午後ベルリンに到着した、同大使はヒトラー總統に對しトルコをめぐる近東バルカン最近の情勢就中今回成立をみた英、佛、土相互援助條約に關し詳細報告する筈であるが、ドイツ政府は英、佛、土三國條約を締結したトルコの態度に極めて不快の色を示してをり、ドイツ官邊は廿日ドイツは今後トルコを中立國と見做し得ない旨左の如く語つた

英佛土條約締結でトルコは危險なる途を擇んだといはねばならぬ、トルコは今やバルカンに不安狀態を釀成せんとする英國の手先となつたのだ、トルコがその附屬議定書において對ソ戰には參加しないといふ留保をなしてゐる點はドイツにとつて有利な拔道とみることが出來るが、英國がダーダネルス海峽の支配權を握らんとする場合にトルコがこれを默認する態度に出た以上ドイツとしても今後トルコを中立國と見做すわけには行かない

閑院參謀總長宮殿下御祝電

閑院參謀總長宮殿下には滿鐵々道運營一萬キロ祝賀に當り大村總裁宛左の如き御祝電を賜つた

祝電

滿鐵運營鐵道一萬キロ開通に當り日滿兩國々防、交通に寄與したる功績に對し敬祝の意を表す

本事業に殉職せる英靈を弔ひ且本事業に參加せる各位に辛勞を多とす

西部戰線へ進む佛土民兵

滿洲開拓審議會

來週中に第二回總會

【東京國通】前內閣時代設立された滿洲開拓審議會は去る八月一日總會を開催して以來諮問案特別委員會で答申案を決定したまゝ總會に附議するに至らなかつたが金光拓相は來週中に第二回總會を開くことに決定、二十一日會長阿部首相を官邸に訪問して打合せを遂げた、而して同總會に附議さるべき答申案中委員會で論議の中心となつた滿洲拓殖株式會社と滿鮮拓殖株式會社との合併については既に日滿關係當局の間に意見一致を見て居り、同會に於ても論議は重ねられるにしても事實は原案通りに行はれる事にならう

對日と對支を區別

特產輸出組合結成方針成る

政府は特產專管制實施に伴ひ特產三品の仕向地別輸出數量の調整を行ふため過般全滿輸出業者を新京に招致し左記要領に基く地區別組合を結成せしめ同組合を通し專管公社より各業者に數量割當を實施する方針である旨を表明した、仍て各地業者は目下組合結成準備中であるが、遲くとも廿五日頃までには所要手續を經て結成完了、十一月一日專管制實施と同時に業務開始の豫定である、なほ特產品の對日及び對支輸出割當數量ならびに價格協定は來年度物動計畫の正式解決と同時に決る筈であるが、政府當局の豫定年間數量に日本向は大豆八十萬瓲豆粕八十萬瓲乃至百萬瓲、支那向は大豆十萬瓲、豆粕十萬瓲(追加分として更に十萬瓲を豫定)豆油二萬瓲乃至三萬瓲と見積られてゐるが、內外情勢の變化に應じ幾分變更を見る筈で差し當り十一、十二兩月分割當を決定實施する方針である

一、對日輸出組合を大豆、豆粕の兩部に分ち大連、安東營口、北鮮及び哈爾濱の各地別にこれを設置し各組合の管轄區域は左の通り

大連組合(關東州)、安東組合(安東省、通化省)營口組合(奉天省、錦州省、熱河省、興安西南省)北鮮組合(間島省、牡丹江省、東安省、三江省、北鮮三港)、哈爾濱組合(濱江省、龍江省、吉林省、新京特別市、黑河省、北安省、興安東北省)

なほ右組合員たるの資格は大豆部においては過去三ヶ年間の平均年間輸出實績十車以上の者、豆粕部においては過去三ヶ年間輸出實績三百噸以上の者たることを要す

二、對支輸出組合は大豆、豆粕及び油の三部に分ち大連安東及營口の各地別にこれを設置し各組合の管轄地區は左の通り

大連組合(關東州)、安東組合(安東省、通化省)營口組合(奉天省、錦州省、熱河省、間島省、牡丹江省、三江省、濱江省、吉林省、新京特別市、龍江省、黑河省、北安省、東安省、興安各省)

なほ右組合員たるの資格は大豆部においては過去三ヶ年間の平均年間輸出實績十車以上のもの、豆粕部においては同じく三百噸以上のもの、豆油部においては同じく百噸以上のものたることを要する、なほ各組合の聯合會はこれを設置しない方針である

三寒四温

▲滿洲國は道義國家だといふが、それは正確ではない道義の實踐完成を目ざした國家だといふべきだ。即ち日々道義完成への努力をしつゝある國家なのだ▲ところが道義といふ言葉についての世人の解釋乃至その傳統的な意味について、われ〳〵は深く反省し、掘りさげてみる必要がありはしないか?▲何故ならば、或る人には、滿洲國は道義國家だから、法律々々といつて、何でも法律で縛るのはけしからぬ。滿人達が「法匪」といつて日系官吏を非難するのは尤もだ!と云ひ、かつ信じてゐるし▲また日本內地の批評家などでも、滿洲國は理想主義で建國しながら、今や經濟主義に墮してしまつた!と慨嘆してゐるものがある▲あたかも法律や經濟開發とか物的建設といふものは、道義でないのみか、反道義的なことでもあるかに思ふ人々が少くないといふことは、驚くべき事だ▲併し、これは東方道義とか、東洋道德とかに關する多年の誤れる解釋から來た、傳統的習弊とも申すべくそれだからこそ、われらはこの東洋的概念について猛省すべきだといふのである▲古く東洋文化史とか、思想史とかを省みるまでもなく、單なる抽象的な、思想的道義などはありようもないといふことは、われ〳〵の日常の生活をすなほにみつめればわかることだ▲「武士は喰はねど高楊子」は何故可能であつたか?それは一定の食祿といふものが保證されてあつたからだ▲道義國家といふのは、人間の理想を、現實に向上させ、發展させるを目標として、全國民が努力する國家の事で、從つて、人間が衣食住を離れて生活出來ぬのみならず、衣食住の質的、量的向上が、生活の向上の一面である以上、生活力一般の向上發展を無視したり等閑視しては、道義國家も、理想主義も一片の口頭禪空念佛に陷ることは云ふ迄もない▲何でもかでも法律で縛るといふことの誤りは勿論だが、大體法律といへば、人間の自由を縛るものとのみ思ふのが、そも〳〵現代の生活を理解しないものだ▲今日の法律の大部分は、形は罰則などを設けてゐるけれども、その本質は、全體生活、つまり人間の集團生活を圓滑に、かつ計畫的に運營する爲の標準各個人の生活を、團體目的に適合させて行く爲の指標を示すことにあるのだ▲法律は强制力を伴ふから道義的でないと思ふのは自分が道義的でなくて、法律の示す目的に自分の行動を順應させる事が苦痛だからだ▲法律は現代生活における新しい道德規準を示す具體的經典なるべきものなのだ▲くり返して云ふが眞の道義は、あくまで現實的であり生活的であり、從つて經濟とか法律とかと離れたものでも反したものでもないのである

赫々、湖南作戰々果

＝大本營陸軍部發表＝

【東京國通】大本營陸軍部では湖南作戰の輝しき戰果につき廿一日左の如く發表した、今次作戰における戰果は敵の遺棄死體のみで三萬八千四百に上りまた俘虜三千七百にして敵の收容死體および負傷者數はこれに數倍すべく武漢攻略戰以來の大戰果をあげた、これをみても今次湖南作戰における敵兵力殲滅の目的は充分に遂行され抗日支那軍に一大鐵槌を加へたことが分る

一、岳州南昌間わが前線當面の敵第九戰區薛岳の指揮する約四十萬(中央軍約三十ヶ師別に四川、雲南等の傍系軍十數ヶ師)に對し九月中旬以來これが捕捉殲滅を期して行はれたるわが湖南作戰は十月十五日をもつて概ねその終末を告げたり

二、右作戰における綜合戰果中前回發表以後十月十九日までに判明せる主要なるものを合計すれば左の如し交戰せる敵兵力廿九ケ師、遺棄死體三八、四〇〇、俘虜三、七〇〇、主要鹵獲品＝野山砲六、速射砲一、迫擊砲一三、重機關銃五〇、輕機關銃二四〇、小銃四三一〇、擲彈筒一一、野山砲彈九四二五七、迫擊砲彈五一四〇、重機彈藥六三〇〇〇輕機彈藥五七五〇、小銃彈藥一四〇九〇〇〇、手榴彈一〇六八〇、馬七〇

中口徑砲の鹵獲數僅少なるは武漢攻略戰後敵の該裝備とみに劣惡貧弱となれることを如實に示すものなり、わが方の損害戰死七三二、負傷二六〇〇

三、軍は本作戰により前項の如き輝しき戰果をもつてこゝに敵軍捕捉殲滅の目的を完遂し同方面における抗日支那軍の將來における蠢動を完封して崩壞の一途を辿る抗日支那の武力に對し一大鐵槌を與へたり

蘇北綜合戰果

【徐州廿一日發國通】中支軍と協力去る七日より十八日に至る連日息づく暇もなく蘇北地區に轉戰し八十九軍掃蕩を完遂したわが〇〇部隊、堀井、安達、宇野、兒玉、齋藤、高見、田邊の各部隊綜合戰果左の如し

敵屍二千四百四、捕虜六十、鹵獲品＝小銃三百三十二、洋砲五十八、その他拳銃彈藥、無電機、電話機多數

わが尊き犧牲は戰死九、負傷三十一

寶慶附近を猛爆

【上海廿一日發國通】艦隊報道部廿一日午後四時發表＝蘇北地方において殘敵掃蕩中の陸軍部隊に協力せる海軍航空部隊は廿日寶慶附近各所の敵軍事施設を爆擊これに甚大なる損害を與へたり

孫科ローマ着

【ローマ二十日發國通】十九日ナポリに到着した蔣政權の特使孫科は夫人令孃を隨へ支那大使館差廻しの自動車で二十日午後三時ナポリ出發、午後七時ローマ到着の上直ちに支那大使館を訪問した、一行は約一週間ローマに滯在その間孫科はチアノ外相と會見して對支援助に關し諒解運動を行ふものと解される

國交改善の證左

グルー大使演說に米本國の論評

【ワシントン廿日發國通】グルー駐日大使の演說は米國各方面から相當重要視されてをり外交評論家デイブッド・ローレンス氏は廿日のニューヨーク三紙に署名入りの論說を揭げ、グルー大使の演說は米國政府が日米國交改善の決意を固めた證左であるとし、左の如く論評してゐる

東京におけるグルー大使の演說は率直大膽なもので米國政府が日米國交改善に乘出す決意を固めたことを示唆するものである、グルー大使がかゝる思ひ切つた演說をするには本國政府からの訓令を受けたことは疑ひなく日本國民に對し日本の現在の外交政策に再考を求めるためになされたのである、刻下の混亂した世界情勢の下において米國は日本を友人として持つことを欲してゐるのである、しかして米國政府は支那における門戶開放政策の再確認こそ極東平和の鍵をなすものがあると考へてゐる、日本及び支那の親しい友人たる米國は日支紛爭を注視し對日支貿易が常態に復する時期の到來を望むものである

日滿支經濟協議會終る

【東京國通】日滿支三國を通ずる生產擴充、物資動員等の諸計畫の樹立を期するため去る九日より企畫院において開催中の日滿支經濟協議會は廿一日の石炭部會を以て終了した、右協議會においては新事態の發展に伴ひ物資特に棉花、鐵等の生產ならびに配給計畫に關して意見の一致を見たほか支那側における貿易機關の整備、資金收支計畫、食糧問題等についても具體的結論に到達した模樣である

日英會談開催 英政府否定

【ロンドン廿日發國通】最近日英會談開催說が傳へられてゐるが、英政府筋では廿日英政府はクレーギー駐日大使に對し日英會談に具體的措置を講ずべしとの訓令を發した事實はない、但し日本側からかゝる申出があらば何時でもこれに應ずる用意があるとて一應右の報道を否定してゐる

潜水艦の米領海出入禁止範圍

【ワシントン廿日發國通】米國政府は去る十八日交戰潜水艦の米國領海出入禁止を宣言したが領海の範圍に關しルーズヴェルト大統領は廿日少くも領海は三百浬と定められねばならないと言明した

日本とイラン修好條約正式調印

【東京國通】日本とイラン國との國交關係は從來無條約のまゝ公使の交換その他修好を行つてゐたので今般これを成文化することゝなり、イラン國駐劄中山公使とイラン國政府との間に交涉が行はれてゐたところ去る十八日テヘランにおいて修好條約の調印を了するに至つた、しかして外務省情報部では廿一日右條約調印の趣きを左の如く正式發表した

本條約は兩國間の恒久的平和ならびに友好關係を決定するほか外交官及び領事官等に對する待遇を定めたもので批准交換を俟つて效力を發生することゝなつてゐる、本條約實施の曉兩國間親善の增進を期待し得ることゝなつたのは兩國の國交上慶賀すべきことである

有馬、米內大將議定官に補せらる

【東京國通】
樞密院顧問官
海軍大將
從二位勳一等功三級　有馬良橘
海軍大將
正三位勳一等功四級　米內光政
補議定官(各通)

駐滿參事官 三浦武美氏發令

【東京國通】須磨駐滿大使館參事官の情報部長榮轉に伴ひその後任として駐滿大使館一等書記官三浦武美氏が補せられることに決定、缺員中の駐伊大使館參事官の新任とともに廿一日左の如く發令された

大使館一等書記官　三浦武美
兼總領事
任大使館參事官
滿洲國在勤被仰付
大使館一等書記官　坂本瑞男
任大使館參事官
イタリー國在勤被仰付

低物價政策遂行愈よ急

暴利取締權限强化

命令は地方に委任

政府は國民生活の安定を確保するため生活必需品に對し標準價格の設定による物價の統制ならびに配給の合理化による物資の統制に諸般の施策を講ずる一方昨年四月暴利取締令を施行して諸物資の買占め賣惜しみ又は家屋、車馬等の不當の賃貸をなし急激なる市價の變動を生ぜしめて暴利を貪らんとする者に對し嚴罰を以て臨み、更に經濟警察の强化整備によつてその違反防止および取締に努力せしめて來た、然し全滿における諸物價は依然として騰勢を弛めず、九月中の生計費指數（中銀調査、康德三年平均基準）は一六四・七〇で前月比三・四六％高、事變前に比すれば五割六分の昂騰となり、國民生活を脅かしつゝあり、しかも生活必需品の如きは五月中旬以來標準價格を設定し來つたとは云へ高低の限界不明瞭による取締の不十分のため昂騰の一途を辿つてゐる狀態にあるので、政府は鋭意一般消費物價の全般にわたる價格の公定を急ぎ、既に糧穀一般の價格を公定し近く全生活必需品の價格も公定を見ることゝなつてゐるが、今後においてはこれが違法又は不當の行爲ありたる者は徹底的に彈壓するため暴利取締の權限發動を一層積極化する必要上近く取締上の命令權を中央より地方に委任し、在來ともすれば圓滑を缺き勝ちであつた取締法規發動の簡捷化を圖り以て時局適正物價確立の萬全を期することゝなつた

即ち從來の暴利取締令においては第六條の規定により糧穀を含む生活必需品一般薪炭類建築材料等の販賣業者又は家屋、車馬その他運搬具の賃貸者、若くは勞務提供者に對する賣買價格、賣買數量、貯藏量、賃貸等に關する報告の徵集、當該官吏をしてその者の住所、店舖、倉庫、工場その他の場所へ臨檢し金庫、帳簿その他諸般の文書物件を檢査せしめるほか暴利取締上必要なる命令をなす權限は主管部大臣たる經濟部、產業部、治安部各大臣の共管に屬してゐたが、屢々命令系統の複雜のため、これが發動の敏活を阻害する虞れが多分にあつたのに鑑み、これが權限を省長又は新京特別市長に委任し得ることに改正、命令系統の簡捷化による取締の徹底化を圖ることゝなつた、從つて省長官及び特別市長は管下の物品販賣業者、家主、運搬具賃貸者勞務提供者において前述の如き不當なる實績を發見し、或は又虛僞の報告乃至檢査を妨害したる場合、その他暴利を得るの手段として物品の買占め、賣惜しみをなしたる者に對しては直ちにこれが賣放ちを命じ、なほこれに聽從せざる場合においては斷乎として處罰し得ることゝなるものである、よつて政府においては來る廿三、廿四兩日の省次長會議、十一月八、九、十の三日間にわたる省長會議においてこの旨指示を與へ、時局下における物價抑制及び取締の重大意義を强調する筈であるが、これが改正條例の公布施行は十一月中か十二月早々とみられてゐる

社說　滿洲問題への關心

歐洲戰爭の勃發以來、ともすると一般に滿洲問題に對する關心が薄らいでゐるといふやうな傾きがあるのではなからうか。その一番甚しい例は日本で出るいはゆる中央雜誌の編輯振りであらう。歐洲の危機が一たび爆發するや、彼等はあげて全誌面を歐洲問題に捧げ、なほそれでも足りなく、競つて增刊をさへ發行するといふやり方である。滿洲問題がそこでは殆んど忘れられてゐるやうに見えることは言ふまでもなく、支那問題へも隅の方に押しやられてゐるやうな貌である。だがしてそれでよいであらうか、滿洲問題はいま果して重要性を失つたのであらうか。一般人のこの無關心的な態度をそのまゝ放つて置いてよいであらうか。われらは決してさうは考へないのである。考へ得ないのである。

一つの見方から言ふならば今や滿洲問題は一つの重要な岐路に立つてゐると言ふことさへ出來るであらう。われわれは決して無關心であることをゆるされないのである。これを内部から見るならば、第一にこの國の國民の異常な伸長がある。それはかの今次の協和會全國聯合協議會に於いていかなる民衆の聲があげられたかを思ふならば、直ちに了解し得るところであらう。この全聯に於いて、いかなる問題が最も切實に取り上げられ、それについて眞劍な討議が行はれたかを調べるならば重大な國内問題がいかなる部門に存してゐるかといふことも容易に察知され得るであらう。更にまたこれを外部的事情との關聯に於いて考へるならば、支那の新しい建設と歐洲大戰によつてもたらされた新情勢によつて、滿洲國の進路の上に於いて深く考慮しなければならぬ問題は生じ來つてゐるのである。それには宜しく衆智を集め、最善の途を選んで對處して行かねばならぬ。そのための心構へが果して出來てゐるかどうか、われらはすでにその事すらが問題とされねばならぬと考へるのである。

滿洲國政府當局の近時の動きを見てゐると、愈よ民生の振興といふことの重要さが認識され、その實現のための具體的方策が緒に就くに至つたことが注目される、これはまさしく國民の要望に應へるところのものであり、言葉の上の王道樂土を事實の上に表現して行くものに外ならず、われらの深く喜んでいゝところである。ねがはくばそれが單なるスローガン的提唱にとどまることなく、各種の場面に於いて着々とその實績をあげて行かんことを、それによつてはじめて建國精神の顯揚も出來、民族協和も成り、國民總動員の態勢もその實を備へることが出來るであらう。

芬蘭國民軍步兵隊召集さる

ソ聯軍事顧問派遣

重慶外交界衝動

ソ支密約明るみへ

【香港二十日發國通】去る十月十八日空路重慶に到着したソ聯軍事顧問一行七名は俄然重慶外交界にセンセーションを捲起してゐるが消息通の語るところによれば今回のソ聯軍事顧問の招聘は重慶側が豫てソ聯政府と折衝中であつたもので國防最高會議秘書長張群のモスクワ訪問により具體化したものである、張群は新任大使賀耀租といはれかつて重慶に歸着したが張群とモスクワ政府との間に成立した商議は軍事顧問の招聘並びに武器補給により設定されたクレヂットにより飛行機の供給に限定され他の重要案件の交涉は遂に失敗に終つた、なほソ支關係の調整に關しては新駐ソ大使賀耀租によつて折衝される筈である

【上海廿一日發國通】重慶來電によれば重慶外交當局ではソ聯兵新疆進駐及びソ支軍事密約の進行が諸外國特に目下重慶滯在中の英大使カー氏等に及ぼす影響をおそれルーター通信社を通して右は全くのルーマーなりとして左の如き詭辯を弄してゐる

これらルーマーは日本がイギリスの極東政策を改變せんがために流布したものであつて日本側がカー英大使の重慶行は和平目的を持つものであるとのルーマーをたてゝゐるのと同樣注目に値するものである、日本はイギリスに日支和平の仲介者となつてもらふことに失敗して以來さかんにソ聯の支那侵略を說いてイギリスを恫喝してゐるのだ、かくするによつてカー大使をして重慶政府に對日和平を勸告せしめんとしてゐるのだ

行惱む貿易省問題

前途尚樂觀を許さず

【東京國通】阿部内閣が戰時貿易體形の確立を期してその實現を急いでゐた貿易省設置案は組閣後僅か一ケ月にして其要綱案決定は極めて順調にスタートを切つた如くに觀られたにも拘らず外務事務當局の猛烈なる反對に遭つて遂に政府は閣議決定要綱の一部を變更するの已むなきに至り阿部内閣はその政治能力の點に於て鼎の輕重を問はれるに至つたので政府としてはこの際凡有る困難を排して豫定通り議會前までにその實現を見るべく唐澤法制局長官及武部企畫院次長を中心に關係各省事務當局との事務的折衝に努力してゐるがその前途は尙ほ樂觀を許さず果して政府の希望するが如く年内に之が實現を見るや否やは大いに問題視されるに至つた、即ち元來貿易省設置に關しては單に外務省のみならず他の關係省事務當局に於ても相當强硬に反對をして來たのであつたが斯かる情勢を察知した政府は從來とはその行き方を異にして各省事務當局に對し拔打ち的に要綱案を決定し事務當局の反對を封ずる作戰に出たのであつたが外務事務當局の反對に遭ひ之を變更する結果となつたことは右要綱に内々不滿を懷いてゐた關係事務當局を著しく刺戟し設立準備委員會の進行を鈍らせてゐる狀態にあり今後同委員會は相當紛糾するものとみられ殊に今回首腦部の更迭を見た商工省事務當局の如きは伍堂人事に對する不滿を貿易省問題に向け最も頑强に反對をなすものと豫想されてゐる、また他方樞密院方面の空氣も頗る惡化してゐるので準備委員會は曲りなりに纏るとしても樞密院の猛反擊は豫想に難くない情勢にあるので政府に取つては益々樂觀を許さゞる情勢にあるので貿易省問題の今後は頗る注目される

ソ土交涉の前途

未だ絕望でない

トルコ外相歸還談

【イスタンブール二十日發國通】ソ聯巡洋艦モスクワ號で廿日イスタンブールに歸還したサラジヨグル土耳古外相はソ聯、トルコ交涉の前途は未だ絕望ではない旨左の如く語つた

ソ土交涉が滿足すべき結果に立至らなかつたことは遺憾である、しかし今後更に交涉を續行する餘地は充分殘されてゐる

なほサラジヨグル外相は當地でルーマニア駐劄トルコ大使テレマック氏と會見、ソ土交涉の經過を報告したが、同大使は直ちにブカレストに歸還ルーマニア政府にこれを傳達する筈

【イスタンブール二十日發國通】サラジヨクル土耳古外相は廿日、二十八日ぶりでモスクワよりイスタンブールに歸還直ちにアンカラに向つた、同氏がトルコ政府差廻しのトルコ汽船によらずソヴイエト聯邦巡洋艦モスクワ號に搭乘したことは興味あることであるが當地ではソヴイエト聯邦軍艦がトルコ外相を乘船せしめてボスボラス海峽に入つたことはソヴイエト聯邦の同外相に對する關心を示すものとして重要視してゐる

地方財源確保のため

木捐を創設

林政機構整備に呼應

地方林政機構の整備は來る十一月一日を以て行はれ、地方林野は營林署に屬する重要林野地區と省縣旗管轄林野地區とに二分され、地方管轄林野地區内には民地民木が實現することゝなるが、これと共に在來の官公民地總官木に課したる國稅木稅（百分の八―十）及び木稅附加稅（百分の廿五）は廢止され新たに官公有の林木伐採に當つては本代金を徵することゝなる結果これとの負擔均衡を圖るため民地民木の伐採に對しても何等かの課稅措置を講ぜねばならず政府においては目下その對策立案を急いでゐるので恐らく地方の財源確保に資するため地方稅の獨立稅木捐創設の意向が有力である

即ち地方財政調整資金特別會計に繰込まれてゐた木稅附加稅（一石十錢乃至二十錢）廢止の代り財源として大體これに相當したる木捐の賦課制限率が考慮され徵稅方法としては樹種別、用途別の從量課稅に據ることになるものと見られてゐる

而して政府としては民地民木實現とゝもにこれが無稅となるのでこれに對應すべく新稅の創設を企圖してゐる故十一月一日前後には地方稅法の改正に依つて新獨立稅の施行を見るものと觀測される

安倍新治安部次長略歷

滿洲國治安部次長就任を受諾した安倍源基氏は大正九年東大卒、薄田治安部次長とは同期で昭和七年から同十一年までの五ヶ年間警視廳特高部長として敏腕をふるひ同十一年四月靜岡縣總務部長に轉出、同十二年二月内務省保安課長となり、六月警保局長に、更に同年十二月近衞内閣の下に警視總監と三段跳の榮進をなし歷代總監中の最年少者四十六歲といふ記錄をもつた本年一月近衞内閣の挂冠とゝもに辭職以來淀橋區下落合に悠々自適の日を送つてゐた、矮軀だが所謂山椒は小粒でもといふ鋭さと豪腹さの一面仙人の面倒は何處までも見るといふ親分肌のところがある、警察行政特高警察方面の手腕は警視廳特高部長時代より謳はれてをり、同氏の治安部次長就任は大いに期待されるものがあらう、家庭に藤子（三八）夫人との間に一男四女がある

箴言妻語　佐藤膽齋（三五）

支那國論の二大轉換（一五）

清朝は宋學を以て官學となせること猶ほ德川氏が朱子學を聖堂の學本となせるが如し元來宋學の本領は尊王攘夷に在りて彼の性命の理を論して孔孟の學を哲學化せる高談者流の外に儼然として犯すべからざる眞骨頂があるのである

然し清朝は讀書子が毅然として尊王攘夷の宋學精神を守りて其道に殉ぜんとする意氣に燃えんか、之が爲め宗廟社稷の根柢が何時顛覆せらるゝやも測り難き危險を感ずるため、名は宋學を官學とするも大に其調子を下して官吏登庸試驗の答案は四書に於ては朱子の集注、五經に於ても程傳又は朱傳に依據することゝなし、八股文の格式と更に磨勘條例（受驗者心得の苛刻なるもの）とを嚴密にして解釋力よりも文章化の技巧に採否を決定することに取極めたのである

□　□

更に天下の讀書子を一層苦めるために細楷の拙き者は斷じて合格せしめず、又最後の採否を決定する五言排律には受驗者をして泣ても笑つても別に數年の學習時間を餘儀なく此方面に濫費するやうに仕向けたのである

禍なるかな清朝の讀書子や不幸寒門に生れし麒麟兒は其天分は如何に發揮し去らんとするも米鹽の資か生活の必需條件たる以上大部分の者は一先づ此の登龍門から立身出世を謀らねばならぬ彼等は青年時代より八股文と細楷の捕虜となり寒燈の下に發憤刻苦してやつと擧人の試驗に合格する頃には何等意氣なく精神なき平々凡々たる人物に硬化して了ふ、扨て是が實務に當るとなると其下には日本でいふ舊幕時代の書役支那でいふ胥吏なる者が其九割九分まで碌でなしで此の新米の試驗合格官吏を好い加減に翻弄して本人等は官威を笠に出來るだけの中飽に懷工合をよくするといふのが清朝二百七十年に於ける官場の實際狀態であつた

□　□

されば吳汝綸氏が微塵も身に覺なき寃罪で免職されても誰一人敢然として之か雪寃の上奏を試みし者なきは當然の現象で何等の不思議も感じないが、只一つ解し難き事は師日親日の國論を喚起し具體化せし彼の張之洞が其主義主張の手前に對しても沈默して已むべきには非るに、目のあたり此の寃罪を見ながら一言も雪寃の辯を出さぬことである

□　□

故國務總理鄭太夷先生は張之洞幕下の智囊として數年武昌の制臺衙門に居られ張老の信任極めて篤かつた人であるが、嘗て一日張を評して彼は自己を揭げて他人を抑ゆる癖があると言はれた、事實張老が吳氏の寃罪を雪ぐべく力を盡さなかつたのは張の肚を割つて見れば、吳汝綸何人ぞ師日親日の大本山たる此の張を出拔いて日本に赴き歸國するや否や乃公にこれ見よがしに日本直輸入の親日教育を實行せること面憎しと謂ふべし一應は大本山にも相談して其諒解を求むべきは當然の事ならずや、汝の流言に禍されしは自業自得の結果なれば斷じて一言を假すの要なしと極付けてゐたに相違ない

□　□

讀者諸賢よ支那には表面のみ觀察して時流の滔々たる趨勢が我に利ありと早呑込しては非常な誤算を生ずる事あるに留意せられんことを切望に堪へぬ、一時の大立物が一世を指導すべく正々堂々の論陣を張り又其同志が之を支持して八方より聲援を與ふと雖も此の表面のみの觀察で大局を判斷し噬臍の悔を招かぬ樣に細心の研究を必要とすることをゆめ忘れてはならぬ

□　□

然かし張劉二老の上奏は確かに師日親日の國論を一定する上に非常なる功果は沒すべからざるものがある、以上が淸末に於ける支那國論の趨勢であるが是が何故に一轉して抗日侮日の國論を釀成せしやは吾人が今日の時局に當面して最も其檢討を要とする所である、輕薄なる批評家殊に海外の惡現象を拉して其悉くが外務省の責任であるやうに攻くし立てる者は事物の核心を知得ぬ口耳四寸の世渡り稼業の人々であつて私に言はんとする所は全然彼等と方向を異にしてゐる

教育制度整備の十ヶ年計畫

愚民政策の非難を眞向ふから反擊

燦然、文化の殿堂樹立

最近國軍の强化、警察官の素質向上が當面の重要課題として重要視されるに至つたが、これに對してはより根本的立場において國民教育の徹底的樹立こそこれに先行すべきものであり、國民意識の充實をまたずして國軍の强化も警察官の素質向上もあり得ないとする主張が行はれ、治安部民生部の兩當局を中心として教育國策の具體的方針につき再檢討が行はれた事は極めて注目されるとゝもに民生部が明年度以降において所謂「教育制度整備十ヶ年計畫」を樹立明年度豫算に計上してその實現に邁進せんとするに至つたことは滿洲國教育國策の劃期的飛躍を物語るものとしてその實現如何は各方面の關心の的となつてゐる

教育制度整備十ヶ年計畫は大、中、小の各級學校、文、醫、工、理の各學部にわたつて堂々たる教育體系をなす老大な施設計畫であつて十ヶ年後の計畫完成後においては初等國民教育では推定就學學齡兒童の七〇%を就學せしめ得ることゝなつてをり、現在漸く十三乃至十四%なるに比してその擴充程度は著しく大なるものと察せられる、またこれと關聯して中小學校教員の需要は著しく增加することゝなり現在の總數四萬人に對し年々尠くも七千名宛を補充することが必要となつて來るので、師道學校の卒業生だけでは到底この需要に應ずることは出來ず國民高等學校卒業生にも教員の資格を與へることになつてゐる

大學については現在の各種大學を增設、差當り明年度も三大學を新設するか、學の蘊奧を極めんとする俊秀且つ篤學なる學生のために「大學院」を創設し各般の最高學理を探究せしめることゝなつてゐるこれを要するに教育制度整備十ヶ年計畫は從來兎もすれば國の內外から加へられた滿洲國の教育政策に對する批難攻擊即ち「滿洲の教育は愚民政策に終始してゐる」との批評に對し眞向ふから反擊を加へ王道國家滿洲國の國民教育が眞に國民の康寧福祉を增進し一國文化の燦然たる殿堂を形造らんとするものなることを明白に物語るものである

原料高當時のストックに苦慮

代用粉買上げ價格發表を延期か

產業部は代用粉製造に本格的に乘出し、全滿製粉工場に對し代用粉原料たる高粱、包米を割當てるため曩に關係各製粉工場會社の參集を求め割當に關する具體的折衝をなし、之が設備等につき打合せを遂げたが割當代用粉は全滿二十七工場で日東の包米粉五十七萬六千袋を筆頭に各工場割當合計包米粉約五百六十一萬袋高粱粉約百九十四萬袋と大體決定を見た、既に出廻りを控へ各工場は代用粉製造に着手してゐるが包米は既に新穀が出廻り政府の代用粉積極獎勵に鑑みて十一月一日の公定價格施行を俟たずに買込んだ工場が大多數を占め各工場は今回の公定價格設定に依り代用粉買上値段も相當の引下げあるものとの豫想をなしてゐるが、既に原料たる高粱、包米については十一月一日より公定價格制が實施されることになりこれに對する諸準備も完了配給準備も整へ待機してをる狀態にも拘らず、代用粉買上に關する買上價格の發表を見ず、原料價格實施迄には僅か十日しかなく、各工場は買上價格が決定されぬので可成り原料高時代のストックを抱へ、頗る焦慮して居る

當局も取急ぎ買上價格決定對策に乘出したもの丶未だ決定發表迄に至らず、場合に依つては買上値段決定を延期するの止むなきに至るのではないかと見られるが業者側としても可成りのストック品を抱へ込んでゐる關係上買上價格決定期日について多大の關心を寄せると共に買上價格決定に對する當局の態度決定一日も速かならんことを要望してゐる

滿洲國道教總會生る　きのふ和協會館で發會式

憧れの日本へ見學旅行團

錦ヶ丘高女生出發

錦ヶ丘高等女學校母國訪問團一行百十八名は二十一日午後十時五分新京驛發列車で淸津經由憧れの日本內地見學旅行に出發する

ニッポン號の實飛行時間

百九十五時間廿四分

【東京國通】鵬程實に五萬二千八百六十キロ、よく興亞の國威を五大陸に宣揚した大每東日世界一周機ニッポン號は廿日午後懷しの東京羽田飛行場に無事着陸、見事長距離世界一周大飛行の使命を完成航空日本が世界に誇る金字塔を打ち立てたが、國際航空聯合會日本審査委員加治木中佐の公式記錄によると羽田着は午後一時四十七分廿三秒であつた、右によつて計算すると去る八月廿六日一億同胞麗援のうちに壯途についてから再び東京へ凱旋する迄の所要時間五十五日三時間二十分二十三秒、實飛行時間百九十五時間廿四分廿八秒である、なほニッポン號乘員は羽田における報告式終了後直ちに入京、宮城前に至り皇居遙拜、更に靖國神社、明治神宮參拜使命達成を奉告したが、中尾機長は乘員を代表して次のやうな感想を語つた

一番難コースだつたのは太平洋橫斷でノームに着く前は雨と霧に襲はれ酸素缺乏で相當困難を來しましたがその他は全コース順調でアメリカ本土やアフリカの沙漠地帶等は日本の空を飛ぶような呑氣さでした、無事使命を達成出來ましたことは偏に國民の皆樣はじめ、海外の同胞の絶大な支援のたまものと、乘員一同深く感謝してをります

全滿サイクルへ

新京代表廿八日出發

第四回全滿サイクル競技選手權大會は廿九日奉天に於て開催されるが、この大會に出場する新京代表選手は次の如くで廿八日新京發奉天に赴く筈である

△五千米河村泰男、韓孝彰△千米河村泰男、韓孝彰△三千米安達和男、片昌男△一萬米安達和男、片昌男△四百米團體追拔競走　河村泰男、韓孝彰達安、和男、片昌男

柔道昇段審査會お流れ

廿一日市公署第一會議室に於て開催される筈であつた大滿洲帝國武道會新京支部柔道部委員會の柔道昇段者審査會は申請者が僅少のためお流れとなつた

滿鐵社員忠靈塔淸掃

滿鐵の鐵道運營一萬キロ突破の記念行事は二十一日各地に於て盛大に擧行されたが新京では同日午前十時より忠靈塔、兒玉公園內誠忠碑、南嶺、寬城子の戰蹟、孟家屯、范家屯、陶家屯の社員記念碑基地の淸掃作業を行ひ花輪香花を捧げて先人の靈に感謝を捧げた【寫眞は滿鐵社員の忠靈塔淸掃】

滿鐵一萬粁突破

張國務總理の祝辭

滿洲鐵道開通一萬粁突破記念祝賀式における張國務總理の祝辭左の如し

本日茲に我國鐵道開通一萬粁記念祝賀式を擧行せらるるに當り一言祝辭を述ぶる機會を得ましたことは寔に欣快とするところであります、顧みまするに大同二年二月我國有鐵道の經營及新線の建設を擧げて南滿洲鐵道株式會社に委託せらるゝこととなり、同年三月一日同社は奉天に鐵道總局を設けて其の事業の遂行に當らしめて以來、僅々六ヶ年の短日月の間に驚異的隆盛を見るに至り、本日茲に喜びの日を迎へましたことは誠に慶賀に堪へないところであります、草茅未開の地に匪徒の跳梁を排除しつゝ幾多の辛酸を嘗め、犧牲を忍んで新線建設の事業に從事し、其の經營に當らるゝ現業の各位は實に建國の理想達成途上に於ける先驅者と謂ふべく、我國が建國日猶淺きに拘らず治安の確立、國內產業の開發等、日に月に一大發展を遂げつゝある裏面には此の如き犧牲と忍苦の事實あるを忘却し得ないところでありまして、我等の常に感謝措く能はざる次第であります、是れ全く當事者各位の上下を通じ日滿一德一心の根本義に基く旺盛なる建國精神の發露であり、其の結晶であると確信するものであります、本日此の盛儀執行に當り謹んで幾多犧牲となられし各位の英靈に對し敬意を表すると共に從事員各位の辛勞に對し深甚なる謝意を表する次第であります、我國は建國の大義に則り各般に亘り益發展の一途を辿りつゝありとは謂へ、世界の狀勢頓に緊迫を加へ來れる今日盟邦日本と共に東亞の安定勢力として我國の責務や尋常ならざるものがあります、此の秋に當り國內開發上、將又國防上鐵道の有する任務は誠に重且大なりと謂ふべきでありまして、更に將來一層の發展を期待する次第であります一言所懷を申述べて祝辭と致します

大村總裁式辭

夫れ滿洲國の鐵道拓けてより凡そ四十五星霜茲に運營鐵道一萬粁開通を告げ、本日其の記念式を擧ぐ眞に欣快とする所なり抑も滿洲の鐵道たる、日滿協力合作の根幹として國防に將亦產業文化の開發に重大使命を有す、東亞の新秩序建設は之が核心たる大陸鐵道の一貫的活動に俟つや切なるものあり、滿洲鐵道一萬粁達成の意義此の秋正に深しと謂はん顧れば吾等が先人、克く朔北の凍土に敷き炎熱の曠野を拓き、以て此の鐵道を大成せり、或は匪徒の難と戰ひ挺身聖業を全くす、或は厲の患を凌ぎ、仆れて建國の人柱となれる者亦擧げて數ふべからず功業の裏忍苦思ふに勝へたり、謹みて先驅の偉業を稽へ日滿官民絶大の支援に謝せんとす、今や周邊の狀況急迫を告げ時局倍々多事を加ふ、外國防と、開拓の兩全を期し負託の重きに應へざるべからず、仍て本日の記念すべき鐵道一萬粁を以て吾等が發展の里標と爲し、之より更に大いに飛躍せんことを庶幾ふ聊か所懷を陳べて式辭となす

偶語

本年八月二十六日午前十時二十七分東京羽田空港を離陸世界一周大飛行の壯途に上つたニッポン號は▼六萬キロを翔破して二十日午後一時四十七分羽田空港に輝く車輪を印した▼この一周飛行の成功により我々の最も愉快とし且つ世界に誇る所以は▼今まで世界の水準下に置かれてゐた日本國產機によつて太平大西兩洋を橫斷し▼難所と世界航空家に恐れられてゐたアンデスの嶮を何等の支障なく悠々征したことである▼勿論中尾機長ら有數鳥人の技倆もさることながら秀れたる機材の性能がこの大飛行を完全ならしめたことは▼外國產機ならでは飛べないものと過信してゐた人々の頭を是正したことも大なる收獲といへるだらう▼われわれはニッポン號の瀨踏によつて近き將來に於て日の丸マークの國產機が▼米國へ亞弗利加へ國際航空路線上を縱に橫飛翔する日を待望して止まぬ

天祐丸坐礁

【大阪國通】長崎無線海難報＝島谷汽船天佑丸（三、七八八噸）は廿日午後九時五十五分、北緯四十九度二十五分、東經百四十二度五分樺太名好岬附近に坐礁救助を求む、浸水甚しきも沈沒のおそれなしと

貴院慰問團日程

【東京國通】貴族院の本年度第二次皇軍慰問團滿洲國班は左の如く決定した

十月廿三日午後九時四十分東京發、黑木三次伯、島津忠彥男、小坂梅吉約一ヶ月の豫定

滿洲計器總會

滿洲計器では二十一日午後二時より新京國防會館で臨時株主總會を開催中川、王兩監事任期滿了に伴ふ改選を行つた結果中川增藏氏は重任王荊山氏の後任には現鐵西稅捐局長高文鼎氏が就任した

大連取引所瀆職事件公判

大連取引所瀆職事件第七回公判は廿一日午前九時半から關東地方法院第一法廷で佐藤裁判長係の許に開廷、前回に引續き聯合辯護人の辯論に入り何れも執行猶餘若は罰金刑を希望午後零時半閉廷した、なほ次回は二十七日午前九時半から殘りの辯論を行ふ

生阿片密輸逮捕

三江省依蘭縣農業金瑞鳳（四〇）許東道（三三）の兩名は朝鮮咸南郡金士烈の依賴を受け生阿片三千九十四兩時價一萬九千圓を密輸すべく二十日上三峰から龍井を經て延吉へ運搬の途中延吉縣平安村山中で龍井警察署員に探知され大格闘の上逮捕された

日曜のよみもの

統制强化未來圖
紅燈街も寂れました

客　オイ遊ばして貰ふよ
女中　いらしやいまし、お幾人樣ですか
客　今三人だがね、後から二人來る筈なんだ
女中　來る筈では困りますねえキチンとして頂かないと
客　さう君、やかましく言ふなよッ
女中　第一早くいらつしやらないと、もうお時間もございませんよ
客　だつてまだ夕方ぢやないか
女中　電力節約やら非常時やらで午時六時半までしか營業出來ませんからね
客　ワツ、ぢやまア三人だけ急いで遊ばして貰はう、オイ、酒を早く持つて來て呉れ
女中　その前にこれへ一寸お書き込み下さい
客　何だい、本籍、現住所、兵役關係……?大變なんだね、勤務先、收入、家族の數……?これみんな書くのかい
女中　ハイ、收入の額及び家族の數に應じてこちらで遊興費を査定いたしますから
客　驚いたね、これは……仕方がないから書くよ、これでいゝだらう
女中　一寸お待ち下さい、お一方は課長さん、後のお二人は平の社員樣でございますね、査定によりますと、課長さんは(イ)の六號お二人の方は(ヘ)の三號に當ります、凡て出るお料理も違つて居りますが、御一緒に召上りますか
客　勿論一緒に願ひたいね、別は厭だよ、早く君、酒を頼むよ
女中　畏まりました一寸こちらへ……、只今血壓を測りますからハイ、分りました、相すみません、それでは、この表を御らん下さいまし、お一方は二リツトル四分の二、お一方は二分の一リツトル、もう一方は十三分の一リツトルとなります
客　ワツ、それ以上は駄目かい
女中　規定以上を召上がると健康法にも反しますし、買占めの罪にも問はれます

—◇—

客　よろしい、規定內で召上がるよ、何時からこんな規則になつたんだい
女中　昭和二十四年からです、すみませんが二枚の遊興資格書と飲酒量調査表に實印を押して下さいまし
客　ハイ〳〵、かうなればもう何でも從ふよ
女中　ではどうぞ此方へ…
……、アラ、胡坐は困ります、精神鍛錬の上からはじめの十五分間は正座する規則ですから……、それでは藝妓衆をおよびするんですね
客　早く頼みます
女中　御希望は……?
客　まかせますがね、成べく綺麗なところを頼みます
女中　綺麗なと言つて、只今では健康が標準になつて居りますが、一寸これを御らん下さいまし
客　何だい此の、キロとセンチばかり書いてあるのは
女中　身長、體重、胸圍です

—◇—

客　分らないから、此の右の端から三人頼むよ
女中　ハイ、登錄番號一萬二千九百三十五番と一萬二千九百三十六番と一萬二千九百三十七番ですね、一寸御參考に申上げますが、此の三人は大體身長五尺六寸、體重十八貫五百位ですが、よろしうございますね
客　ええッ、仕方がない、それでもいゝや、まさか取つて喰ひもしまいぢやないか
女中　御希望のおきゝになられるとする健康歌であるとか精神作興踊りの見本がございますから番號をお書き下さい
客　ハイ〳〵、書いたよ
女中　それでは二三日してから遊興許可書が下がりますから、そのときにどうぞお越し下さいまし
客　???

全滿洲庭球軍 日本遠征記 (三)
優勝戰に勝殘る
全日本一般選手權大會

廿七日

天氣晴朗にしてお誂へ向の庭球日和である大東京の各新聞共今日の『全日本一般男子軟式庭球選手權大會』と題して社會面のトップに初號見出しで大いに宣傳してゐる、この朝刊を見た選手達の心はどうであつたらうか、はる〳〵滿洲から來て恐らくこの試合以外に權威あるものはないであらう、試合は午前八時から日比谷公園コートで催された、當日の參加チームは兵庫、大阪、愛知、茨城、埼玉、栃木、山梨、秋田、岡山、長野、靜岡、宮城の各縣に學聯、東京、滿洲と併せて十五ケ所からなりその數五十一組に達した、優勝圈內に入るべき當日の豫想は何人もが第一に兵庫の渡瀨長井組を推し、次が大阪の綾峨、伊藤、次が多少老境の嫌ありとする名古屋の村瀨、山名組、其の次が滿洲の嚴、李組とされてゐた、これを聞いた時の私は心ひそかに喜んだ、と言ふのは渡瀨後衞の練習を一見して推測する時、渡瀨後衞は滿鐵東京支社に勤めてゐる落合賢明君が言ふ通り一本調子の庭球である、相生がゲームをネバレば(延長主義)彼は躍起になつて剛球で來る、李前衞のバック・ボーレイとネット・ボーレイにはお誂へ向きの球筋である、かくて敵の長井前衞は横のモーションのみを知り縦の動きは脆い弱點を持つ所に嚴後衞の强味は一般と加つて來る、滿洲軍を應援に來た滿鐵東京支社秘書課の關屋君と同じ支社落合賢朋君(何れも滿洲庭球界の先輩)それに奉天の岡君(今から十有五六年前に大連の大串君と組んで名聲を博した人)が僕の傍にゐて色々と我軍のために策戰を數へてくれる。『マア兵庫に四分の勝味ありとすれば、滿洲に六分はあるよ』三君は言ふ、準々決勝で二ゲーム迄リードされながら後半に挽回して四—二で曹、李(學聯朝鮮)を葬り去つた嚴組は準決勝で東鐵の小林、露木組に對戰して三—一のスコアーで滿洲軍は破れたかと思つたが、これも嚴組の活躍によつて五—三で小林組を倒した刹那の氣持は當人は勿論、ファンまでもが滿洲國軍萬歲を連呼してくれた、三島兵庫監督も、加藤名古屋監督も『オイ、やつたナ—』とさも味方のチームが勝つたかのやうに僕の所へ驅けつけて喜んでくれた、東京陣營の大島、正親理事も同樣『コレで滿洲歸還の土產が出來た』と喜んで呉れる、斯うなつて來ると人間動物と言ふのは妙なもので、今迄小さく萎縮してゐた心も急に大きくなつて、監督自身が勝つたやうな氣分になつて來る。『モウこれで優勝戰に臨める譯だ』と、心は既に玄海の荒濤を蹴て滿洲に飛ぶ喜んで呉れ優勝したぞと體聯は勿論、友人仲間に長電は飛ぶ、が併し此の刹那だ、コノ秋だ、マダ滿洲は完全に優勝はしてゐないのだ、第二コートでは名古屋の村瀨、山名組對兵庫の渡瀨長井組が優勝圈內に入るべく火の出るやうな試合をしてゐる、三セットまで獲得した村瀨組は意氣揚々たるものがあるが、ゲームの進行につれて渡瀨次第に頽勢を挽回し三—三にこぎつけた、アレ〳〵と見る間に村瀨後衞あせり過ぎてミス多く揭て、名村前衞のネツトボーレイきまらず一ゲームを讓り、續いて二ゲームに挽回せんとしたが、渡瀨の猛球に、三—五で兵庫に勝を讓つたのは、實に見る目も氣の毒な程の加藤淸次監督の素直な姿であつた、夕立直後の日比谷の森は初秋の夕陽に僅かばかり照されて、殘る優勝戰を完全に果すだけの餘裕がない、審判長の命令一下、兩軍コートに立つて二、三分練習はしたものゝ、既に球の行方すら滿足に見取れない仕末で役員合議の結果照明燈を照してやることになつたらしいが、これも兩軍より異議中立により明廿八日午前十時より試合開始の約束で相方引揚げた時正に午後七時五十分

ゴミが眼や耳に入つた時には
家庭重寶メモ

炭や粉類を扱ふ臺所では、兎角ゴミが眼、鼻、耳等に入りがちであります。その時はどういふ手當をしたらよいかといふに

(眼)
に入つたゴミは、あわてゝこすりますと益々奧へ入るばかりで、やがて炎症を起し結膜や角膜を傷つけるおそれがありますから、暫く眼をとぢ、ぢつとしてゐますと、ゴミの刺戟で涙が出てそれと一緒に涙も出るものです、また多少大きなゴミが若し上眼瞼に入つた時は眼瞼をひつくり返して脫脂綿又はガーゼで取り除きます、若し下眼瞼に入つた時は拇指を皮膚の上にあてゝ下の方へ引き、患者に上方を向いて貰ひます、そしてガーゼか脫脂綿で取り除いた後へ、眼藥をさして置けば結構です。

(耳)
へゴミの入つた場合は耳を机上につけて輕く叩けば大抵出るものです、素人はよく耳匙やピンセットで出さうとするため、却つて奧へ入つてしまひます、その結果鼓膜を破ることさへ珍しくありませんから、注意を要します、次に昆虫類の侵入した場合は、耳の中へ煙草の煙を吹き込みますと出るものです。それでも出ない時は、アルコールを少し滴し込みますと弱つて死にますから、そこで醫師にとつて貰へばよいのです。

(鼻)
へ大きなゴミの入つた場合は、片方の鼻腔をおさへて强く息を吹き出しますと大抵は出るものです、別の方法としてはコヨリを鼻腔へ差し込みクサメをすると飛び出ます

(咽喉)
へ小骨のたつたときは、箸に眞綿を捲いて咽喉を輕く撫でるとゝれます

八紘一宇とエスペラント (中)
平川動氏講話要旨

次に日本民族の世界的使命についてみますに、その當時は滿洲事變前であつて、日本民族の世界的使命などゝいふことを皆が自覺するに至るほど社會的客觀的情勢が熟してゐなかつたのでありますが、それらの人々は當時既にそれを自覺し認識してゐた、この點が重要な點であります、我々の使命は東西文化の融合にあります、この點についてエスペラント運動に從事してゐる者は、はじめから判つてゐたところであり、私どもはかういふ運動に從事してゐる方々の知遇を得て、東西文化の融合がわが日本民族の世界的使命だといふことを聞かされ當時は夢のやうなことだと思はれたのでありますが、今やその日本民族の世界的使命が現實のものとなつて、滿洲國に、支那大陸に、具體化されてきたのであります、エスペランチストはつとにエスペラントを通じて、この日本民族の世界的使命を果すことに努力してをられることを知り、エスペランチストに心から敬意を拂ふものであります。

さて私の一番心配いたしました點は、日本人の內の內地人が日本民族の特殊性を認識し、その使命を理解することはたやすく又當然のことでありますけれども、それらの人々の中には朝鮮人もゐる、臺灣人もゐる、その人たちは歷史的、社會的には日本と繫りがありますが、血を分けた同民族ではありません、これらの異民族の人々がどうして轉向するか、何處に轉向の理由を見出すか、單なる日本民族の特殊性では判らない、しかしこれらの人々を本當に轉向させたのは實に日本民族の世界的使命、即ち八紘一宇の精神であります、この精神こそは日本民族の優秀性を顯現してゐるものであり、そこに日本民族發展の積極的意義があります、そして民族としての日本人の優秀性により他民族を指導してゆく歷史的必然があるのだといふことを知るときに、初めて朝鮮人も轉向の理由を見出したのであります、この八紘一宇の精神、この認識によつて湧き出て來る血の中に、朝鮮人を、臺灣人を、滿洲國人を、支那人を更に東洋全體を、甦へらせる力があるのであります、この八紘一宇の精神がエスペラントの精神に通ずるものであり又滿洲國の建國精神なのであります、そこにエスペラントの有難味があるのであります

異民族者の轉向について日本內地人轉向者が心配して書いた手記が此處にあります、これは滿洲事變前に書かれたものであります、即ち

我々は日本民族の特殊性を確認致しました、これによりマルクス主義を淸算いたしました、更に世界におけるわが民族の使命を認識するでありませう、亞細亞諸民族を歐米諸國の隷屬より解放せしめ、更に發展し、それを抱擁し、東西文化を融合し、新文化を建設する使命を持つ者が日本民族であります、それについて想ひますのは半島出身の同志のことであります、或る半島出身の轉向者は私にかういひました。『日本人は日本民族である限り何時かは轉向出來ます、私共半島人は家族愛に目覺めることによつて轉回致しましたが、日本民族でありませんから日本精神の把握は十分に出來ません、從て眞の轉向は出來まいと思ひます』と申しましたから私は次のやうに答へたのであります『眞に日本精神の把握者ならば誰か朝鮮の良き發達を願はない者がありませうか、亞細亞文化における日本文化の意義を認識した者にとつては、民族的偏見がある筈がありません、日本を愛する日本民族は、同時に朝鮮民族を愛し、進んで滿洲を愛し、支那を愛し、東洋を愛し、世界を愛します、これこそ八紘一宇の精神であり、日本精神であります、かくして朝鮮を愛する朝鮮の同志は眞の日本精神の把握者、具現者として、そこに轉向の理由を見出すでありませう』

以上のやうに述べてをります

また此處に朝鮮出身轉向者の手記があります、以て半島轉向者の心情を識ることが出來ます、即ち

此處において朝鮮民族の社會生活、精神生活が如何に非理想的であり、劣等的であり、危險性をもつたものであるかゞわかつた、かくて我々は社會救濟の質難な氣持を持ち、一切の自我に囚はれず、理想探究の念と眼とをもつて、最も密接なる日本の家庭、國家、社會國體、民族へと眼を向けて吟味致しますとき、日本の家庭、國家、國體、社會、民族の姿こそ朝鮮民族を、その過去、現在、未來にわたつて、永遠に救ひ上げる理想眞理だと確信するに至つたのであります、かくして私達は日本精神は決して一片の灰色の觀念ではなくて、朝鮮民族の行手をハッキリと示してゐるものであることが判りました、この世界の現勢を正しく見直し、日本民族の國際的地位、極東亞細亞における日本民族の使命を考へますとき、我々を指導するものは日本精神であり、我々も共に日本精神の把握者、具現者として協同して、初めて朝鮮を理想へ導くことが出來るのだといふことを認識するに至りました

このやうに書いてをります、この間の事情は單に共產主義者のみならず、他の無政府主義者の間にも共通に見ることの出來るところであります

ラヂオ　けふの番組
〔M・T・C・Y 新京放送局〕 廿二日【日曜日】

—朝—

七、〇〇(新京)建國體操
七、一八(大連)入港船のお知らせ
七、二〇(新京)ニュース
七、五五(大連)朝の音樂(レコード)ヴァイオリンとピアノ　ヴァイオリン奏鳴曲第十番(モーツァルト作曲)ヴァイオリン・カール・フレッシュ、ピアノ フェリックス・デュカ
八、二〇(新京)氣象通報
九、三〇(東京)子供の時間　管絃樂(解說付)交響組曲「アルルの女」ビゼー作曲(日本放送交響樂團、指揮篠原正雄)
一〇、〇〇(東京)週間を顧みて(錄音)
一〇、四〇(京都)日曜勤行 ‖京都淨土宗總本山知恩院大殿より中繼‖萬部會法要(導師管長郁芳隨圓、他一山僧衆出仕)
一一、一〇(新京)講演「最近の食糧問題」

—晝—

一一、五〇(東京)經濟市況　農學博士 加藤二郎
一一、五九(東京)時報
〇、〇一(新京)晝の演藝 童謠とサロンミュージック(レコード)
一、童謠　一、靴が鳴る、二、猿蟹合戰、三、お山のお猿、四、ない〳〵づくし、五、青い目の人形、六、ニコニコピンピンの歌、七、通りやんせ、八、雨が降ります
二、サロンミュージック　一、串本節、二、鹿兒島小原節、三、草津節、四、安來節
〇、三〇(東、新)ニュース
一、〇〇(富山)傷病將士慰問の午後 ‖富山市電氣ビル・ホールより中繼‖ 一、漫談、二、浪花節、三、漫才、四、歌謠曲

—夜—

二、五九(東京)北米西部向・海外放送・音頭集第二週(俚謠、甚句の巻)ヴォーカルフォア合唱團、白雲會、伴奏、東京放送管絃樂團、指揮高階哲夫
四、〇〇(東、新)ニュース　(新京)氣象通報
六、〇〇(東京)子供の時間(ラヂオスケッチ)滿蒙開拓靑少年義勇軍
六、二五(新京)趣味講演「綿の話」前田良次
七、〇〇(東、新)ニュース　(新京)告知事項、今晚の番組
七、三〇(東京)講演「國民防空に就いて」大日本防空協會理事長 後藤文夫
七、五〇(東京)錄音レポート
八、〇〇(東京)日曜特輯ニュース演藝
八、二五(大連)合唱 ダルニー・コーラ
八、四〇(大連)歌謠曲(レコード)
八、五〇(東京)十分間演藝 ほがらか日記
九、〇〇(東京)ラヂオドラマ、熊の出る里
九、三九(東京)時報、ニュース　(新京)ニュース、ニュース解說、氣象通報、告知事項、明日の番組
一〇、三〇(新京)今日のニュース
一〇、四〇(哈爾濱)北滿の時間(露語)

東京無線

懸賞放送文藝入選作
ラヂオドラマ　熊の出る里　八條志馬作
〔午後九時 東京より〕

作者八條氏は本名工藤猛、明治三十六年北海道利尻島鬼脇村に生る、小學校卒業後奉公せしも成らず、同地の罐詰工場の職工見習となり二十一歲で北海道本島に渡り看板工となる、二十四歲の春現住所夕張郡栗山町にて獨立自營の開業をなす自來業務に從事する傍ら文章の道に進み、今回の放送文藝に入選したもの、演ずるは大矢市次郎、村田嘉久子、小堀誠夫、南一郎等の諸氏

熊の出る里では、熊を撃ちとめるか、とめないかゞ、男子の面目の別れ目であつて、源吉は草鞋を打ち作ら、ぼそ〳〵と北海道辯で、自分の撃ちとめた大小牡牝の熊の話しを、今は歸へらぬ昔の靑春話しとして、女房のまつを相手にやつてゐるが、それと云ふのが、またまた村に熊が出て人々を騷がせてゐるからである、ところへ源作が鐵砲を貸して呉れとやつて來るが、他人の腕を信用出來ない源吉は一方熊を撃つ名譽を他人に奪はれる嫉妬も手傳つて態よくこれを拒絕するのも、もう今では寄る年波に自分では撃ちに行けないからである、其處へ伜の淸太が鍛冶屋で修繕して貰つたブラオを擔いで歸つて來るなり、源吉の鐵砲をかして呉れと云ふ、遠方でしきりに鐵砲の音がしてゐるが、どれも獲物に當つてゐぬらしいからである、母親のまつは萬一の事があつてはと心配して源吉は伜の腕をまだ靑二歲だと輕蔑して、折から通りかかつた郵便屋の留造と三人で淸太によさせようとするが、結局淸太は自信あるらしく鐵砲を持ち出す、それから暫くして秋空をつんざいて轟音が彼方に聞こえ續いて二發、三發と上るので源吉はがつかりするけれども、それは源吉の早合點で權や三平の彈丸はやたらに的をはずしたが、淸太の一發で見事ことが決つたことが、驅けつけてそれを報告する定平や銀次の言葉から判明した瞬間、これで俺の後繼ぎが出來たと、源吉は無性にうれしく、誇らかに自分を感ずるのであつた

十分間演藝 (後八・〇 東京より)
ほがらか日記　秋晴れ　川口順平作

お緣側でルミ子ちやんがお母さんに柿をむいて戴いてゐます、とところへ親戚のみち子姉さんが訪ねて來ました、お母さんとみち子さんとはいろ〳〵むづかしいお話をしてゐます、ヨーロッパとか國債とか貯蓄とかいつた言葉がすべてルミ子ちやんにはものめづらしいのです、でいろ〳〵と質問してはお母さん達のお話の邪魔をします、みち子さんはその度に食べかけた柿を持つたまま笑ひころげるのです(みち子さんは佐々木信子、ルミ子さんは中村メイ子、お母さんは外崎惠美子)

子供の時間 (後六時 東京)
ラヂオスケッチ　滿蒙開拓靑少年義勇軍　田鄕虎雄作

出演者は辻復二、相馬幸子、小村晴江その他、合唱は東亞合唱團、伴奏は東京放送管絃樂團、指揮は島田晴譽

三郎と千代の兄弟が義勇軍の歌を稽古してゐるところへ、友達の硏介がやつて來てその歌は何かと聞くので、話はせんに義勇軍や義勇軍に行つてゐる次郎兄さんのことになります、そこへお父さんもやつて來て義勇軍の見送りに行つた時の樣子を話して聞かせます、やがて母も次郎兄さんから來た手紙を持つて來て子供たちにそれを讀んで聞かせます、船出の光景から大連到着の狀況、曠野を走る汽車の中から現地の樣子なども錄音でお聞かせします

新刊紹介

△雄辯　十一月號
◇『雄辯』十一月號は秋の讀書季節に備へて、讀書への要望に應へてゐる。◇まづ特輯の『ヒットラー總統の長廣舌「勝利か死か」の錄音について』、靑木得三氏の『世界の動亂と日本の針路』及び『傳記文學の大家木村毅氏の「王兆銘」』などが、その最も優れたものとして擧げられよう◇其他の大物では「歐州大戰の表裏を語る座談會」「歐州大戰と重慶政府の今後」など國民の誰もが知らんとするところであるだけに眼につき易い、「時局下の南洋を往く」山本田讓、「時局と產業建設」澤田忠興、「軍事援護ノ銃後の國民」荻野憲裕なども捨て難い時局的魅力を具へてゐる◇本誌獨特の辯論記事としては「誌上公開演說會」の他に應用自在と銘打つた「短時間演說集」があり近衞樞相の御曹司文隆君の、東亞靑年聯盟協會發會式における雄辯「吾等の進言」にも雄辯術を敎ふる記事としても參考に資すべき多くの示唆を含んで居る

△婦人倶樂部　十一月號
◇婦人倶樂部十一月號には、時局下家庭婦人の參考に供したい好記事が甚だ多いが、一面實用記事の範圍に入る記事も決して少くはない◇眞新しい印象で讀まれたのは、何と云つても酒匂ボーランド大使夫人を迎へて、特急車中で開催した座談會記事であらう、其他ではノモンハンの擊隊王篠原少尉母堂の手記や我子三人を大將、中將にした武將現侍從長の母堂物語、『一妻の悩みを救ふ人事調停法の實例座談會』『增稅物價高と家計の引締め方研究會』其他具體的な問題に就ての記事もあり、かと思ふと『夫婦喧嘩さまざま〳〵漫談會』など微苦笑ものもあつて賑かだ◇山口病院に靜養中の白衣の勇士氏原大作氏の感激小說『父なきあと』第一回が發表されたが、これは銃後女性に生ける遺言の聲として熟讀されるであらう◇附錄には『和服、洋服の更生利用法』『漢方秘藥の處方百五十種公開』『東京足袋の實物大型紙十四種』の三種類がある

學藝

戯曲　日出（五十三）

曹禺作　大內隆雄譯

（一人の小さな娘が入つて來る、短い服を着、水壺を提げてゐる、厚い唇は上を向いてゐる、二つの大きな歯が見える、物言ひには何處かぞんざいな所がある又すら〳〵してゐない。彼女は四角な卓の前に行き、水壺を置き、札を數へ、白眼を剝いて翠喜を見る。）

翠喜　お前何を見てるの、小順子！

小順子　これあの肥つた旦那が下さつたんですの？

翠　少いつていふの？まさかお前さんの墓地を買ふほどのお金を誰も呉れはしないわよ。

小順子　（首を振り）みんな帳場に上げるんですか？

翠　みんなやらなくてもいゝのよ、主人には一日一圓やつたらいゝんだから、ね？

小順子　でもそれぢや食べ物は？

翠　まだ食べ物の心配なの？まあ風でも食つてやつて行くのさ。（煤球爐の前に行つて火にあたる。）

小順子　（振り向き、それを不承知なやうで）又あなたのお父さんがやつていらつしやるわ。

翠　それもたゞで來るんぢやないわ、でもこつちにだつて金はありやしない、これで好い暮しをしてるんだつたら、三圓でも五圓でも喜んで出すわよ、そして家の者を喜ばせてやる？…何度やつて來てもさ（考へこむ忽ち）私だつて此處に來た頃は隨分と繁昌したものだつた、一日に二十何組とお客がついたんだ、小順子、お前にだつてたんとお金をやれたよ、うゝん（首を振り）もう駄目だ、もうそんな時は過ぎてしまつた。（窓の下を唄をうたつて行く乞食がゐる、板の樂器をたゝきテイタテイタテイタテイタとやつてゐる、輕快な音樂である。）

乞食　（溜息を吐き）「へーい、早く又運くたゝいてりやいつか美人の所に來た、その家の前には對聯があつて、畫から杯のやり取り夜はおむこさんが又換るとか何とか書いてある（テイタテイタテイタ）一歩二歩又三歩行き、お茶を澤山出して黒い顔のお客も、白い顔のお客も泊らせる、旦那の相手も致します、瓜子も有ます、砂糖もある、小ちゃなお歌、實物、しつかり抱いてあげまする」（それから持ち前の重々しい聲になり）旦那樣、この盲目を哀れと思つて下さい。

翠　さ、あつちへ行つてよ、此處で騒がしくやらんでおくれ、錢はないよ！（くはへてゐた煙草を外に棄てる）さ、煙草をあげるよ。（乞食が拾ふのを見て）ほう、おかしなこともあるわねえ、めくらが煙草を見付けて手を差し出すんだからさ。

乞食　（ニコ〳〵して）私は片つ方だけが盲なんでしてなア有難うございました。

小順子　早く子供を連れて家に歸つたらいゝんだわ。

翠　（ペツと痰を吐き）家に歸るつて？この寒い日に家に歸つてたら凍え死ぬわ。子供は此處に置いときやそんなことはないわ。お前あのこぶのある人に言つておくれ、今こちらにお客さんがゐるから後で行きますつて、ね、入り口の所に立つてるでせう？

小順子　入つていらつしやいと言つても、格好が格好ですからつて、いらつしやらないんです。

翠　うゝん、自分の娘を食はせることも出來んでさ、あの年になつて、まだそんなことを言つてるんだね。

小順子　（卓を擦り）新しく來たあの子は？

翠　小翠ですか？部屋にゐますよ。

小順子　（低聲）もう少しゝたら黒三が又やつて來るわ。

翠　（溜息を吐き）見てゝ御覧、あの娘今夜ちつとも稼いでゐないわよ、黒三が來たら、困つちまふでせうよ

演劇と協和（七）

松川隆一

かく書いてくるとまことに複雜多岐を極めてゐる樣に思はれるだらうが、現在の狀勢では、劇團が出來て組織を作るといふ手段では、發展を期し難いのである。組織を作つて演劇運動を擡頭せしめ、擡頭せる演劇運動を利して建國に利す、といふことが考へられねばならないであらう。

過去に於て、大同劇團はその仕事の一端を果してきたが之は一劇團のなすべきには、餘りに重荷に過ぎ充分なる成果を希み得るものではない。各地方の移動公演の度毎に、その組織への働きかけを行つてきたが、究極組織を持たねば完達し得ないことが、明になつてきた。

以上の私見を再三檢討し、既成劇團に對する方策とゝもに、中央演劇連絡指導機關設置に進み度いと考へる。

最後に餘り日系には知られてゐないと思ふから、かうした運動の一つとして、新らしく出發してゐる「滿洲戯劇研究會」に就て紹介し、堅實に堂々と進みつゝある滿洲演劇運動の一端を知つて頂かう。

一昨年各方面の後援で、「滿洲國劇音樂協會」が組織されたが、その名に恥ぢぬ活動も出來ぬ中に衰退しつゝあつた、之を遺憾として本年新に改稱して再出發したのがそれである。

會員約百名を有するアマチユア一戯劇團體であるが、その任務はまことに大きい。先づ舊劇脚本の整理、新脚本の製作提供、各地戯院設備に關する研究等々、主として滿系有志によつてなされ、弘報處民生部、滿日文化協會、協和會の後援で、着々とその實をあげてゐる。之は單なる一戯劇研究會ではない、演劇協會結成の曉には、戯劇に對する指導の任を果すべき重任にあるものでこの研究會の發展こそ、數百年の歷史を持つ支那戯劇に代つて、滿洲國劇を生み出し得るものであると考へてゐる。

最後に、現存の劇團を紹介して筆を擱く。

新京＝大同劇團、滿洲戯劇研究會、協和會朝鮮人分會文化部演劇班、放送語劇團、中銀戯劇研究會

奉天＝奉天協和劇團、奉天第一劇團（奉天醫大生の研究劇團）放送劇團雅劇研究團、市公署內劇研、省公省內劇研、滿志城銀行內劇研、海城縣海城劇俱樂部

吉林＝吉林協和劇團（滿鐵社員、官吏、一般民により組織されたるものにて、舊吉林戯劇研究會を含む）

哈爾濱＝劇團ハルピン、新星劇團（之は滿系で、協和劇團と改稱再出發せんとするもの）、露西亞藝術研究會（今回渡日公演に殘念乍ら苦杯を甜めたオペラ劇團である）、哈鐵門戯劇研究會

安東＝安東協和劇團（滿鮮兩語部を有し、共に果敢に活動中）

鞍山＝名稱不明なるも主として、鮮系劇研

興安＝興安劇グループ（吉林省で興安縣にあり滿人學生及び地方青年によつて編成されて娯樂少なき田舍に柔か味を與「悪習慣の蔓延を防止し、會員修養の一助ともなし云々」規約にあり、康德四年創設後グループ創作、新脚本上演約十本に及んでゐる）

綏化＝協昭會地區本部の指導下にあり、滿系官吏及び滿人工人による組織

この他、各地の小劇團、小グループは三十有余に及んでゐる。

之等の事實をみても、如何に連絡指導機關設置の要が緊急事であるかゞ察知されることゝ信ずる。

（一九三九、九、二五）

學藝消息

△新京喜多會第五回溫習會は二十二日午後一時中銀俱樂部で開催される、番組は仕舞＝草紙洗小町、玉之段松風、夕顔、天鼓、素謠＝鹿島、俊成忠度、鱗形融、熊坂、羅生門である

△日本畫の六畫伯中支へ　和平建設着々進む中支に今度は日本畫部隊が出張して新秩序の建設にいそしむ民衆や皇軍の戰蹟等に彩管を揮ふことになつた、一行のメンバーは東京から伊東深水、飛出周山、酒井三良、京都から上村松篁、三輪晁勢、池田遙邨の六畫伯が華中鐵道會社の招聘により總延長八百四十キロ、バス路線一千二百キロを走る同鐵道の沿線を主に上海、蘇州、南京、鎭江、杭州等を一ヶ月に亙り視察することになつてゐるのであるが東京側は來る廿四日夜東京驛發列車で華中鐵道田副總裁等と一緒に西下、京都驛で京都側三氏と合流廿五日神戸解纜の龍田丸で出發する

爆撃機　少年もの

北村謙次郎「早春」（『滿洲行政』十月號）

この作者の例の少年もの〻一つをなすものである。此處には輕い猩紅熱にやられた少年の入院、その病院で再會する滿人少女との精神的交渉、病氣恢復の經過などが描き出されてゐる。

作者のみづ〳〵しい筆致は、この題材をよく描き出してゐると言ふことが出來よう。これはやはり滿洲らしい匂ひの高い文學であると言はねばならぬ。そして何よりも作者の素直さをよしとすべきである。（御垣衛士）

此頃雜感　―悲劇と死について―

遠藤美津男

人からは悲しくても、嬉しくても、あまり感じられないのであらう。生來、暗いこゝろに押しつぶされてしまつて悲しいことがあつても、それをほんとうのこととして云はない。秘密などゝ云ふものではなくても、ありのまゝの悲劇の事實はひとに語らぬ。同情を求めんとするこゝろなどは、いつの間にか失つてゐてたゞ自分のものだけで生きてゐる。さうした、此頃の僕である。

自殺すると、ひとに向つて云ひだしたのは昨年の秋であつた。それから一年間、無事に自殺するなどゝ云つたことは忘れてしまつて、いろ〳〵のことをなして來た。多の頃死ぬる氣持で毎夜酒を飲み續け、喀血と同時に自分でも肺病と知り、春まで病臥してゐた。それで夏は、たしかに幸福な時期であつた。自分で信じるのはつまらないが、運命と云ふ言葉を以て幸福な夏を想ひ出す。

夏から秋となつた。前から暗いこゝろで向へる此の秋は苦しいと、豫期してゐたことが、そのまゝ事實となつた。十月五日の晩、十時項から吹き捲つた激しい風は、夜明け前までの間に、どれほど僕をたゝきつけてしまつたか。――この理由だけは絶對に秘密である。

明る日、一日は、やつと、希望を見出して生きることが出來てゐた、その風の晩、同人の白石君と街で會ひ、カフエーを二軒歩いた。カフエーでは酒はあまり飲めなかつた。體のことを考へてゞはなかつたが、どうしても欲しくなかつたのである。今年になつて初めて、自殺すると云ふ言葉が出たのは、其の夜、白石君に對してゞあつた。彼とつきつめた問題などを話し、言葉に醉ひかけだ自分を發見した時から、文學の話をする勇氣を失つてゐた。それでも、赤玉の女給が、大宰治の小説を讀んでゐた、その話しに引づられて、思はず、大宰治に同情した事などを話してゐた。一時近く、其處を出て、雨に吹かれた街中を家に歸る僕はほんとうに苦しかつた。

今日も、風は未だ吹いてゐる。いまゝでに秋の風がこれほど身に迫つて悲しく、苦しく感じた事はない。感傷ではない、秋の淋しさである。昨日は、街を往來する人々を暫らくみつめてゐたが、どの人間も、とても哀れに見えた。――人が哀れなのではない僕の現在が哀れなのであるが。

悲しい事實に自殺を想ふ樣になつたのは、この二、三日であるが、いろ〳〵のことについて、精神は眞實に鬪つてゐる。また眞實に解決しなければならない、幸福とは何か生とは何かと、根本的な問題に突きあたつてゐる。

今日七日、新聞社の川口君のところで、最近出た、第一地滿の「らりるれろ、れろ」甘北方詩と云ふ詩誌の中に、甘と云ふ、このひとの遺作を見自殺したこの詩人を想ふて、生に抗力出來ぬ不幸な精神の悲哀を深く感じたのである。

現在、生き得れば、「悲華落葉」の精神を得ることが出來ればよい。なにか、それでも文學の整理を（これは現在の僕の文學精神である）しなければならぬと云ふ希望がある。――この希望によつて生きてゐる。

八大專賣特許

第一〇一九七一號　酸素を含有せる齒磨

第一〇二一二〇號　オゾンを含有せる齒磨

第一〇三四三三號　過酸化水素を安定なる狀態に於て含有せしめたる齒磨

第一一五二六二號　第一一六六四一號　新殺菌劑クロール・カルヴアクロールを含有せる齒磨

第一二一四七四號　新殺菌劑ヨードチモールを含有せる齒磨

第一二四二一九號　クロラミンを抱合せる齒磨

第一二五七〇〇號　銀コロイドを配合せる齒磨

新專賣特許　レントゲン照射に依つて勵起したる藥品を應用せる齒磨

八大專賣特許をもつ藥用齒磨

ムシ齒・齒槽膿漏を防ぎ齒を强健にする

★ **清掃力の强い特殊性能**

全身の健康に重大な關係をもつ齒のためにぜひ殺菌と清掃力の强い藥効的齒磨を撰びませう。」藥用クラブ齒磨は優れた殺菌劑クロール・カルヴアクロール及びヨードチモールと更に最新の殺菌劑ヘキシールレゾルチンの配合によつて口中のバイキンをよく淨化清掃してムシ齒や口臭、恐ろしい齒槽膿漏を防止します。

★ **健康强化にクラブ齒磨**

朝と晩藥用クラブ齒磨をお使ひになれば口中を完全に淨化すると共に齒や齒齦を藥効的に强化し衛生上傳染病の豫防ともなり、しかも何等の副作用がありません。ですから藥用クラブ齒磨によつて一段と健康を强化しませう。

藥用 クラブ齒磨

煉・半煉

五—92

補血强壯 プルトーゼ

体位向上

株式會社 藤澤友吉商店

奉天市加茂町十五番地・大連市山縣通七番地
天津日界常盤街一番地・上海密勒路八號

B1403

口中殺菌劑 カオール

衛生口錠

大氣の乾燥と黃塵による咽喉の障害を予防し諸種の病菌を驅逐する

大陸開拓の重大使命を負ふ皆樣の保健衛生藥カオール

飲食の後、外出の時、人込に居る時、疲勞倦怠の時……等には

忘れずにカオール二三粒を服用せられよ、本劑は口より侵入する諸種の病を豫防し、疲勞を速に恢復、精神を爽快にします

配劑と効用

一、**口中殺菌劑を配合す**　從つて空氣又は飲食物と共に口腔より侵入し來る諸種の病原菌を口中に於て殺菌するが故に種々の傳染病を豫防す

二、**健胃整腸劑を配合す**　從つて胃を健全にし且つその消化力を亢進し食慾を增進せしめ下痢腸カタル等に整腸劑は殺菌劑と相協力してこれを治療す

三、**興奮劑及强壯劑を配合す**　從つて心身の疲勞沈衰したる時には各機能を興奮せしめ氣力を恢復旺盛にし健胃劑と相俟つて肉體の强壯を計らしむ

四、**清涼劑及美音劑を配合す**　從つて其特有の芳香により口中の惡臭惡熱を除き祛痰劑は咽喉の乾燥を潤し音聲を美化し精神を爽快ならしむ

製劑顧問　ドクトル　松尾道

定價と容量

品名	定價	容量
袋入	（十錢）	百粒
同	（二十錢）	二百五十粒
携帶用防濕瓶入	（廿五錢）	三百粒
ポケット容器付	（三十錢）	三百粒
御勾玉形容器付	（五十錢）	五百粒
鞄形容器付	（五十錢）	五百粒
菜金石容器付	（五十錢）	五百粒
保健容器付	（五十錢）	五百粒
徳用瓶入	（五十錢）	八百粒
同	（一圓）	二千二百粒

本舗　株式會社　安藤井筒堂藥品部

東京市日本橋區水天宮前

不動の國境防衛陣
停戰現地交涉終結までの經緯
壯烈、戰史を飾る奮戰

ノモンハン事件に關する現地停戰交涉は九月十五日以來日ソ兩軍代表によつて行はれ、十月廿一日に至つて完全に停戰交涉の終結を見

運命の國境線

は茲に再び靜穩を回復した、顧るに去る五月十二日外蒙兵のノモンハン附近に不法侵入せるに端を發したノモンハン事件は第一次、第二次、第三次と彼我の間に慘烈を極めた近代戰を展開するに至り、戰鬪の規模は逐次擴大さる、特に第三次における八月廿日以後は彼我數萬の大軍がハルハ河畔に相對峙し、近代戰史に稀な空陸の大激戰が行はれ双方共多大の損害と犧牲者を出すに至つた、九月に入つて戰場は逐次平靜に歸し、モスクワにおいて東鄕、モロトフ間に停戰協定成立するに及んで現地部隊も完全に鉾を收め、爾來兩軍代表の停戰業務も順調に進捗し廿一日一切の現地交涉は終結するに至つたものである、今次ノモンハン事件は地域的には極めて邊陬な荒蕪不毛の地點で行はれたものであるが

近代科學の粹

を蒐めた兵器を總動員したこと丶日ソ兩軍の大部隊が各その强大なる國力を背景として正面的に衝突したことから著しく內外の關心を昂めたものであつたが、ソ聯側の誇る機械化兵團に對して我軍は常に少數兵力をもつて敵に果敢な攻擊を加へ屢々繰返された敵の逆襲を排除し、遂に敵の國境侵犯企圖を破摧するに至つたもので我軍將兵の奮戰こそ誠に戰史に比類なき壯烈を極めたものであつた、今日動亂の歐洲情勢をながめ、特に波蘭等の悲慘な現狀は國境防衛の深刻重大性を痛感せしめてゐるが、今次のノモンハン事件に際し儼として固き不動の國境防衛陣をもつてソ蒙側の

國境侵犯企圖

を挫折せしめたのも、全く我が忠勇無双の皇軍將兵の奮戰の賜に外ならぬものであつた

採煖期待つ市民へ注意
煙突にも公定價格
廿四日から實施します

石炭消費節約運動の國策線に沿ふ採煖禁止期間も後四日の頑張りで解除、廿六日から愈よ採煖期に入り各戶の煙突から吐き出す煙に澄み渡つた國都の空も眞黑い煤煙に覆はれ本格的の冬の表情に變つて行くこと丶なつた、この採煖期を目睫にして各戶は早くも冬籠りの準備に大童、とくに煙突の需要は一段拍車をかけてゐるが、この程から一本五、六十錢の煙突が十倍の五、六圓に販賣されてゐると言ふ暴騰ぶり、必要に迫まられ乍らも手も足も出ぬと言ふ情勢に需要者を惱ませてゐたが、首警經濟保安股ではこれが販賣價格の統一に乘出し、かねて新京平浪薄板販賣組合並に同加工同業組合等と協議しつ丶あつたが、左の如く協定販賣價格を決定、來る二十四日より實施すること丶なつた、本價格は各店に揭示、違反者は暴利取締令を發動斷乎處分する筈である

◇黑薄板▼口經四寸、長さ三尺、五十五錢▼口經四寸五分、長さ三尺、六十錢▼口經五寸、長さ三尺、八十錢

◇白薄板によるものは黑薄板による煙突單價にそれぞれ十錢を加算す

◇曲り煙突は黑、白各薄板製單價と同一價格とす

尙取付料に對しては目下協議中であるが、遠近を問はず平均七、八十錢に決定するものと豫想されてゐる

石炭の値段は?
皆さん知つてゐますか

旣報、石炭需要期を目睫にして一噸十四圓內外の石炭が二十四、五圓に販賣された事實があり經濟警察では慌て丶調査したが、これは產地の關係によるもので決して闇取引ではないと判明したが、國都に於ける石炭の公定價格は次の如く一區から六區までの運賃(但し特別區は實費)をこれに加算すればよいのである、卽ち販賣人の噸當り販賣値段は

撫順切込炭、一一圓九〇、同 塊炭、一三圓四〇、同 洗粉炭、一〇圓六〇、煙臺練炭、一二圓四〇、西安切込炭、一〇圓九〇、同 塊炭、一二四九〇、同 粉炭九圓九〇、火石嶺切込炭、八圓九〇、同 塊炭、一〇圓九〇、同 粉炭、一一圓四〇、阜新切込炭、一二圓六〇、同 塊炭、一二圓九〇、同 中塊炭、一〇圓一〇、同 粉炭、一〇圓五〇

尙運賃は一區一圓五十錢、二區一圓八十錢、三區一圓九十錢、四區二圓十錢、五區二圓五十錢、六區三圓となつてをり若し撫順塊炭一噸を購入する場合は十三圓四十錢に一區ならば運賃一圓五十錢を加算した十四圓九十錢となる譯である、然し新京に於ける一日の採炭量は二千噸と言はれ極寒期は二千五百噸から三千噸の多きに及び、その爲統制品のみの石炭に於ては需要に應しきれず必然統制炭外の火石嶺西安等附近の小鑛山から採炭移入されるのである、これ等非統制炭は諸經費が莫大に掛り公定價格外の値段によつて販賣するの止むなき狀態に至るもので各需要者はこの點について注意が肝要である

濡れ砂糖も結構
饑饉緩和に配給
これは甘いニュース

滿洲の砂糖は品不足その他の理由から非常な高値を呼び、お臺所に深刻な脅威を與へてゐるが大連、奉天等に臺灣から積出されたが、船積みが遲れたゝめ高雄埠頭で水を含んだといふ濡れ砂糖約三萬擔の大量が打ちやられてゐる事實が判明したゝめ、從來この種の砂糖は大體滿洲製糖の精糖工場で白糖に加工されてゐたのを幸ひ、今回の分が一般民需用としては何等差支へなく運搬も結構流れずに運搬出來る程度のものであるのに着目し、砂糖飢饉緩和のためこれを一般に配給すること丶なつた、なほこれが配給は生活必需品會社の手によつて一般家庭用として振り向ける模樣であるが、値段は安く煮物等には一向差支へがないから一般家庭は大助かりだらう

ククククク 捕鯨船壯途へ

【大阪國通】南氷洋の寶庫を目指すわが捕鯨船隊の先陣日本水產圖南丸(九八六トン)は廿一日午後一時半キャッチャー・ボート六隻を從へて堂々大阪港を出港一路濠洲フリマントルの根據地に向つた、なほ第三圖南丸は廿三日、第二圖南丸は廿八日それぞれ大阪を出帆、またこれと相前後して神戶、横濱から極洋丸、日新丸第二日新丸も勇躍壯途に上る

匪首飛龍を逮捕

首都警察廳司法科遊動班ではかねて農安縣をはじめ扶餘、長春の各縣下附近一帶を荒し廻つてゐた匪首飛龍が最近市內に潛入した事實を探知、捜査中の所二十日夜市內四道街滿人旅館四海店に潛伏せる事實を突止め、廿一日未明寢込みを襲擊逮捕した、取調の結果、右は農安縣哈拉海馬坨子屯生れ飛龍こと鳥榮久(三〇)で嚴重な治安肅正工作に阻まれ銃器を鄕里の墓の中に隱匿して來京、一稼ぎを計畫中逮捕されたものである、尙餘罪多數あると見られ嚴重追及中である

關東軍の將士 耐寒野球

寒風何ものぞと關東軍司令部第二課では礒村課長から出された優勝カップ獲得を目指しての大野球試合を二十一日午後二時から兒玉公園球場で擧行、第二課對報道班の一戰に日頃のいかめしい軍服をかなぐり棄てた中島少佐が報道班主將として陣頭に立つたが哀れ敗退——礒村課長と共に觀戰してゐた加藤報道班長「敗けても戰鬪力の旺盛なところを見てくれ」と大滿悅【寫眞は見事ヒットを放つた中島少佐の勇姿と觀戰中の(左)加藤報道班長】

棉聯理事長に石橋電業理事就任

棉業聯合會は廿三日午前十時より軍人會館において理事長選任の臨時總會を開催、向坊專務理事の特產專管公社理事長轉出に伴ふ後任選出の件を附議するが、石橋現電業理事が就任することに決定してをり、一方電業では來月六日頃臨時總會を開き石橋氏の正式辭任を受理する筈である、なほ同聯合會は廿四日午前十時より同所において第一部會を開催し綿布規格統一問題について審議するが、これに引續き第二部會を開き同問題の審議を行ふ筈である

生保視察團離京

十七日新京到着以來各關係方面と懇談を遂げた生保視察團一行は關係者多數の歡送裡に廿一日午後一時四十分新京發あじあで奉天に向つた

盜んで送つた服地
受取に來て御用
首犯は哈市に飛ぶ

六千圓の洋服生地竊盜犯の片割れが二十一日午後一時五十分頃新京驛手小荷物受渡所で警護隊驛詰所員に逮捕された、右は吉林東關市場居住時計商徐子淸(三六)で、事件の發端は去る十四日深夜奉天驛構內から洋服生地入二箱(六千圓)が何者かに持ち去られてゐるのを發送積込の際係員が發見大騷ぎとなり、同地警護隊で取調べの結果國際苦力吉林生れ徐維亭(四二)の仕業なることが判明、生地二箱を大鄭線黑山に運搬同驛より徐子厚の僞名を用ひて新京驛止受取人徐子霖宛發送附したことが判明、二十日朝新京警護隊驛詰所に受取人徐子霖の取押へ方手配あり、同所では手小荷物受渡所と連絡をとりつゝあつたところ、そんな恐い眼が光つてゐやうとは夢にも思はず兄貴の大仕事に一役買つて出たのが弟の子淸で、捕つた彼は更にこれを哈爾濱に轉送する筈だつたと申立てたので、すでに首犯維亭は哈市に潛入してゐる模樣なので奉天本隊國定刑事は哈市へ急行維亭の逮捕に向つた、なほ苦力である維亭がかゝる大仕事に手を伸した背後には糸引く大物が存在することが明瞭で、又各地苦力仲間同志と密接なる連絡あるものゝ如く大膽不敵な敏捷さに追跡の刑事連も舌を捲いてゐるが六千圓の生地を何處へ運び賣捌かうとするのか、だが首犯維亭以下一味の逮捕は目睫に迫つてゐる

金泰で萬引常習

二十一日午後二時五十分頃日本橋通金泰藏ざらへ賣出しの混雜を奇貨に毛皮帽子二個、上等靴下二足を素早く風呂敷に包んで逃走しやうとする滿人女性を店員金宴照(一七)君が發見取り押へて日本橋通派出所へ突き出した、右は西七馬路門牌一號居住齊王氏(二六)で、今迄に數回金泰、寶山に出入萬引を働いたことを自白したが、余罪多數ある見込

金物御用心
泥棒が横行します

三十一日午前一時から同六時までの間に祝町三丁目二條ビル一階滿洲柞蠶株式會社の表ドーアの眞鍮製パイプ六個の中四個(時價六十圓)が何者かに搔ッ拂れてゐるのを社員が發見、中央通署に屆け出たが最近この種金物泥棒が深夜の街、露路を濶歩し表戶の鐵、眞鍮製パイプ、その他を巧に釘を拔き取り手當り次第に搔つ拂ひ、甚しいは銀行、會社入口前にある自轉車置場の鐵柵を拔いて持つて行くなど用心のしやうがないのに眼をつけた惡賢い泥棒が跳梁してゐる

興銀支店長異動

大豆專管制の實施に伴ひ滿洲興銀では過般來各地支配人會議を開催するとともに同行業務內容の變革に卽應する新業務方針を確立したが、これを機會に本店課長、支店支配人級の異動を行ふこと丶なり廿一日左の如く發令した(括弧內舊職)

庶務課長(管理課長) 萩尾開造
管理課長(庶務課長) 栗田二郎
鞍山支配人(商業金融課副課長) 岩澤猛
承德支配人(奉天支店支配人代理) 日下部政太郎
齊々哈爾支店支配人(大連支店副支配人) 高垣寬吉
圖們支店支配人(中小金融課副課長) 高橋憲弘
龍井支店支配人(圖們支店支配人) 大熊治
庶務課副課長(新京本部) 一瀨恕海
商業金融課副課長(檢査人) 宇宿敬次
中小金融課副課長(鞍山支店支配人) 服部繁松
調査課副課長(調査課) 谷田部時次
秘書課參事(調査課課長)
檢査人(齊々哈爾支店支配人) 木村憲二
檢査人(奉天支店副支配人) 馬渡猛夫
奉天支店副支配人(大連伊勢町支店副支配人) 伊藤毅三
大連伊勢町支店副支配人(鐵西出張所勤務) 星原靜治
大連支店副支配人(承德支店支配人) 戶口涉
依願解職(龍井支店支配人) 太原吉五郎

衆議院皇軍慰問團

【東京國通】衆議院では過般の各派交涉會の決定に基き左の如く四班に分けて皇軍慰問團を派遣するに決定した

△滿洲方面 十一月一日東京發、團長小山谷藏、一松定吉、高島鎰太郎、川崎巳之太郎、前川正一

△北支方面 十一月一日東京發、團長小山邦太郎、福田關次郎、深澤吉平、北村文衛、永田良吉、一ノ瀨俊民、木出英作、中野治介、松本治一郎、北浦圭太郎

△中支方面 十一月五日東京發、團長松村光三、岡野龍一、坂下仙一郎、服部岩吉、中原謹司

△南支方面 十月廿七日東京發、團長野田俊作、成島勇、川副隆、八角三郎、長谷長次

2—0 慶應制覇
秋のシーズン終る

【東京國通】秋の覇權をかけたこの一戰早慶野球決勝戰は廿一日午後二時立錐の餘地なき神宮球場に慶大先攻で三度鉾を交へた、この日兩軍共前日同樣石黑、高木を陣頭に立て互ひに連覇と雪辱を期したが、三回慶大先づ野手の凡失と大館の安打に最初の一點を擧げ、更に四回水野安打に出て好走よく二壘を奪ひ、近藤の好打で一擧生還一點を加へ悠々前半をリード、一方期待された早大の打棒は老巧高木のピッチングに完全に幻惑され凡退を續け僅か六回に得點機を迎へたが無爲に終り試合は終始慶應の壓倒裡に經過、結局二對零で慶應秋季シーズンの輝かしき覇權を握つた

△スコアー

慶	011000000	2
早	000000000	0

△バッテリー
早大 石黑、近藤=小野
慶應 高木=近藤、井上

淡谷のり子一行の挨拶

ライオン齒磨本舖から特派のライオン齒磨愛用者招待に二十二日晝夜滿鐵西廣場倶樂部に出演する音樂と歌謠の淡谷のり子と其樂團の一行ならびに歌謠漫談のアザフ伸君などはライオン本舖の五十嵐四郎氏、淡谷樂團の大山秀雄氏らと挨拶に來社

青年學校生徒神宮大會へ出發

明治神宮國民體育大會に全滿青年學校を代表して新京青年學校より左記七名を派遣すること丶なつたが、晴れの選手はけふ廿二日午後九時三十分發列車で勇躍出發する

銃劍術選手、田崎藤君▼手榴彈投擲、小野寺長平君、東畑正敬君、川村武雄君、沼野秀夫君、柳樂幸信君、山形一作君

藁工品の製造會社創立

包裝材料の自給自足を確立し傍ら農村副業を獎勵するためかねてより產業部で斡旋中であつた藁工品の製造會社滿洲產業株式會社は二十一日創立準備を完了した、同社は藁工品の生產及び集散販賣を一手に行ひ近來不足を告げてゐる包裝材料の代用品としてまづ此の大量增產をはかる方針である

鐵道警護隊

鐵道警護隊の機構使命を承知してゐるものは或る一部の人、曾つて御厄介になつたものを除いてはあまり知られてゐない樣だ▼橋本新京隊長新聞記者に會ふ度に「まあ君達が事ある毎にうんと書いてくれることが一般民衆に警護隊とは一體どんな仕事をしてゐるのか解つて貰へるのだがネ」と、忙しい中にもこれだけは誰にも忘れずに附け加へるらしい▼又「隊員の服裝がどうもネ、午蒡劍に拳銃と小銃では何處かの警備員にしか見えん、その爲警護隊の何たるかを認識しない人々からとんでもないことを云はれるのみか、苦力からまで度々舐められたことをされるので、なんとか威嚴溫情ある隊員をと心掛けてるんだが」とその日はなかなか雄辯であつた▼だからと云つて最近激增した驛構內での掏摸、搔ッ拂ひ惹起の辯解とはなりませんネ、要は第一線隊員の意氣、精神にあることをお忘れなく……

けふの天氣　南西乃至南東の風晴後曇
きのふの氣溫　最高二度六　最低零下七度三

女人果（百八十三）

小栗虫太郎作　中島喜美畫

魔都上海（3）

『つまり、僕は蹴けやうと想ふんです。』

『えつ、君が』

三人は、一齊に驚きの聲をあげた。

『殺られる！これだけは、保證付きだからなあ』

『しかし、男子死所を得るといふことが、ありますよ』

靖吉は、一歩も退かなかつた。

『どうせ、シャンパンティエが逢ふといふからには、首領株でせう。ですから、この機會に根絶する事が出來れば……』

『やれるか』

『……』

『君、獨力かね。』

危ぶむ、三人の眼が、一齊に靖吉の顔にあつまる。

『むろん、僕、獨力ぢやありませんがね。』

『中原社、あれを御存知ですか。』

中原社――。

さきに蔣介石の北伐完成とともに、舊安福派の勢力が完全に叩きつぶされ、その末葉分子が、上海にとゞまつて妄動してゐたのである。

おそらくは、下野隱遁したはづの段一派の陰謀で、その手先となつて上海治安の攪亂を、中原社は一手に請け負つてゐるかたちだつた。

すなはち、事變になつても支那人間にのこる、唯一の反蔣團體なのである。

したがつて、これと藍衣社と聯明社とは、いきほひ、上海に於いてしのぎを削り合ふ不倶戴天の間柄なのだつた。

靖吉は、してみるとそれに知己かあるらしい。

『僕に、どうです、任せて頂けませんか。損しても、こつちは僕一人の損害です。運よくいきア作戰上多大な附與となるでせうが……』

しかし、船長とも三人は、しばらく默つてゐる。

みすみす、靖吉を死地に追ひやることは、情として忍びないことではあるが、萬一の成功の際の光明にもいざなはれる。

『南京蟲です。あいつらに、しよつちゆう咬まれてゐちや戰ひも不自由です。どれ、僕がこれから燻蒸してやりますか』

『それもいゝが』

三人は、またなにかと腹を決めかねてゐる。

『だが、どうも考へると、成功はおぼつかないな。』

『しかし、私人としても、僕のやうなのはゐるでせう。』

『そりや、ゐるとも』

一人の、××機關らしいのが、昂然と眼をあげる。

『居留民にも、そりや話があつてね。どんなに、われわれ軍關係者が感謝していゝ分らぬのがある。』

『ハハハ……』

靖吉は。とつぜん笑ひ出した。

『それ御覽なさい。豫測は、どうでも死地をひらく途がありますからね。』

『そりや、さうだ。』

『では、いちばん遣つてみることにしませう。成功、不成功は、賭けた運にあります。』

『よろしい』

そこで、四人が盃を手に立ちあがつた。

嚴肅な、しかも神聖を絶する乾盃。

祖國のため、一私人とはいへ、拱手のときではない。

靖吉は、立ちあがつたが死地に入るものとは思はれない。

『もう、そろそろ魔睡が醒めるでせうね。七時か、今夜はこれで、お三方様はお目にかゝりません。』

列車發着表

◎大連方面行

行先	時刻
△大連行	前二時三十分
△奉天行	六時二十分
△釜山行	八時十分
△奉天行	八時卅五分
△大連行	九時三十分
△營口行	十時三十分
△四平街行	十一時卅分
△奉天行	後一時五分
△大連行	一時四十分
△大連行	二時三十分
△大連行	三時廿五分
△四平街行	四時五十分
△釜山行	六時五十分
△四平街行	七時四十分
△大連行	九時四十五分
△大連行	十一時五十五分
△奉天行	十一時卅分

◎哈爾濱方面行

行先	時刻
△三棵樹行	前三時四十二分
△窰門行	五時五十五分
△三棵樹行	六時三十分
△三棵樹行	八時十五分
△三棵樹行	九時
△三棵樹行	後十二時五十分
△三棵樹行	三時十五分
△哈爾濱行	五時三十分
△窰門行	七時三十分
△三棵樹行	十時五十分
△三棵樹行	十二時五十分

◎圖們方面行

行先	時刻
△吉林行	前七時十五分
△羅津行	八時四十分
△圖們行	十時四十分
△吉林行	後一時五十五分
△敦化行	三時卅五分
△吉林行	九時十分
△清津行	十時五分

◎白城子方面行

行先	時刻
△白城子行	前八時廿五分
△白城子行	十時五十五分
△前郭旗行	後五時三十分

◎大連方面より

發地	時刻
△大連發	前三時卅二分
△大連發	六時十八分
△奉天發	七時廿七分
△大連發	八時
△四平街發	八時四十六分
△四平街發	九時卅九分
△四平街發	十時三十分
△釜山發	十二時四十二分
△奉天發	後十二時三十分
△大連發	三時
△大連發	四時二十分
△大連發	五時二十分
△營口發	六時四十八分
△大連發	八時十五分
△奉天發	九時十六分
△釜山發	九時卅五分
△奉天發	十一時卅分

◎哈爾濱方面より

發地	時刻
△窰門發	前零時十五分
△濱江發	二時二十分
△三棵樹發	六時五十二分
△窰門發	十時五十七分
△三棵樹發	後十二時卅八分
△哈爾濱發	一時三十分
△三棵樹發	三時十分
△濱北發	六時卅九分
△濱江發	八時十六分
△三棵樹發	九時二十分
△濱江發	十時四十五分

◎圖們方面より

發地	時刻
△清津發	前八時
△吉林發	十二時五十分
△敦化發	後二時十五分
△吉林發	四時四十分
△圖們發	七時三十分
△羅津發	九時廿五分
△吉林發	十二時十五分

◎白城子方面より

發地	時刻
△前郭旗發	十二時一分
△白城子發	六時卅二分
△白城子發	九時五分

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊 一月二十一日

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓五拾錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二〇五 營業局專用(3)三二〇〇
發行人 十河榮 編輯人 松本忠勇 印刷人 水越內之介

第七十四議會再開

先づ首相、外相 事變處理方針闡明

陸、海兩相から詳細な戰況報告

【東京國通】第七十四帝國議會は今廿一日再開され、休會中に編成替へされた平沼內閣の新陣容下に東亞新秩序建設の諸政策を具現すべく本格的な審議論戰の舞臺が展開された、午前十時開會された貴族院では劈頭平沼首相の一般施政方針演說あり、事變處理に對する新內閣の方針と決意を闡明し、續いて有田外相から事變を續る列國情勢を中心に外交演說を試み、さらに板垣、米內陸海兩相から詳細なる戰況報告を行つた

首相一般施政方針演說

【東京國通】貴族院における平沼首相の一般施政方針演說左の通り□事變勃發以來一年有半にわたり支那の各地に轉戰し幾多の勞苦艱難を克服し輝く連勝を收めたる皇軍出征將兵に對しては深く感謝を致すとゝもに異境の土に骨を埋められた英靈に對しては衷心より哀悼の意を表し、その遺志を成し遂げたいと存ずる次第である畏くも天皇陛下には昨年十月三日軍人援護に關する優渥なる勅語を下し給ひ、且つ巨額の御內帑金を下賜あらせられ皇恩の廣大なることは恐懼感激に堪へぬ次第である、政府は聖旨を奉體し恩賜財團軍人援護會を創立せしめ政府の施設と相俟つて軍人援護事業の完璧を圖り出征將兵をして後顧の憂ひなからしめんことを期してゐる次第である、支那事變に對しては曩に畏くも聖斷を仰ぎ奉り確乎不動の方針に基き飽くまで所期の目的達成に邁進致す所存である、申すまでもなく日滿支三國が相互に充分なる理解の上に立つて相提携して政治に經濟に將又文化に互助連環友好善隣の實を擧げ、これをもつて東亞興隆の基となすことはわが國肇國精神を顯現する道であり不動の國是であつて、玆に東亞永遠の平和は確立され、又もつて世界の進運に貢獻する所以でもある、東亞安定の實に任ずべき日本滿洲支那の三ヶ國は須らく速かにこの公正なる目標に向つて協同し、舊套を脫して新しき秩序に赴くのでなければ永遠の安定は遂に望むべくもなきこと自明の理である、畏くも明治天皇は「舊來ノ陋習ヲ破リ天地ノ公道ニ基クヘシ」と仰せられたが私はこれこそわが國の政治の基礎でなければならぬと信ずるものである、思ふに天地の公道は卽ち萬物をしてその處を得しめることに歸着するもので政治の要諦も玆にあると考へる次第である、この御精神の及ぶところは國內政治たると國際關係たるとを問はないのであつて東亞の新秩序建設もまたこの根本精神を基礎としその上に工作が進められねばならぬと信ずる、支那側におきましてもよくこの帝國の大精神を諒解し聊かの疑惧も何等の誤解も持つことなく速かにこれに協力するのでなければ東亞の新秩序建設は成らぬのであつて、若しあく迄これを理解することなく抗日を繼續するものに對しては斷乎としてこれを潰滅することあるのみである、しかしながら支那における具眼の士にして克く帝國の國策遂行に協力し、更生新支那建設の礎石とならんと欲するものに對しては帝國は快よくこれを援けて支那民衆を塗炭の苦より救ひ古き偏見と拘泥とより脫せしめて東亞新秩序建設の歷史的事業に迎へ入るべきで、今や支那にはかねて臨時政府、維新政府、蒙疆政府の當局者が實踐致せる大道に目醒むるもの相次ぎ更生建設に向はんとする機運が漸く支那全土に漲りつゝありますことは洵に東亞の安定のために慶ぶべきことで正義に立脚する帝國々是遂行の成果であると思ふ、今日の如く共產主義が支那大陸に瀰蔓し遂にその政權をも支配せんとするものあるに對しては眞實の道を實行する上に何としてもこれを排除せねばならない、盟邦獨伊兩國が今次事變の當初より一貫してわが國に全幅の支持を與へ來りましたることには深く感謝すると共に帝國と防共協定により結ばるゝこれ等兩國との關係が日を逐ふて緊密を加へつゝあることは洵に御同慶に堪へない、また滿洲國の著しき發展は興亞のため寔に賴もしき事でありまして日滿不可分の諸方策は益々强化せらるべきであると信ずる、しかして他の第三國との關係につきましても帝國は徒らにこれを經濟的に或は文化的に排除する考へではなくこれ等が帝國の眞意を理解し東亞の新秩序建設に協力することを望むものである、今次事變の終局の目的は單なる武力的勝利にあるのではなく支那の更生とこれに伴ふ日滿支三國の互助提携の上に新らしき東亞の秩序體制が確立されることにあるので、この目的が達成せられざる限り事變は終結せぬのである、しかしてわれ/\は祖先より受繼ぎました傳統的な國民精神の高揚と國家總力の發揮とにより東亞新秩序建設の大事業の完成を圖らねばならない、さらに國家總力就中國防力の急速なる擴充、卽ち强力なる軍備及び日滿支を通ずる經濟力の充實發展を速かに具現することがわが國當面の最も重要なる目標で、擧國一致以上の決意をもつて生產力の擴充、貿易の振興、資金物資及び勞務の調整、物價の規整などにつき何れも今後一層の研究と努力を重ねこれが實現を期するつもりである、また東亞の新情勢に卽應し遞信交通通信の全般にわたりこれが擴充强化をはかることも喫緊の要務なりと認めこれが施策を進めてゐる次第である、以上の見地に立ち今後はさらに國家總動員體制を强化し國家總動員法中所要の條項を逐次これを發動すると共に、國內諸般の改新をはかり以て萬民輔翼の精神に基き國家の總力を國策の向ふところに集中發揮致すことは緊要で、この上とも朝野協力の成果に期待すべきもの極めて多きを感ずる次第である

不動の外交方針(外相演說)

【東京國通】有田外相の再開議會における外交演說左の如し□時あだかも支那事變をめぐりわが國際關係がいよ/\複雜多岐とならうとしまする時に當りまして、こゝにわが外交政策ならびに對外情勢の全般につきまして說明する機會を得ましたことは私の最も欣快とするところであります

帝國外交が國體の本義に立脚し帝國の道義的使命の達成をもつてその根幹となし、常に東亞諸民族と協力提携してその興隆を圖り、進んで世界の進運に貢獻せんとするものでありますることは今更申すまでもないところであります

對滿關係

かの滿洲國の成立しまするや五族協和、日滿兩帝國の融合發展をもつてその建國の理想とし、帝國政府は日滿善隣不可分の基礎に立ち同國が獨立國として健全なる發達をなすことに協力することを國策となし來つたのでありますが、兩國の斯の如き理想に基く協力提携につきましてもこれをもつて或は領土的野心の擬裝的陰謀なりとし、或は列國權益の潰滅排擊を策するものなりとして論難を加へるものも尠くなかつたことは御承知の通りであります

しかるに建國僅かに六年後の實績を見まするに國內の制度秩序は着々として確立せられ各種資源の開發は著しく促進せられ三千萬民衆はその業に安んじ國礎は益々鞏固を加へこれを承認した國も既に七ヶ國に及んでゐるのであります滿洲國內における治安の確立產業の勃興につれ兩國の享受する利益は著しく增進を見つゝあるのでありまして、滿洲國の對英及び對米貿易の如きも事變前に比較して顯著なる增加を示してゐるのであります、これ偏へに滿洲國朝野一致の努力によるは勿論帝國がその道義的使命に卽し一意同國の健全なる發達に寄與協力したる結果に外ならないのであります

東亞新秩序建設に就て

今次事變に對しても帝國政府の根本方針と決意とは客年十一月三日の聲明により中外に闡明せられたる通りでありまして日本の希求する所は東亞永遠の安寧を確保すべき新たなる秩序を建設するにあるのであります

この新たなる秩序の建設とは日滿支三國が各自の獨立を維持しその個性を充分に生かしつゝ相携へて政治、經濟、文化の各般に亘り積極的互助連環の關係を樹立し以て道義的基礎に立つ新東亞を建設せんとすることに外ならないのでありまして帝國政府はかゝる新たなる秩序の建設こそ日滿支三國の存立、發展上絕對必要であるばかりでなく又世界の眞の安寧平和に資するものであるとの固き信念を有してゐるのであります

更に同十二月廿二日帝國政府は支那における同憂具眼の士と相携へ東亞新秩序建設を共同目的として結合し相互に善隣友好、共同防共經濟提携の實を擧げんとするものなる趣旨を聲明致しますと共に帝國の支那に求むる所のものが區々たる領土に非ず又戰費賠償に非ずして帝國は支那の主權を尊重するは固より、進んで支那獨立完成のために必要とする治外法權の撤廢、租界の返還に關して積極的なる考慮を拂ふに吝かならざるものなることを表明致しましたがこれ皆均しく帝國の道義に發足する國策を闡明したものであります

最近一部方面に於きまして帝國政府屢次の說明にも拘らず帝國が愈々支那の門戶を閉鎖するが如き誤解を抱いてゐる向のありますのは誠に遺憾に堪へざる次第であります、もとより日滿支三國の互助連環により新たなる東亞の建設に乘出しまする以上、三國の國防及び經濟的自主達成に重大なる影響を及ぼすべき分野に於きましては或程度の制限乃至施設を行ふの要あることは當然でありますが右は自から前述の目的に必要なる限度に限らるゝ次第でありましてかゝる措置は畢竟東亞が內を治め世界經濟の一環として進んでその發展に寄與せんとするものに外ならないのであります、從つて右措置以外の廣大なる範圍におきましては第三國の經濟的權益、第三國の平和的通商企業等は毫も影響を受くることなきのみならず寧ろ進んでその參加をも歡迎せらるゝ次第でありますが故に全體として第三國の經濟的活動は益々隆盛活潑となることゝ信ずるのであります

帝國政府は通商上の各種障碍を除去し世界各國間の經濟的協力を促進することが世界人類の繁榮と幸福とを齎す所以なりと信じまして從來これがため努力を續けて來たのでありまして今後もこの方針に變りはないのであります

前に述べました如く日滿支互助連環の關係におきまして日滿支第三國の經濟的活動の制限を國防及び經濟的自主達成に必要なる最少限度に止めんと致しまするのも畢竟右の方針に基くものであります、私は關係列國が帝國の眞意を認識し、東亞の新たなる秩序の建設に積極的協力を惜まざるべきことを切望し、且期待するものであります

なほ今次事變に際しまして在支第三國人の個々の權益にして損害を受け或はその自由往來を制限せらるゝが如き事態が發生致しましたのは遺憾とありますが、これ等は軍事行動の必要に出でた萬已むを得ない出來事でありまして、關係國においても事情を諒とし居るものと信ずるのであります、これ等の點については帝國政府としても亦細心の注意を怠らないのでありまして既に懸案となれる諸案件に關しましては事情の許すものより逐次解決するの方針をとり、現在までに圓滿解決の運びとなつた案件も少くないのであります

佛領印度支那その他を通じて蔣政權側に齎さるゝ武器輸送の情報に關しましては累次關係國の注意を喚起し來つた次第でありますが、必要なる場合には帝國として適當なる措置をとる所存であります、今や廣東陷落、武漢三鎭の攻略によつて支那事變はこゝに新たなる段階に入り、一面においては抗日政權潰滅の手を緩めざるとゝもに他面積極的に建設に鋭意すべきことゝなつたのであります

惟ふに蔣政權は今なほ所謂長期抗戰を標傍してをりますが既に僻陬に逃避し純然たる一地方的存在と化してしまひましたるに反し皇軍占據地域におきましては反共親日の氣運が勃然として起りつゝあるのでありまして臨時、維新及び蒙疆各政府も各々堅實なる發展を遂げ着々民心を收めてゐるのであります

更に昨年秋には臨時、維新兩政府のために連絡委員會の組織をも見、漢口、廣東方面にも地方政權樹立の機運を見つゝある狀態でありまして帝國政府としては新中央政府が速かに成立し、わが方と協力して事變の收拾を圖るに至らんことを期待してゐる次第であります、なほ最近所謂和平派首領の脫出事件等が起りましたが帝國政府としてはその成行きにつき注意を拂つて居るのであります

防共關係

帝國はさきに共產インターナショナルの破壞的活動に對抗するため日獨防共協定を締結し後更にイタリー國の加盟を見たのでありますがこの共產インターナショナルの活動たるや隱顯出沒誠に端倪すべからざるものがあるのでありまして、ヨーロッパに於てもアジアに於ても平和秩序の多少なりとも亂されたるが如き事件の背後には必ずや彼等の活動の存することを發見するのであります

かの勃發以來すでに二、三年に亘らんとするスペイン內亂の如きはその最も顯著なる例でありますが彼等の常套手段は局部的問題を導火線として一般戰爭を誘起しもつて世界赤化を圖らんとするにあるのであつて洵に彼等こそ秩序破壞平和攪亂の元兇といふべきであります、東亞におきましても今次事變以前より彼等はすでに國民政府に働きかけ蔣をして抗日侮日の政策をとらしめてをつたのでありますが事變勃發後は急速にその魔手を伸ばし遂に國民政府の軍事および政治の中樞に割込み軍政兩面に對する指導的地位を獲得しつゝあるのであります、しかして所謂長期抗戰遊擊戰術なるものは元來共產黨の獻策に基くものでありまして畢竟支那大衆の犧牲において出來る限り事變の解決を遲延せしめもつて支那延いては世界の赤化を招來せんとする陰謀のほかならないのであります

幸ひにして日獨伊防共協定の威力は共產インターナショナルの破壞をヨーロッパにおけるが如く亞細亞においてもこれを喰止め得てゐるのでありますが、吾人は過去の經驗に省みこの協定を將來において一層擴大强化することが世界平和の保障を一層强からしむる所以であると信じてゐるのであります、最近滿洲國及びハンガリー國が本協定に參加の決意を表明致しましたことは防共陣營の擴大として慶賀するところであります

對ソ關係

對ソ關係につきましては張鼓峰事件に際し非常に緊迫せる關係に置かれたのでありましたが、日本側の適切なる措置によつて大事に至らずして濟んだのであります、北樺太におけるわが石油、石炭に對する利益の不法壓迫は依然としてやまず、その行使をして愈々困難ならしむる狀態に陷れてゐるのであります、また漁業問題に就きましてはさきに案文の妥結を見ましたる條約の成立につき引續き凡有る努力を拂ひましたるに拘らずソ聯邦側においては條約と關聯なき問題までも提起致しましたるため交涉は今もつて纏るに至らないのであります

一方暫定取極めも客年末をもつて期限滿了となりますので同取極めの更新方の商議に移りましたが、これについてもソ聯邦側は幾多の無理な條件を提起して讓らなかつたゝめ年內に妥結を見ずよつてソ聯邦に對し漁業の現狀に變化を來すが如き措置をとらざるやう申入れ越年交涉を繼續することゝした次第であります、政府としてはソ聯側が誠意をもつて本交涉に當り結局取極め成立に至るべきことを期待するものでありますが、わが正當なる既得の權益擁護のためにはもとより適宜の措置を講ずる覺悟であります

帝國不動の外交大方針

惟ふに世界の恒久和平なるものは人類親善の道義的基礎に立脚し公正なる均衡を基調として、始めて築き得らるるものでありまして、今日國際間不安動搖の原因はもとより複雜なるものがありますが要するに事實上不公正なる現狀をそのまゝ維持せんことに努める功利的精神により新興勢力の發展向上を阻害せんとすることがその重大原因たることは爭ふべからざる所であります

帝國の企圖する東亞新秩序の建設こそ、道義を根幹とし國際正義に叶ふものでありまして列國との關係を眞に健全なる基礎の上に益々親善ならしめ、眞の世界平和を招來する所以であると信ずるのであります、なほこれに對しては今なほ誤解を抱いて釋然たらざるものがあるのでありますが、この國策の遂行に當りましては國民一般正を履んで惧れざるの覺悟を必要とするのであります

毅然たる外交方針 全幅的贊意表す

滿洲國衷心支援を惜まず

滿洲國政府は休會明け議會劈頭に於る有田外相の外交演說に對し全幅的の贊意を表し、就中東亞新秩序の建設に關する日本の態度はさきの近衞聲明を敷衍したものであるが、これによつて更に一層具體的に把握されるに至つたとなし又コミンテルンを以て平和攪亂の元兇と斷じて協定の强化を示唆した點を歡迎し左の如き見解を表明した

有田外相はその演說中に特に英米外交に觸れず支那事變處理の對第三國策に於て日本の態度を說明したことは誠は賢明なやり方で詳細且懇切を極めた說明は必ずや關係諸國の啓蒙に資するものと思ふ、然し日滿支三國の互助連環の關係を目指す興亞外交の大方針に至つては滿洲國の衷心歡迎するところで從來の觀念乃至は原則を固執して新事態の勃興發展に對し殊更に盲目的ならんとするが如きは世界の公正なる均衡と恒久平和の招來を求めざるものであり具眼者の執らざるところであらう、何れにしても今回の外相演說は滿洲國の双手を擧げて支持を惜まざるものであり、混濁せる國際現情に對處する日本の毅然たる態度を宣明したものとして有意義なものである

聯盟理事會

骨拔き對蔣援助決議を採擇

【ジュネーヴ廿日發國通】聯盟理事會は廿日午前公開會議を開催、支那の提訴に基き對蔣援助決議を採擇した、決議は既往の聯盟總會並に理事會決議を回顧したのち聯盟國殊に極東に直接關係のある聯盟國が同樣利害關係ある他の諸國と共に去る十七日支那代表の陳述でなされた對蔣援助に關する諸提示を適當な場合商議檢討するやう要請するといふにあつて顧維鈞支那代表必死の努力に拘らず僅かに相互商議の途を拓いて支那の面目を立てたゞけでお茶を濁した

三多電々副總裁

電々三多副總裁は華北電信電話會社株主總會出席の爲文秘書隨行二十七日新京發北京に向ふ、尚北京、天津電政視察の上歸京は二月九日頃の豫定

人事往來

着京

▲兩見正雄氏(官吏)二十日來京ヤマトホテル ▲朝倉恒好氏(同)滿蒙ホテル ▲古知晃氏(會社員)同 ▲今井綱紀氏(官吏)同 ▲岩崎淸志氏(滿業)同 ▲横田和三郎氏(官吏)同 ▲佐々木顯亮氏(三菱社員)國都ホテル ▲金子順治氏(會社員)同 ▲中島俊雄氏(奉天郵政管理局長)同 ▲深田盛次氏(會社員)同 ▲加藤源三郎氏(鑛工業)同 ▲島田運一氏(商業)同 ▲原聖藏氏(同)同 ▲中村明氏(同)同 ▲酒井一雄氏(滿藏社員)大都ホテル ▲藤野忠滿氏(醫師)同 ▲久保田良平氏(日滿商事)同 ▲中村直三郎氏(東滿洲產業社長)同 ▲松尾英市氏(會社員)同 ▲神谷新一氏(同)同 ▲大河原厚口氏(映畫業)同 ▲田代仙藏氏(日本赤十字社主事)三國ホテル ▲岩崎茂十氏(會社員)同 ▲片木益太郎氏(商業)同 ▲窪士淸氏(昭和製鋼)同 ▲中村福造氏(建築材商)同 ▲金花義眉氏(土木業)同 ▲三浦正義氏(會社員)ニューアジアホテル ▲角田一郎氏(同)同 ▲山內豐太郎氏(同)同 ▲堀池信廣氏(商業)同 ▲今林政太郎氏(商業)蓬萊ホテル ▲横柳道海氏(官吏)同 ▲關口經鋼氏(同)同 ▲小久保秀雄氏(商業)同 ▲佐藤五百氏(新京憲兵隊長)帝都ホテル ▲石川秀一氏(奉天稅關)同 ▲甲田一誠氏(同)同 ▲櫻井九二男氏(同)同 ▲杉田久吉氏(河合電氣)同 ▲深浦灌氏(滿炭社員)同

出發

▲高田友吉氏二十日奉天へ ▲神田正雄氏同 ▲上田正喜氏大連へ ▲宮內寅男氏ハイラルへ ▲小島劍一氏安東へ ▲岩田文男氏哈市へ ▲早坂不二雄氏同 ▲小林豐次氏同 ▲上田研介氏西安へ ▲北川祐造氏奉天へ ▲甘利芳夫氏同 ▲何井田義臣氏同 ▲後藤茂氏安東へ ▲隅政次氏奉天へ ▲木村要氏大連へ ▲日間柄作氏奉天へ ▲川村淸氏同 ▲增井德次郎氏哈市へ ▲臼井新氏奉天へ ▲永田潔氏通化へ ▲平光六郎氏大連へ ▲行田一淸氏同 ▲今村知光氏吉林へ ▲上杉恒榮氏奉天へ ▲佐田政治氏哈市へ ▲金谷勇氏同 ▲去田基隆氏奉天へ ▲櫻井三郎氏哈市へ ▲有野利雄氏奉天へ ▲川村五郎氏同 ▲山元新九郎氏同

その日〳〵

戰時下の議會再開され、こゝに國民の眞の總力一致を見よう
□
外相まづ滿洲國の榮えを說いた、事實をまことに列國よ見よ
□
東亞新秩序の建設へ、その命題や大きく、その意義はまた深い
□
斷乎抗日政權の打倒へ、共產主義者暗躍の覆滅へ、道義の劍は高鳴る
□
正しきを履んでおそるゝなし、堅き決意ゝ燃ゆる情熱にわが協同體は前進する

お話にならぬ今年の寒波

けふ大寒の入り 零下二十八度二

今冬に入り卅度以下が四回 まだ卅度以下に下りそう

今日二十一日は大寒入り、一年二十四節の第二番目に當つて、暦の上ではこれから立春までの十四日間が、一年中で最も寒い時とされてゐるが、さて實際の氣溫は！……昨年の今日の最低氣溫は零下二十五度一分、最高氣溫が十七度三分で、今年と比較すると今日の最低は零下二八度二分で昨年より三度一分低い寒さである、最高氣溫はまだ分らないが、何にしても今年は昨年に比べてずつと寒く、零下三十度を突破した日時だけ擧げても一月五日の三十三度七分（これは本年多季最低記錄）八日の三十二度六分、十一日の三三度四分、十六日の三一度一分と殺人的寒波が相續いてゐる。昨年多季の最低溫度は康德四年十二月二十八日の零下三十一度一分で年を明けてから三十度を超えた寒さがないと言ふのであるから、今年の寒さの程度が知れよう、〝まだ寒くなるんですか〟と中央觀象台の天氣の小父さんにお伺ひを立てると

暦の上では大寒ですが、實際は五日の記錄を突破する樣な寒波が襲ふかどうか、今のところ分りません、何にしても今年は餘程寒いのですから三十度を超える寒さはまだ二、三回は來るでせう

と語つた

けふ大寒の入り

學童の勇ましい寒稽古

時局を克服する勇ましい寒稽古が未だ明けやらぬ冬の朝市內各所武道場の武者窓からエイヤーの掛み聲が勇ましくこだまして銃後國民の意氣を示す、廿一日の大寒八島小學校に於ても先生方が指南番で可愛い少年少女劍士が竹刀、薙刀を手に〳〵早朝から寒稽古の集ひが行はれ武道日本を高らかに謳歌した

【寫眞は八島小學校の寒稽古】

なるものはつぎの通り

思想匪金光、同金得範、同崔賢、土匪双勝、同占中央同土山好、同老好

滿鐵記念品蒐集

滿鐵では社員の榮光を永久に讃へるためかねてより記念室の完成計畫中であつたが、普く社員の記念品を蒐集することになつた

度量衡の認識をレコードで普及

桃千代姐さん吹き込み終る

本年三月一日を期して全滿一齊に實施される度量衡制度の徹底を圖るべく經濟部權度檢定所、市公署はじめ關係各機關協力の下に、來る廿五日より一週間に亘つて宣傳週間を催す事は既報の通りだが、權定所では右期間中寶山百貨店度量衡展覽會々場で演奏する宣傳レコードの吹込みを廿日午後一時より新京中央放送局技術室で行つた、先づ權定所庶務科長稻次義一氏の度量衡に關する解說吹込みの後、市內梅ヶ枝町桃園の桃千代姐さんが笑太郞さんの絲で

正しく量れば
たがひの爲よ！
そして節約、國のため

その外度量衡に關する都々逸五曲及び「あゝそれなのに」の替唄を吹込み午後四時終つたが、權定所ではこのレコードを通じて一般市民が唄の文句を口ずさんでゐる裡に、自然度量衡に關する認識を深めると云ふ寸法である

紀元節の佳日

關東軍で軍刀術、銃劍術大會

關東軍司令部では二月十一日紀元節の佳日をトし午前十時より寒稽古納會を兼ね司令部講堂に在京各部隊並に各官廳會社の代表選手一名宛を集め軍刀術、銃劍術大會を開催する

女給逃走

大連市榮町若菜アサノ方女給東京市生れ高子こと高岡妙子（二七）は客年十一月上旬來連、女給稼業中のところ舊臘卅日午後四時錢湯に行くと稱し內緣の夫桐木清（二六）と共謀、負債二百圓餘を踏み倒し逃走姿を晦したが、最近新京にゐる形跡があるので首都警察廳へ二十一日搜査願出た

寢てる間に盜難

新京特別市梅ヶ枝町二ノ二、大本六二ざん方へ二十一日の午前二時から四時までの間に賊が侵入、毛皮オーバー二着協和服・時計、金鎖等價額約千圓のものを竊取され中央通署へ屆出た

吉林省內匪賊

一時數萬と稱された吉林省內の匪賊も日滿軍警の協力により治安工作着々效を奏し、今はたゞわづかに樺甸縣境附近に蟠居するのみとなり、王道の光は普く照らされるに至つたが、今なほ跳梁する匪首の主

圖書館から覗いた國都人の讀書層

〝大地〟〝若い人〟等小說物が一番

圖書館の利用者數の多少はその都市の文化の水準を物語るものとして注目されてゐるが國都新京の文化水準はどの程度にあるか？これを市立圖書館昨年度利用書籍數について調べてみると、館內閱覽、館外持出しを加へて總數五九、四二一冊で國都人口を約四十萬とすると六人に一冊の利用と言ふことになつてゐる、そのうち館內閱覽書籍は五二、七七六冊、館外持ち出し閱覽が六、六四八冊で合して一日平均一九二冊である、利用者の總數は二七、四九二人で一日平均八九人の入場であるがこれを性別、年齡別、民族別に見ると、成人男子が二、五七六四名、女子が一、二二二名、兒童男三四四名、女一七二名、民族別では何と言つても內地人がトップを占めて一、五八四名、次が半島人の三六八名その次が滿支人の八四名其他一〇名となつてゐる、職業別に十二月中の利用者をみると合計九、二九一名中トップは學生生徒の六四八名、無職三二九名、銀行會社員二七〇名官吏軍人一五七名、商工業者一〇九名、雜業一〇七名、敎育者、醫者、新聞記者等の自由業者六二名、婦人四八名、兒童三七名となつてゐる、讀書の傾向についてみると十二月中に讀まれた冊數四、三九八冊中、トップは文學類の五九四、歷史、傳記、地史がそれに次いで三九四、滿蒙に關するもの二一四、哲學、宗敎に關するもの一五六、政治經濟、法律植民、統計等に關するもの一四九、產業關係一四三、數學、理學、經理に關するもの一三七、工學軍事に關するもの一二三、美術、藝術映畫等に關するもの九八、隨筆時事、年鑑等八〇、社會風俗、家事等五一、兒童もの三九である、この統計から立證されるやうに讀書の傾向は一番多いのが小說類でそのうち昨年中一番讀まれたものは『大地』『若い人』『生活の探究』『薔薇合戰』等で『大地』『生活の探究』が主としてインテリ職業婦人に讀まれ『若い人』が女學生、『バラ合戰』が若い婦人に讀まれてゐるのも

△興味　ある現象と言へよう、會社、官廳の調查資料、戰時經濟關係のものがその次に多く讀まれてゐるのは、政治的首都新京のことであり當然であるが文官令の公布以來、官吏の給與試驗制度が引つ張り凧となつて圖書館で慌てゝ注文するなど皮肉な現象を見せてゐる

書初め展

新京敎育會主催新京中、小學校生徒兒童の書初展覽會は二十一日より三中井百貨店五階ギャラリーで開幕した、出品は生徒兒童の心血をそゝいだ作品のうちから各學校で更に審査を行ひ合格した傑作だけに大人も及ばぬ名筆に參觀者を感嘆せしめてゐる

鶯諷會謠曲大會

謠曲梅若流の新京鶯諷會では二十二日（日曜）午前十時から白菊町滿鐵白菊會館で〻職捷祝賀謠曲大會を開催するが一般の來場を歡迎されてゐるプログラムは左の通りである

1竹生島、2田村、3熊野4斑女、5藤戶、6葵の上7草紙洗、8俊寬、9船辨慶、10小袖曾我、11通小町12土蜘、番外、隅田川、香取操、梅田富三郞、香取政夫、朝香四郞、仕舞、春榮（中村節子）鶴龜（齋藤マリ子）花月（松島巴滿子）淸經菊慈童（齋藤マチ子）笠之段（香取政夫）（梅田富三郞）獨鼓、八島（香取操）

京タクの監査役妻子二名殺さる

今朝十一時ごろ蘭花莊の慘劇

二十一日午前十一時ごろ市內興亞胡同一〇二蘭花莊二階居住京タク監査役城正直氏方から異樣のうなり聲が聞えるのをアパート居住者が聞きつけ內部を窺ふと、妻女キミ子（三〇）が手斧やうのもので二十數ヶ所の傷をうけ苦悶をつゞけ長男正男（六ツ）次男（四ツ）の二名が朱に染つて即死し居るを發見直ちに警察に急報すると共に虫の息の妻女を興安病院にかつぎ込んだが生命危篤である、當局は直ちに現場檢證を行ふ一方全市に非常線を張り右殺人犯人を嚴探中である、果して物とりの仕業か、怨恨を抱くものゝ仕業か目下のところ不明である

接續農村地區に農家組合結成

生產販賣の合理化と經濟向上

市公署では管內の農村地區農民に對してこれを團結せしめ生產販賣を合理化し以て農村經濟の向上を圖らうとの見地からかねて行政科に於て農家組合の結成につき研究中であつたが、この程具體案なり二十日午後一時より市公署會議室に於て市側並に地區農村代表者（雙德區、淨月區、寬城區、南河東區、北河東區、大屯區、合隆區、東張區）八名が參集區長會議を開催、農村組合結成を中心に隔意なく協議の結果愈よ組合結成に着手することゝなつたがこれが結成は農村改良に第一步を乘り出すもので農家への福音として頗る期待されてゐる、尙本組合の組織は屯農家組合の上に地區農家組合が置かれるもので〻屯〻は區農組合長の監督の下に〻區〻は特別市長これを監督することゝなつてゐる、尙同組合の事業要目は左の如くである

1、蔬菜栽培其の他農業技術の改良
2、有畜農業の獎勵
3、耕地の擴張及び土地の集約的利用
4、勞力の合理的利用及び共同化
5、農業生產費その他經營費の輕減
6、副業の獎勵
7、農業經營品並に生活品の自給範圍の擴充
8、農業簿記勵行に依る計劃的農業經營並に合理的農家經濟の實行
9、農家生活の改善並に農村社會施設の開發
10、必需品の共同購入
11、共同利用施設の設置
12、共同備荒貯蓄並に共同貯金
13、品評會、講話會、講習會の開催

奉天に强盜出沒

廿日午後九時十五分頃小北門小十字街滿人質屋永義堂方に滿人强盜押し入り拳銃をつきつけ店員を脅迫、現金二百七十圓と時價三百圓の金品を强奪逃走、また廿日午後七時頃朝鮮人金吉春が洋車で皇姑屯を進行中二人組の滿人强盜が刀と棒をもつて脅迫所持金六十圓を强奪した、舊年末を控へて盛んに出沒する强盜に警察廳ではこれが一網打盡に躍起となり犯人嚴探中である

平島滿鐵支社長

滿鐵新京支社長平島敏夫氏は北滿林區視察かた〴〵二十三日午後五時三十分發列車で出發月末歸任の豫定

滿映の三氏歸京

文化映畫及び滿映の姉妹會社として北支映畫會社設立問題打合せの爲め東上中であつた三上滿映總務課長、牧野製作部次長及び鈴木文化映畫部長等は廿日午後八時十五分新京着ほとで歸京した

大相撲十一日目

【東京國通】大相撲十一日目取組

富ノ山（大八洲）千葉昇
矢筈山（國光）加古川
陸奥錦（相模川）若潮
佐渡島（若浪）十三錦
小松山（松ノ里）錦谷
嶺（清美川）四海波
松浦潟（白鷺）倭岩
櫻錦（陸奥）照國
源氏山（綾錦）
番神山（佐賀ノ花）

中入後

一渡（出羽花）神武山
鶴ヶ嶺（土州山）高登
綾若（藤ノ里）和歌島
富士嶽（鯱ノ里）桂川
肥州山（靑葉山）五ツ島
大浪（大和錦）金湊
龍王山（楯甲）兩國
小島川（駒ノ里）巴潟
幡瀨川（鹿島洋）大邱山
安藝海（大潮）旭川
笠置山（出羽湊）磐石
海光山（玉ノ海）鏡岩
前田山（男女川）双葉山
名寄岩（羽黑山）綾昇

西村茂氏殉職

滿鐵新京電氣區勤務西村茂氏は二十日殉職、二十一日午後一時から祝町西本願寺で告別式が執行された

夷石隆壽氏母堂

滿鐵新京支社業務課第二係主任夷石隆壽氏母堂は二十一日大連霧島町の自宅で死去した

日の出を拜する集ひ

あす（二十二日）日曜日新京の日の出時刻八時六分兒玉公園誠忠碑前で市民早起會右終つて忠靈塔參拜

日本基督敎會

一、日曜學校　午前九時半
一、聖書學校　〃九時半分
一、朝の禮拜　〃十時半
說敎「キリストに依る平和」　石川牧師
一、夕拜　午後七時半
說敎「いざや書の神觀」　石川牧師

組合敎會

一月廿二日（日）午前九時半日曜學校
同　十時四十五分　禮拜說敎「追ひ求むる心」　高橋牧師

メソヂスト敎會

老松町普通學校正門前會堂
一、日曜學校　午前九時半
一、日曜禮拜　〃十時半
說敎「光明は暗黑より」　山口牧師

あす（廿二日）

△蒙古實務學院第三回卒業式　於公會堂
△土木講習會最終日
△スキー大會　於淨月潭午前十時

今晩の主なる放送

▲七・三〇國民歌謠（大阪）鈴木富美子外▲七・四〇ラヂオヴアラエテイ（東京）杉狂兒外▲九・〇〇義太夫「傾城阿波鳴戶」（奉天）勝太郞外

映畫と演藝

先づ北京に 大陸の國策映畫會社

滿映が中心となつて設立準備中であつた新生支那における國策映畫會社は當初のプランを變更、北京と上海に別個に設立することになり、先づ北京の方が近く設立される運びに到つた、資本金は百萬圓で臨時政府が二分の一、滿映、日本政府がそれ〲四分の一宛を出資、主として映畫配給を行ひ製作は簡單な文化映畫のみを着手する、配給方法は外畫も邦畫も滿映を通じて行はれることに決定した、上海の方は映畫製作を主とするものであるが、この方の設立は稍々遅れて八月頃に設立の豫定である

台灣に 映畫會社出現

豫てより期待されてゐた臺灣に於る最初の映畫製作會社たる大成映畫公司は、此程日活との提携成り、愈々十五日、資本金十萬圓で大稻埕實業會長の謝火爐氏を代表者とし誕生した、同公司の處女作は阿Qの弟徐坤泉原作を張文環が和譯せる「可愛仇人」に決定し代表者及び原作者は相携へて近く上京、日活千葉監督と正式に契約を取結び、監督に同氏が當る筈である、先づ處女作として前記映畫を製作、漸次臺灣色を以て進む方針である

肅清の嵐 妖艶浮薄プロマイド發禁

警視廳では民衆娛樂について根本的に取締方針の建て直しを行ふべく協議を進めてゐたが、今度檢閲課が主となつて演劇、映畫關係のビラ、ポスター、プロマイド、スチールに對する檢閲方針を強化、目に叛くエロじみたものや、惡意と認められるナンセンス物に對しては斷乎たる處罰に出ることゝなつた

滿映だより

△山内組「富貴春夢」第一話撮影完了整理中「鐵血慧心」は目下市内ロケにより撮影中

△津田組「富貴春夢」第二話撮影完了整理中

△上野組「富貴春夢」第三、第四、第五話撮影完了整理中

△大谷組「寃魂復仇」は南新京スタヂオにてセツト撮影中

△立川組「光蒙騎」立川監督入營の爲上野監督が整理完成の任に當る事になつた

△水ヶ江組「國法無私」を完了した、次回作品は目下選定中

文化映畫部

△森組「氷上漁業」は第一回ロケ終了、近日再度嫩江大賚附近の現場に出發豫定

△森組「一俵寸」は目下撮影續行中

△鈴木組「北京のお正月」目下撮影準備中

△首藤組「滿洲空の旅」目下撮影中、近日撮影完了の見込

△滿映ニュース「第十五輯」目下撮影中

海外映畫短信

◇スタン・ローレルとの契約を解消したハル・ローチはオリヴア・ハーデイとハリー・ラングトンの新コンビを結成、第一回作品はウオルター・デリヨン脚色の「廻ぐる春」と決定した、これはユナイトを通じて配給する

◇ワーナーではオリヴイア・デ・ハヴイランド主演で西部開拓者の物語『ドッヂ市』を總天然色映畫で製作することになつた、デ・ハヴイランドの相手役は未定だがワーナーでは往年のドッヂ市全體のセットを作りこれを分解してテキサス州ブランスウイルに送り、其處に往年のドッヂ市を再現すると

◇ワーナーではレーン姉妹主演の「四人の娘」が非常に好評を博したので、更に續篇として「四人娘と四人息子」をマイケル・カテイズ監督が製作する事になつたが、ジョージ・ブレントが新たに共演者として參加出演する

◇メトロパート・シンクレア監督作品ルイズ・レイナー・ボーレット・ゴダード、ラナ・ターナー、ゲイル・サンダーガード共演の「演劇學校」は愈々完成した

◇ワーナーが英吉利から呼んで「進め龍騎兵」「ロビンフッドの冒險」で新二枚目として賣り出したパトリック・ノーラスはリパアリッツ映畫に借りられて「ベンガルの風」に主演する

仙人掌

新京會館の小澤マリ子さん、年改ると共に何を感じたか此度改名致しました、新名は曰く「常石啓代」啓代と書いてヒロヨと讀みます、近く豚マンヂウを知己に配つて改名披露をするさうです、但し通稱「權現さん」はその儘續けられるさうです▼宮津木洋子さん新年に年の數だけ餅を食つたと大威張りをしてゐたがあの身體で不思議だと思つてよく聞いてみたら、何のこつた、松の内七日間で食つたといふのだから……何、年の此は幾つかつて、そんなことナイショ〱▼歌手の香山みち子さん、近頃よくカルピスを飲んでゐますね、別にカルピス飲んで聲が良くなつたといふ事を聞かないが、さては初戀の味忘れられず甘ズツパイ想ひ出に浸つてゐるのか

雜音

東京紙報じて曰く「日滿兩國映畫界の提携は從來以上に密接なるべきを希望されてゐるが、かゝる時に當つて滿映が邦畫各社の優秀分子への誘ひの手を伸ばしてゐるのは、日本映畫界への攪亂であり、兩國映畫界の提携に重大な影響を與へるものである」▼こんな風に書かれ滿洲の嵐等と呼ばれると何だか偉くなつたやうな氣がして意氣揚々と歸京するテアヒが滿映にゐるのだから歎かはしくなる▼人材の整備、勿論必要である、しかし現在の滿映はそれ以上になさなければならないことを多く忘れてゐるのではなからうか

日曜 己未 友引 破 昴宿　舊十二月三日　一月廿二日　東京・本郷・神誠館

●一白の人 驕る平家は久しからず他に手を出して悔な 戌と壬と庚が吉
●二黒の人 己れの情を矯めて堪忍せざれば不利を取る 卯と午と壬が吉
●三碧の人 勇氣を振て進むべし失敗に心を勞する勿れ 巳と庚と卯が吉
●四綠の人 外患あれども内によき日堪忍第一の日なり 巳と戊と卯が吉
●五黄の人 此と云ふ苦はなくとも心重々しく感ずる日 卯と丙と壬が吉
●六白の人 運氣隆盛に達す油斷は大敵なりと注意せよ 申と丙と巳が吉
●七赤の人 外に向ひて十分に手腕を伸すに良き日なり 申と巳と丁か吉
●八白の人 妄動は不利を招き易し安息するが無事の日 卯と申と丙が吉
●九紫の人 幸運なる日にして求めぬ利得まで入込べし 戌と申と乾が吉

晝夜用心記

三村伸太郎・作
木下大雍・畫

（七〇）

にごり江（二）

埋堀の六兵衞親分のいつたことは、意外であつた。

『……がらにもねエ、娘なんかに肩を入れて、と言はれて、と胸を衝かれたかたちだつた。

舟次郎は、いさゝか、と胸を衝かれたかたちだつた。

『へえ、さうですか……そんな乙な話が、親分の耳に這入つてくるんですか……』

『べら棒め。深川から本所にかけて、俺の知らねエ話があつたら、お目にかゝらねエ……

……どこの河岸ッぷちには、ごみッため船が、何ん艘つい……何をしてやがるか、何處の寺の屋根には、鳥が何ン匹とまつて、どんな囀き聲を出すか、ぐらひのことは、ちやンと知つてるンだ……』

『恐れ入りました』

『恐れ入つたか……それ見ろ……』

『ヘッへえ……親分、つらい役目ですねエ』

『何……』

『つらいお役目……お察し申したり、恐れ入つたり……』

『かう、舟次郎……手前とい ふやつは、まだ知らばくれてるつもりか――』

埋堀の親分は、べつに、氣色ばんでゐるわけではなかつた。

かう言つて、にやりと笑つて、舟次郎の前に、ゆつくりと蹲ンだ……

秋晴れの、澄みきつた空に百舌の、するどい聲が、ひゞき渡る。

『あの、柳瀨さんといふ浪人者、どうも、傷がよくなりさうだの……』

『……』

『敵をたづねてゐる人だといふぢやねエか……今どき、珍しい……』

『……』

『ふん、これも、默ンまりか……それぢやア、も一つ言つてやらうか……雪江といふ、

あの妹御……それが、何處かに、身賣りをするといふやうな話を、ちらと聞いてるんだが――』

埋堀の六兵衞親分が、腰の莨入れをつまぐりながら、かう言つて、ちらと、舟次郎の顔を見たときだつた。

舟次郎は、埋堀の六兵衞親分の話よりも、何か、心にかゝることがあるのか、往來の方に、何氣ない風に、眼をやつた……

そのとき、往來を通りかゝつた人も、ちらと、舟次郎の方を見たやうだつた。

埋堀の六兵衞も、往來の方に、ふり向く。

それから、すばりと、けむりを吐きながら

『さうか、舟次郎……お前、あの男を、先刻から、こゝで待つてゐたのか――』

かう見透されては、舟次郎といへども、ぐうの音も出なかつた。

『親分……流石は、お前さんだ……濟みません……』

『それ見ろ、こんどは、恐れ入つたか……』

と、六兵衞は、にやりと笑つたが、舟次郎の顔は、眞面目だつた。

『あの、雪江といふ娘さんに惚れた、はれたの、そんなこぢやアございません……私の氣持としては、どうも氣が濟まないものですから……』

『舟公、そいつが、お前のいゝところでもあるが……またお前の馬鹿なところだ』

埋堀の親分、六兵衞は、何か、分るといふ風な顔つきでかう言つたが

『だが、舟公……この世の中は、手前の虫一本の氣持だけでは渡れねエ……無理をするな。いゝか、無理をするぜ――』

埋堀の六兵衞は、立ち上つて行く舟次郎の、後姿に、かう聲をかけた……。

商況欄（三日前場）

海外經濟電報

品目	相場
倫敦金塊	七磅八志七片〇〇〇
紐育金塊	三五弗〇〇
倫敦銀塊	二〇片一六分一
同先物	一九片四分三
紐育銀塊	四二仙四分三
孟買銀塊	五三留比一六分三

▲市俄古小麥

限月	相場
五月限	六九仙一二分一
七月限	六九仙一二分一
九月限	七〇仙一二分一

▲紐育棉花

限月	相場
現物	九仙一〇
一月限	七仙四四
三月限	八仙五〇
五月限	八仙二〇
七月限	七仙九六
九月限	七仙四五
十二月限	七仙四三

▲印棉

品目	相場
ブローチ	一五六留比八分五
オームラ	一四四留比八分五
ベンゴール	一二一留比八分二

▲カルカッタ麻袋

品目	相場
鐵筋	二四留比八分三
青筋	二八留比一六分三

▲紐育株式

品目	相場
スチール株	六四弗二分一
アナゴンダ株	三一弗四分一

▲外國爲替

品目	相場
米英爲替	四弗六六仙八分一
米日爲替	二七弗三一仙
米支爲替	一六弗三七仙
米佛爲替	二仙四四仙一六分三
英米爲替	四弗六六仙一二
英日爲替	一志二片〇〇〇
英支爲替	八片二分一
英佛爲替	一七七法郎一八
印日爲替	七八留比八分五

▲滿洲中銀爲替

品目	相場
紐育向	二七弗四分一
倫敦向	一志二片〇〇〇

▲阪神爲替

品目	相場
對米賣買	二七弗四分一　三二分九一
對英賣買	一志二片〇〇〇　六四分一〇

各地株式市況

▲東京株式（短期）

銘柄	寄付	大引
新東	一三三四〇	一三三三〇
大新	一七一四〇	一七〇一〇
鐘紡	一四五六〇	一四六九〇
帝新	九〇二〇〇	九二七〇
洋毳	八一一〇	八一八〇
日新	五七六〇	五七六〇
郵船	六三三八〇	六四〇〇
同新	四七八〇	七四八〇
日石	七〇六〇	七〇六〇
日立	六七六〇	七六四〇
滿業	七一五〇	七一四〇
電工	六三三一〇	六三三一〇
東電	五四七〇	五四七〇
日電	四七〇〇	―

▲大阪株式（短期）

銘柄	寄付	大引
滿鐵	六〇〇〇	―
日新	八三七〇	八三一〇
糖曹	六六八〇	六六〇〇
新東	七一二〇	七一五〇
大新	一三三四〇	一三三三〇
鐘紡	一四六〇〇	一四五九〇
滿業	七一三〇	七一六〇
日魯	五七四〇	―

▲大連株式（短期）

銘柄	寄付	大引
五品	一三四〇	―
東新	一三三四〇	一三三三〇
滿業	七一四〇	七一三〇
同紡	―	―
鐘新	一四五九〇	一四六四〇
満鐵	五九九〇	―
土木	一一三〇	―
豆新	一六一〇	―
大新	七一四〇	七一六〇

公債　株式
新京證券株式會社
新京朝日通八二 滿洲圖書前
電話③六三五三番

各地商品市況

▲大阪棉糸

限月	寄付	大引
一月限	二〇六九〇	―
二月限	―	―
三月限	二〇九〇〇	二〇九〇〇
四月限	―	―

▲大阪綿布

限月	寄付	大引
一月限	二八〇五	二八〇七
二月限	二九一一	二九二五
三月限	二九四四	二九三五
四月限	二九七四	二九七七
五月限	二九九九	二九九九
六月限	三〇〇一	三〇〇一
七月限	三〇〇四	三〇〇四

▲東京人絹

限月	寄付	大引
當限	―	―
先限	―	―

▲大阪棉花

限月	寄付	大引
一月限	柄	會
二月限	三三七五	―
三月限	三三七五	―

門專科兒小
太田医院
新京神社南橋
電③3839

▲大阪期米

限月	寄付	大引
四月限	三三七五	―
五月限	三三八五	―
六月限	三四〇〇	三四〇〇
七月限	三四四〇	三四三五

限月	寄付	大引
當限	三六一四	三六一二
中限	六二〇	六一七
先限	六三二	六三三

▲大阪人絹

限月	寄付	大引
一月限	―	―
二月限	―	―
三月限	―	―
四月限	―	―
五月限	―	―

▲橫濱生糸

限月	寄付	大引
現物	―	―
當限	八八〇	―
先限	八六八	―

各地特産市況

▲新京

限月	寄付	引	出來高
●大豆 先限	六二三	六二三	六車
一月限	六二三	六二三	六車
二月限	六四一	六三七	三九三車

▲大連

限月	寄付	大引
●大豆 袋入 一月限	七一七	七一六
二月限	七一二	七一三
三月限	七一九	七一八
四月限	七二五	七二四
五月限	七三三	七三六
三等豆	七三八	七三七
●豆粕 現物	―	―
二月限	二四八五	二三〇〇
三月限	二五一〇	二五〇五
四月限	二五一〇	二五三〇
五月限	二五五五	二五五五
六月限	―	―
●豆油 現物	一六六〇	一六六〇
二月限	―	―
三月限	一六六〇	一六六五
四月限	一六六〇	一六六〇
五月限	一六七〇	一六七〇
六月限	一七〇〇	一六八〇

手形交換高（二十日）
三〇〇枚　一六一九、二九九、四七錢

明東料理
吉野町
電(3)二一一七

長春座　電3五七六六　料金八十錢

番組				
悟覺の代加お	12,00	3,09	6,22	9,15 / 10,30
ニュース	1,02	4,15	7,28	
者太與と鳶	1,24	4,47	8,00	
服飾ナリヴバ	2,5	6,04	9,17	

廿日より廿六日まで

豫告（次週）美はしき母性　女學生と兵隊　齋藤、德大寺、水戸光子

帝都キネマ　電2一四〇五

番組				
ニュース		11,40 / 11,10	3,10 / 3,40	6,40 / 7,10
チヨコレートと兵隊		12,15 / 1,25	3,4 / 4,55	7,1 / 8,25
丹下左膳 妖刀篇、隻手篇	10,00 / 11,35	1,0 / 3,05	5,00 / 6,56	8,35 / 10,05

十九日より廿五日まで　階下八五錢

豫告次週封切！映畫史上未曾有の超スペクタクル篇　シピオネ　新版　制服の處女

銀座キネマ　電3六四六五

番組				
ニュース		12,00	3,22	6,45
赤城の子守唄		12,23	3,45	7,08
大前田榮五郎		10,5	4,27	7,51
松石の森		2,04	5,26	8,1 / 10,04

十九日より廿二日迄　階下五十錢

豫告二十六日封切　罪なき罪　立松晃、村雨三枝子　田宮坊太郎

新京キネマ

制服の處女
△近日公開▽ 江川宇禮雄主演
近日上映　海を渡る女　逢初夢子、藤井貢主演　朝日座
廿四日より　新版太閤記　母の曲大會　豐劇

朝日座　四十錢均一

番組			
巡禮やくざ	12,00	3,3	7,00
ニュース	1,08	4,28	7,58
樂天公子	1,33	4,5	8,23
度胸千兩	2,33	5,53	9,2 / 10,15

20日より23日まで

新京キネマ　八十錢均一

番組			
ニュース	12•0	3•12	6•25
ダイヤモンド王國の最後	12•22	4•03	7•42
彌次喜多道中記	1•32	5•12	8•52 / 10•28

十九日より廿五まで
廿二日（日曜日）は午前九時より破格割引で放映します

豐樂劇場
岸本チエーン映畫御案內

番組				
ニュース		2,00	4,45	7,30
紅だすき一刀流	12,00	2,45	5,30	7,55
炎の詩	12,5	3,35	6,2	9,5 / 11,10

映上時一十後日曜日放開40錢20日より23日まで

民刑一般法律事務
辯護士　小西啓一
新京西七馬路第二朝日ビル（朝日座西隣）電三四三一

新京
ふぐちり
鯛あら
すき焼
壽司
出前迅速
東二條通　いな り亭　電③四五五一

金融強化
㊣質店
祝町三丁目三味不二前櫻丁
電話③三六八七番

刀劍　ミシン　カメラ
特に御相談致しませう
御一報次第秘密參上
何品を問はず萬能に通じた

御料理
大吉
電(3)三一九九

多摩川超特作喜劇
明・日曜は御家族揃つて樂しめる三本立・
杉狂の若殿様
日暮里子　近松里子・不忍鏡子　宮谷八男・上代勇吉　共演
樂天公子
月形龍之介　澤村國太郎　市川百々之助　原健作　大倉千代子　日活オール・スター　尾上菊太郎　清水照子　香住佐代子
痛快無比！豪快仁俠・裸一貫度胸一つ!!
度胸千兩
巡禮やくざ
四〇錢均一
明日は早朝十一時開映
朝日座

明日のお休は
滿員!!又滿員!!明日は混合ぬ中に早朝割引に!!
映畫は日活
日活東西・テイチク大合同時代映畫始めての明朗本格的オペレッタ！
映と音樂爆笑の明朗道中双六!!
監督・マキノ正博
彌次喜多道中記　全十二卷
片岡千惠藏・杉狂兒
楠木繁夫　ディック・ミネ
悅ちゃん　多摩川テイチク外總出演
絕對面白いアメリカ映畫
ダイヤモンド王國の最後
早朝九時開映時迄　五〇せん　十時迄六〇錢　各普通　十一時迄七〇錢　八〇せん
新京キネマ

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵税 一ケ月拾五錢
廣告料金 普通一行 壹圓五拾錢 特別一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用 ③三二二五 營業局專用 ③三二二〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

きのふの衆議院本會議

時局の諸問題を繞り 質疑應答に緊張

小川郷太郎氏（民政）先鋒を切る

【東京國通】廿一日の衆議院本會議は午後一時四十三分開會、小山議長立つて舊臘廿七日の本會議において議決せる陸、海軍感謝決議に對し北支方面最高指揮官、支那方面艦隊最高指揮官その他より謝電を受けた旨を報告、電文を朗讀すれば滿場拍手をもつてこれを迎ふ、次で首相、外相から貴族院におけると同様の演說あつてのち石渡藏相の財政演說、更に米內海相の戰況報告あつて質疑に入る

小川郷太郎氏（民政） 今や支那事變は建設中心に移つた、首相は國民總親和の力をもつて時局の打開に邁進すべき旨を強調した、然らば國民に時局の眞相を知らしむることは肝要である、自分は議會を通じて國民の眞に聞かんとするところを質したい

と冒頭して本論に入る

近衛公は東亞新秩序の建設日支國交の調整については善隣友好、共同防衛、經濟提携の三原則が樹てられてゐると云はれた、而して善隣友好の原則については昨年十一月廿二日の聲明に於て支那の獨立を完成せしむるため必要な治外法權撤廢租界の返還その他の積極的な考慮を拂ふことに吝かならぬと述べてをられるが、しかしこれと同時に支那をして政治、外交、教育、思想、防衛の各方面にわたつて抗日政策を放棄せしめ、これを根絶することが必要である、これがためには蔣政權を覆滅すると共に東亞新秩序建設の任務を分擔する新中央政府が樹立され、それを日本が承認し列國にも承認せしめることが必要である、政府は如何なる方法を以てこれが成立を促さんとするか、次に抗日思想を根絶せしむる文化工作及び更生支那國民をして安居樂業の境地に生活せしめる社會政策的經濟工作、醫療工作が必要であるが政府の所見如何

と先づ更生支那指導の根本方針を質した後

東亞新秩序を建設するためには支那か日滿支の國防を安固にするため國防產業の原料、資源の開發利用に關しわが國に便宜を與へることが必要で、經濟ブロックは日滿支三國共存共榮を圖る所以である、たゞ東亞經濟ブロックの結成は門戶開放、機會均等主義に反するものとして英米佛より抗議的申入れが行はれてゐる、政府は如何にして英米をして東亞の新事態を認識せしめんとするか、英米より經濟壓迫を受けてもわが國はこれがためびくともせぬことを事實において示す必要がありはせぬか、わが強大な經濟力、國民精神の決然たる態度を示せば英米の認識も改まると思ふが如何

更に支那の幣制問題、國防問題に言及した後愈々得意の財政經濟問題につき論じ最後に首相の議會觀、政黨觀、官吏制度の改革、教育の刷新等につき質し降壇、これに對し

平沼首相 憲法に基き政治が行はれて行かねばならぬものである以上議會は尊重せねばならぬ、議會政治を行ふためには事實上政黨を伴ふものと思ふ、わが國の萬民輔翼の政治の根柢である上皇室を崇敬し、皇猷を翼賛し奉ることは昔より今日まで變らざるわが國政治の原則であつて未來も變ることがない

と萬民輔翼の精神を說き

この根本精神に基き官吏制度の改革、教育の刷新を圖るべく具體案を研究中である

と答へた後、興亞政策の大綱につき

抗日政權は抗日を繼續する限りどこまでも撲滅せねばならぬが、善隣方策は積極的にやらねばならぬ、元來日支は同文である、文化方面より日支提携を先づなさねばならぬ、防共のために支那內地に軍隊を駐屯せしむるのは已むを得ざる必要からである

と答へて降壇、代つて

石渡藏相 法幣の問題について北支と中支に分けて考へる必要がある、今日臨時政府聯銀券は第三國向け通貨たる機能を與へる方向に向つて進みつゝあり、着々效果を擧げてゐるやうである、中支の幣制、圓ノート對策は圓ノート回收、中支方面の支拂制限等を講じてゐるが今日の場合大した弊害は生じてゐないと思ふ

有田外相 蔣介石の植ゑつけた排日抗日思想を轉換せしめることは却々容易ではない、これがためには日本の官民はその云ふ所と行ふ所を日本の道義的使命に合せて行くことが必要である、若しあるならば優越感を取り去ることが必要である、又支那の新政權に對しても指導と云ふ觀念を排し協力と云ふ觀念で行くことが必要である

特に抗日思想を根絶せしめるものは昨年十二月廿二日の近衛前首相の聲明の精神である、此精神に基いて行く限り排日抗日思想は漸次無くなつて行く、第二に新支那の中央政府の成立に對しては衷心期待してゐる、而して現在の聯合委員會がその儘中央政府になるか別個のものが生れて來るかそれは支那人が適當と思ふ形において自然に發達して來るものと思ふ、汪精衛の和平聲明は蔣政權のみならず、第三國にも非常な影響を與へてゐるやうであるが、汪精衛が如何なる意圖を持つてゐるのか政府は新聞報道以外に情報を持たぬ、たゞそれが同政府崩壞の動機になりはせぬかとその成行きを注意してゐる、東亞經濟ブロックと云ふ言葉は他のものを除外すると云ふやうな誤解がある、日滿支の間に緊密な經濟連絡の關係を樹立して行けば當然そこに從來の機會均等主義との間に或る喰ひ違ひの部分が出來て來る、然しながら日本は國防及び經濟自主達成の必要上東亞經濟ブロックの結成に向はねばならぬ、英米の抗議に對しては政府は從らに文書の上で爭ふことを避け、外交上の手段を以て充分帝國の意のあるところを說明したのであるが、英米はなほ充分諒解せず、最近再び申入れ來りフランスも同樣申入れて來た、どうして英米に諒解させることが出來ないかといふ點については英米は日滿支間の經濟連環が支那に於る英米人の經濟活動を支那から排除するのではないかと虞れるからである、この虞れを抱かしめるのは支那に於るこれ等英米人に關する幾多の事件即ち事變下に於る現地の特殊事情が彼等の經濟活動に關して種々の事件を發生せしめてをり、それがまだ多く解決されてないのでかゝる事實が英米をして日本の云ふ所と實行する所とが違つてゐると思はせてゐると思ふ、しかしこれ等の事件が未解決なのはその多くが軍事行動に伴ふ非常已むを得ぬ措置なのである、これ等の點は英米大使に充分說明してゐるがまだ諒解に至つてない、英米は法理論的には反對してゐるが一面に於て諸條約は永久不變なのでないから改訂に應ずるやうな態度を示してゐる、東亞經濟ブロックが從來の門戶開放主義に或る制限を加へることとの已むを得ぬと云ふことは今後も反復說明すると共に現地の事態に基いて充分諒解せしめるやう努める方針である

板垣陸相 新東亞の事態に應ずるため急速なる國防力の擴充を要することは昨年廟議の決定を見たところである、この國防力を中核として國家總力の涵養に萬全を期したい

八田商相 生產力を擴充する一方經濟統制を漸次強化して行かねばならぬことは御說の通りで必ず實行する

荒木文相 わが國が東亞新秩序の建設に立上つたのは第一に西洋が東洋を植民地視して來たこと、第二に西洋人が東洋人を排斥したこと、第三に東洋人は西洋人の思想にかぶれてその本來の使命を忘れるに至つたからである、從つて今後の新秩序建設には教育に於て東洋本來の思想、就中わが國固有の優秀なる思想を世界に披瀝し、東西文化の交流による新文化を以て世界の平和を樹立することが使命であると信ずる

かくて殘餘の質問は延期し、故陸軍政務次官加藤久米四郎氏に對する追悼議事に入り、川崎克氏（民）故人追悼の辭を述べ、終つて

小山議長 明廿二日は日曜であるが特に定刻より本會議を開く

と宣し午後五時五十八分散會した

衆議院本會議 けふも開會

【東京國通】衆議院は廿二日日曜日に拘らず特に午後一時より本會議を開き、加藤鯛一、東郷實、豐田豐吉、宮澤裕諸氏の順で質疑を續行し、更に廿三日も本會議を開いて清瀨一郎、武知勇記、安部磯雄、小笠原三九郎の諸氏の順で質疑を行ひ、同日をもつて國務大臣の演說に對する質疑を打切り、廿四日午前十時より豫算總會を開く豫定である

外相演說に示された 帝國不退轉の決意

【東京國通】事變第三年を迎へた第七十四議會再開劈頭における有田外相の外交演說は既報の如く

一、道義外交の確立
一、滿洲國の繁榮
一、對支根本方針と第三國關係
一、防共關係
一、對ソ問題
一、世界恒久平和の基礎確立

の諸點に亙つてをり、今次事變により齎らされたる帝國の國際的地位と新東亞建設に對する帝國の根本方針からさらに進んで世界恒久平和確立に對する帝國の眞摯なる熱意とを闡明するところあつたが、殊に善隣友好、共同防共、經濟提携の對支三原則を重ねて宣言し、且つ支那における第三國の經濟活動の分野を明確にし

國防及び經濟的自主達成に重大なる影響を及ぼすべき分野においては或程度の制限乃至施設を行ふの要あるは當然であるが、右は畢竟東亞が內を治め世界經濟の一環として進んでその發展に寄與せんとするものにほかならず

としてあくまで帝國の公正なる主張の貫徹を期し、さらにまた

帝國政府は通商上の各種障碍を除去し世界各國間の經濟的協力を促進することが世界人類の繁榮と幸福を齎す所以である

と喝破して列國の只管利己的なる既存の經濟ブロック關稅障壁等の不當を難詰し、帝國の世界通商の自由に對する公正なる立場から眞劍な熱意を表明してゐることは注目に値する、また最後に世界の恒久平和なるものは人類親和の道義的基礎に立脚し公正なる均衡を基調となすべきであり、不公正なる現狀をそのまゝ維持せんとする功利的精神打破の必要を世界平和のために力說し

この國策遂行に當つては國民一般正を履んで恐れざるの覺悟を必要とする

と結んで帝國外交の基本的精神と國策遂行に對する國民的決意を表明し併せて政府の向ふべき所を明かにしたのは世界の蒙を啓き、今後の帝國外交推進の根據と、これに處する不退轉の決意とを中外に宣言したものとして極めて重大なる意義を有する

事變下の財經策 （藏相演說）

【東京國通】石渡藏相の財政演說要旨左の如し

□

昭和十四年度豫算は前內閣において編成したものを踏襲し本議會に提出することゝした總豫算も金額は歲入歲出共に三十六億九千四百餘萬圓であつてこれを前年度豫算額と比較すれば一億八千餘萬圓を增加してゐる、歲入豫算の內譯は租稅等の普通歲入二十八億百餘萬圓、前年度剩餘金繰入八千四百餘萬圓、公債金收入八億九百餘萬圓で前年度豫算額に比較すれば二億九千四百餘萬圓の增加となるが、これは主として租稅收入の增加であつて經濟界の好況を反映するものである、つぎに歲出豫算は前年度に引續き國家各般の施設は事變目的遂行を目標として集中するのみならずさらに一層これを強化するの趣旨をもつて編成せられたものであつて事變關係施設は出來るだけこれが充實を期したのである

即ち軍事扶助費、傷痍軍人保護諸費、軍事援護諸費、銃後對策に要する經費合計九千七百餘萬圓の新規增加を計上し、生產力擴充に關する經費五千六百餘萬圓、物資需給調整に關する經費千三百餘萬圓、輸出增進に關する經費千八百餘萬圓、馬政計畫實施に要する經費二千餘萬圓、北滿開拓に關する經費二千三百餘萬圓、民間航空および防空に關する經費二千四百餘萬圓等の新規增加も計上してある、また事變等に伴ふ豫算超過及び豫算外支出の必要に應ずるため第一豫備金は前年度に比し一千萬圓を增加して三千萬圓として第二豫備金は六千萬圓とした、なほ事變關係の軍事費については近く軍事臨時特別會計の追加豫算を提出し協贊を求める豫定である、次に事變下におけるわが國經濟界の情況につき一言致したい

事變以來金融市場には巨額の政府資金の撒布を見つゝあるが、政府はこれに對する基本的政策として貯蓄獎勵、資金調整等により資金の蓄積並にこれが移動の適正圓滑を期して來たのである、これ等の政策は國民の理解と協力とにより顯著なる效果を收め金融市場は順調に經過し金融界の情況は極めて靜穩である、外國爲替につきましては內外の經濟情勢に鑑み現在の爲替水準を維持する事が最も妥當であると考へる、日滿支三國が諸般の經濟問題に關し緊密なる提携を保持しつゝ有無相通じ共存共榮の實を擧げることは現下の時局に鑑み極めて必要とせらるゝところである、而して今や滿洲國においてはその經濟力を增大しわが國に對する互助連環の關係は益々緊密を加へつゝあるが、支那においても臨時、維新及び蒙疆の三政府はそれぞれ健實なる發達を遂げつゝあり、また北支那振興株式會社及び中支那振興株式會社の設立を見たのであつて今後治安の安定するに伴ひこの方面の發展には期して俟つべきものがあると信ずる、近年我國經濟界は目覺しき發達を遂げ今次事變に際しても更に動搖することなく平靜健實に運行致しつゝあることは邦家のため洵に慶ばしく存ずる次第である、然しながら今やわが國は未曾有の國運進展を期すべき長期建設の途上にあるのであつてこの事業を完成するためには益々經濟力の充實を圖るとゝもにその全力を目的達成の一途に集中することが必要で、古來幾多の難局に處し一致協力奉公の誠を示し、以てわが國民が今日茲に間然するところなき總親和總努力の實を擧ぐることを信じて疑はず假令長期建設が容易ならざる事業であつてもこれが完成につき何等憂慮の要なきものと信ずる

海相の戰況說明

【東京國通】廿一日貴族院に於てなせる米內海相の戰況說明要旨左の如し

□

昨年六月上旬揚子江溯江作戰に從事した海軍部隊は安慶、九江占領後八月下旬陸軍に協力武漢總攻擊を開始した、遡江部隊は頑強なる抵抗を排除し水路を啓開するとゝもに特別陸戰隊を以て隨時江岸の敵據點を屠り十月廿六日遂に漢口に突入し更に十一月十三日岳州に進入した、本作戰で處分した敵の機雷は實に二千四百個に達しこの掃海隊の數百里に亘る敵前掃海と陸戰隊の壯烈なる敵前上陸及び要地攻略は世界戰史にもその類例なく實に本作戰の戰史を永遠に飾るものと信ずる

一方南支方面に於ては十月十二日夜半月明のバイアス灣奇襲上陸に協力し更に廣東への水路を開き附近の殘敵掃蕩に奮鬪してゐる

作戰の全期間を通じて航空部隊は勇猛果敢、敵空軍を潰滅して制空權を握り、事變以來擊破せる敵機は千五百機に達しまた現地に遁れたる砲艦十九隻を或は爆沈、或は大破擱坐せしめ不滅の武勳を樹てた以上の外海軍は特別陸戰隊を以て廈門、連雲港及び南澳島等支那沿岸の要衝を占領し、艦艇による支那船舶の航行遮斷と相俟つていよ／＼その封鎖を强化した

今や作戰は豫期の成果を收め支那の中原と海に出る門戶を完全に制し且つ制空の實權全くわが手に確保されてゐるが時局の前途はなほ遼遠にしてその上國際關係の動向も亦一日も偸安を許さゞるものがある、この秋に當り海軍は全軍一體神戒めて終局の目的達成に邁進し國防の重責を全うして上大元帥陛下の大御心に副ひ奉り、また國民の期待に應へんことを期してゐる次第である

日本復歸官吏の 待遇改善方折衝

かねて日滿朝野の有識者間に話題の中心となつてゐた日滿兩國官吏の交流促進問題については今次事變が戰爭段階より長期建設の第二段階に移行すると共に漸く具體化するに至り、さきに東上せる星野長官、岸產業部次長、片倉中佐等は滿洲國側の希望意見を日本政府に提示し、目下內閣をはじめ關係各省當局との間に具體的折衝を行ひつゝある、而して從來右交流問題の癌となつてゐた點は建國以來滿洲國へ轉出して來た日系官吏が再び本省へ復歸する場合の待遇問題であつて、之等の復歸官吏は官等、俸給、勤續年限ポジション等の諸點において何れも本省の同輩に比し立ち遲れることゝなるので一旦滿洲國へ轉出した官吏が本省へ復歸することは事實上相當の負擔が伴つてゐた、よつて滿洲國側としては交流促進の第一着手として先づ

一、轉出官吏が本省へ復歸した場合その官等は轉出前の官等をそのまゝ繼承することゝなつてゐた從來の內規を合理的に改正すること
二、復歸官吏の俸給は轉出前に比し一級を增俸することゝなつてゐるが、これを本省の同期生とほゞ同程度に引上げること
三、滿洲國における勤續年限は日本の恩給年限に全然加算されてゐないが、これは兩國官吏交流の最大の障害となつてゐるのでこれを恩給年限に加算し得るやう辨法を講ずること
四、復歸官吏のポジションについてもなるべく優遇の途を講ずること

等の點につき日本政府の自發的考慮を促すこととなり、これが成行は注目されてゐる

聯盟の骨拔き決議は 支那策動の失敗

【ジュネーヴ廿日發國通】聯盟理事會の決議につき消息通は左の如く批評してゐる

一、支那代表の提議に基く商議を聯盟國のほか特に利害關係の密接な非聯盟國にも及ぼす建前としたのは支那側の要求たる調整委員會を換骨奪胎したもので支那の面目をたてた苦肉策であるが、その實際的效果は疑問である
二、調整委員會の設置には特に小國側が犧牲の加重を惧れ反對した、同時に英佛兩國も委員會を設置すれば日本は愈々獨伊兩國と提携し反對ブロック强化の藪蛇となることを惧れたものである
三、支那は英米佛三國の對日通牒に氣をよくして强硬な主張を述べたが大國側にとつては同通牒は日本と交涉の途を開かんとする目的に出たものである、從つて聯盟で對日強硬決議をすれば交涉の餘地がなくなるわけであるから大國はかゝる態度をとるはずがなくこの點支那は認識を缺いてゐた
四、支那は顧維鈞の演說や新聞の宣傳で日本の經濟力が脆弱で各國の對蔣態度が好意的なる如く吹聽し對日ボイコット、輸出禁止、對蔣財政援助等を狙つたが誰も耳を藉さず失敗した

軍事委員會秘書長に 張群任命さる

【上海廿一日發國通】五中全會を前に異動を豫想されてゐる重慶行營主任張群はこの程軍事委員會秘書長に正式任命された、重慶行營も張群の轉任により去る十七日を以て正式に取消され新たに成都行營、西康行營が新設され賀國光、鄧錫侯が夫々主任に任命された

參政會議長に蔣

【香港廿一日發國通】重慶來電によれば、國民參政會議長には昨日の中央第百十一次常務委員會において蔣介石推薦を決定した

陸の荒鷲 延安、洛川猛爆

【〇〇基地廿一日發國通】陸の荒鷲中村、兒森兩部隊は廿一日午前十一時五十分共產軍の據點たる延安及び洛川を急襲、延安では共產黨本部、第八路軍司令部、共產大學、洛川では第八路軍兵站部を爆擊堂々歸還した

登州・岐口間 船舶航行遮斷

【靑島廿一日發國通】海軍特務部發表 今般皇軍においては或る種作戰の都合上來る一月二十三日以後當分の間渤海灣方面における登州・岐口間沿岸一帶にわたり一般船舶の航行を遮斷することゝなれり、但し第三國船舶に對しては遮斷することとなし

呂駐獨公使 レセプション

【ベルリン廿日發國通】呂宜文駐獨滿洲國公使ならびに同夫人は廿日カイザー・ホテルにレセプションを開催、日伊外交關係ならびにドイツ政府要路の人々を招待して晩餐をともにしつゝ滿洲國今回の防共協定參加聲明を祝し懇談を遂げた、出席者は大島駐獨大使をはじめイタリー大使アットリコ氏はじめ日伊兩國大使館員、ドイツ側からリッペントロップ外相及び外務省、宣傳省の關係者であつた

人事往來

▲貝瀨謹吾氏（大連市會議長）廿一日來京ヤマトホテル
▲福田德次郎氏（滿鐵囑託）同
▲木村英次郎氏（木村製藥）同
▲宮田城之輔氏（會社員）國都ホテル
▲八田健太郎氏（同）同
▲莊野忠德氏（天滿織物）同
▲河手仲藏氏（會社員）中央ホテル
▲永山德茂氏（同）同
▲水谷重八郎氏（同）同
▲板井勝氏（同）同
▲花田博氏（官吏）同
▲德本房雄氏（土建業）同

偶語

海軍が建艦計畫を發表すれば陸軍は五千五百台の飛行機建造を議會に要求するといふ▼毎年一回づゝ吹き捲くることは米國の癖であつて見れば强ち氣に止める程のことはないが蔣に對し積極的援助に出て來た今日甘く見縊ることは禁物である▼太平洋の濤立ち騒がずとも黑雲空に飛ぶ位のことはあるかも知れぬ▼親が子を殺すとか子が親を殺すとか常識で考へられない犯罪は隨分多い、その原因を究明して見ると三十八%まで遺傳による惡質である▼これらはその子孫を殖やさぬことが親のため子のため又社會のためにもよいことであるといふ理由のもとに斷種法が今議會に提出されるといふ▼日本民族の優秀性保持の上から云つても通過させたいものだ

社說

戰時下の議會

愈よ議會が再開されることとなつた。政府側に於いてこれに對し充分に用意するところあつたことは勿論であるが各政黨もそれぞれに準備するところがあつた。尤も戰時下の議會ではあり、各政黨の動きに格別これと言つて注目すべきものなどは見られなかつたやうである。政友會の一部に特殊な運動が行はれたやうではあつたが、それも根本的に政見を異にするが故に分離するといふのではなく、ただ政友會內部の事情について不滿を持ちそのため一團體をつくるやうなことになつたものだと思はれる。なほまた現在のやうな情勢下に於いて社會大衆黨の如き、元來のその結黨以來の主張を今も持つて居るものならば、他の諸政黨とは異つた行き方を示すべきものであらうが、この政黨も實際上大いに從來よりは變質して居り、ただ首相に對して要請書を提示し銃後國民生活のために充分な考慮が拂はるべきことを求めたといふ程度にとどまつてゐるのである。要するに現下日本の進むべき道はすでに決定的なものが存するが故に、その政治部門に於いても、政府として、また政黨としてその進むべき行き方も方向は一定なのである。諸種の議論等があるとしても、それはただその定つた方向の上に於いての微小な問題についての討論といふ如きもので終るであらう。言ひ換ふればわれわれはこゝに最も明白に擧國一致の實があげらるゝのを見得るであらう。この期待が誤またないであらうことを信ずるのである。

別な言ひ方からすれば、議會はいま政府に協力を求められてゐるのである。しかしこれを餘りに單純に解して單なる消極的な受動的な協力のみで足るとするならば、それは議會本來の職能を輕視し日本のこれまでの憲政の歷史をないがしろにすることゝならう。現在必要なのは積極的な協力である。創意に富み潑剌とした活動力を持つ協力なのである。斯くの如きものをこそ眞の擧國一致といふことが出來る。上から求められてこしらへられた協力一致では充分でないのである。双方が、みんなが眞に力を協せ、さうしてつくりあげる一致でなくてはならぬのである。われわれは斯うした觀點から今次議會の經過を注視したいと思ふ。

なほ思ふことは、今次議會が日本の政治的安定、そこに示される國民の堅い團結、それを諸外國に見せるのに絕好の機會を與ふるものであらうといふことである。斯くの如き大戰爭を行ひながら日本は平然として、また毅然として潑剌たる政治活動をなして居る、國民はまこと心を一にして時務に勵んでゐることを列國に知らしめるのである。その意義と效果また自明である。

再開の貴衆兩院で 陸相戰況を報告

昨春以來の主要作戰經過

【東京國通】板垣陸相は廿一日貴衆兩院において支那事變における昨春以來の主要作戰經過につき說明を行つたが、その要旨は左の如くである

□

一、支那事變勃發以來早くも一年有半を經過致しましたこの間皇軍の精銳はあらゆる忍苦缺乏に堪へつゝ東洋平和建設のため暴戾な抗日政權膺懲の聖戰に從ひ、陸に海に空に到るところ曠古の大勝を博してわが威武を中外に宣揚し、赫々たる戰果を獲得するに至りましたが今やその占據地域は既にわが全土の二倍を超え支那軍に與へた損害は實に無慮二百萬に達し、その陸空軍共にこれが早急の再建は至難と目せられるに至りましたしかしながら抗日政權の執拗飽くなき抗戰と支那をめぐる複雜微妙なる國際情勢に鑑み聖戰の目的貫徹のためには今後幾多の難關を突破しなければなりません

一、わが軍の態勢 爾來江北においては敵を概ね漢水の線に壓迫し、さらに京漢線上花園を中心とする地區ならびに羅田、英山一帶の殘敵の本據を覆滅するとゝもに武漢周邊の殘敵を掃蕩しました、また江南においては漢口附近より揚子江を遡江した部隊と粤漢線に沿ふ地區を進擊した部隊とにより十一月十一日遂に鄱陽湖畔の岳州を攻略するに至りました

一方北支方面のわが軍はこの間廣大な地域にわたり不斷の努力を續け占領地域の肅淸に邁進し多大の戰果を收めました

即ち昨年七月上旬以來十一月末までに敵に與へた損害は遺棄死體九萬九千七百卅八、俘虜六千七百四十五を算し鹵獲品また莫大であります

一、支那軍の態勢、漢口拋棄に先立ち蔣介石は豫想の如く逐次その蔣直系軍（中央軍および一部の新編成せる兵力）を先づわが攻略圏外に撤退せしめ今後の抗戰中軸として態勢の回復および軍の再建に努めんとしてゐる模樣であります、すなはち武漢防衞に參加しました敵軍は約百三十ヶ師、七十餘萬であつてその內中央軍は約八ヶ師、五十萬でありましたが、現有兵力は五十萬內外に減少し中央軍の現有實力は約三十萬內外と判斷せられてをります、目下後方々面の敵はその主力を京漢線以西漢水流域に後退して餘喘を保ち現有兵力は四十三ヶ師（內中央軍九ヶ師）十七萬でありまして、逐次情勢の鎭靜に伴ひ後方地區遊擊の前線を擔任致すでありませう、また江南におきましてはその主力を長沙、衡陽、南昌一帶に集結し現有兵力は七十四ヶ師（內中央軍四十七ヶ師）約三十萬でありますが、これ等は努めて長く同方面を保持するに努むることゝ判斷せられます、他方敵は中央勢力の版圖擴大のため今後極力西南地方將領の地盤回收工作に努力するでありませう、從つて雜軍今後の動向は大いに注目を要するものがあります、わが南支作戰軍に對抗しました廣東軍の正規軍その他約廿萬は主力をもつて當分同省北部に蟠居するでありませう、廣西省には民國軍を主體として約十五萬、四川、雲南にもまたそれぞれ數萬の兵力ありと稱せられてゐます、從つて兵力は二百十數ヶ師約百萬（內中央軍八十五ヶ師）內外と判斷せられます、蔣政權が依然抗戰を續けるにおきましては今後とも國共合作關係には大なる變動を生ずることなくまた蔣政權實力の西南退避による長江以北、西北一帶は自ら新疆を通ずる西北主線を根據とする共產黨の勢力範圍に屬しソ聯邦の對支援助は直接共產黨に指向せらるゝのであります、從つて逐次赤色區域の擴大とわが占領地域に對する執拗な遊擊戰による後方攪亂に徹底するのでありませう、以上中原より退避した蔣政權の態勢は西北西南兩方面における抗戰繼續に移行しつゝ長期に亘るものゝ如くであります、從つて今後愈々既定方針を繼續强化し蔣政權に對しましては直接制壓を加へ補給遮斷を徹底せしめると共に他方わが占據地域の確保、安定を强化擴充し以て抗日政權の衰亡を招來せしめまたこの間北方に對しましては不斷の警戒と周到の戰備とを怠らずもつて覬覦の寸隙も與へないことが極めて肝要でありまして、これがためには將來の軍備その他の施設等に萬全を期せねばならぬと存ずる次第であります

三寒四温

產業部の石坂農務司長は小柄な上に年が若く大官の貫祿を辛うじてあの澁い顏で補つてゐるが先日或る座談會の席上途中で入つて來た某氏石坂氏の存在に氣付かず「今日は農務司長がおゐでにならないんで五十子さんにお尋ねしますが」とやり出したら隅つこの方から「こゝに居るよ」と顏を出した、一座はドット笑つたがたしか經濟部の伊藤金融科長にもこれに似た樣な話があつた筈だ

再開劈頭の貴族院本會議

支那の人心收攬の方畧如何を質問

先鋒山川氏（研究）銳く追及

【東京國通】廿一日休會明け議會の貴族院本會議は午前十時六分開會、傍聽席には白衣姿の戰傷勇士の群が目を惹き外交官席には阮滿洲國大使の姿が見える、先づ首相、外相の別項の如き演說があつて更に板垣陸相、米內海相から戰況報告あり、終つて愈々國務大臣の演說に對する質問に入る

山川端夫氏（研究） 蔣介石政府はその豪語にも拘らず段々衰滅に赴きつゝある、列國が如何に對蔣援助を行つてもその衰運を挽回すべくもない、かくして時局は愈々最終局面に立ち到らんとし、わが國の責務また重大を加へ來つてゐると前提したのち、興亞院と現地の連絡問題を質し更に戰況地域においては治安の必要からも有力なる新政府が出來ることが必要である有力なる支那新政府が出來れば蔣介石が名實共に地方政權に墮するであらう、それにはわが國の援助が第一要件で支那人をして眞にわが方を信じわれに賴らしめ之と協力せしめねばならない、政府は支那民衆の人心收攬に對し如何なる方略ありや、また日支事變を續けて獨伊兩國がわれに親善的態度をもつて接したるは感謝するところだが、これが反面英米がわが行動の邪魔をなし殊に最近はわれに經濟的壓迫を加へこれによつてわれを抑へ得ると信じてゐる、これは確かに一種の敵對行爲である、滿洲事變、支那事變を通じてのわが國の態度を見れば日露戰爭、歐洲戰爭當時と實力に雲泥の相違あることに氣づくであらう、殊にわが國獨特の精神力を知らば彼等の經濟壓迫の無益なるを自覺するであらう、私は英米兩國が速かに極東における新事態を理解し、わが眞精神を諒解し、われと協力するの態度に出でられんことを希望する、政府は英米をして眞にわが意を諒解せしめるために如何なる方策をとらんとしてゐるか

と質し國務大臣の答辯は廿三日の本會議に行ふこととして午後零時廿六分散會した

昨春以來の敵損害

【東京國通】板垣陸相は廿一日貴衆兩院で昨春以來の主要作戰經過につき說明を行つたが、各作戰で敵に與へた損害につき大要左の如く發表した

△徐州作戰 敵遺棄死體二萬三千餘、鹵獲品無數

△廣東作戰 敵遺棄死體六千三百七十、俘虜二百六十六、鹵獲品 諸火砲百四十六、機關銃九十二、戰車三十六、自動車百五十、各種砲彈三千三百五十

△漢口作戰 敵遺棄死體十九萬四千二百十六、俘虜六千四十六、鹵獲品 各種砲五百二十門、重輕機關銃二千五百五十五、小銃二萬七百七十七、自動貨車九十八、彈藥その他莫大

東亞協同體への道（上）

藤澤親雄

東亞協同體への道は東洋精神文化のルネッサンスを以て始まらねばならない、武力發動も政治機構もはた亦經濟開發も純正なる指導原理に導かれてこそ十全的な効果を發揮し得るものである、現在東亞協同體の建設や東亞新秩序の再建を論ずる人々は概して日本及び東洋の悠久なる傳統的文化に關する深き素養もなければ、又之に對する眞劍な反省も行はず徒に西歐的政治體制の產物たるデモクラシー的國際法觀念を以て立論の根據としてゐる、例へば國際聯盟至上の所謂集團保證主義を東亞大陸に其儘適用して東亞聯盟を建設すべしと說くが如きである、殊に東大諸教授の東亞協同體論に於ては、この傾向が顯著である、併し問題は斯の如く平面的且つ單純ではない、抑々此處の悲劇的事變を解決するが爲めには東亞を支配搾取し來れる近代西歐自由主義文明を克服して東亞諸民族を解放すると共に更に進んでは世界人類に對し新しき文化原理を與へなければならないのである、西洋人の謂ふ「光は東より」は單なる合言葉ではない、本來西歐の近世自由主義文明は極端なる禁慾主義を强制せる中世的世界觀に對する激烈なる反動として發生したるものである、其の結果としてモダーニズムは人間の所謂「知性」を餘りにも過重するものである、故に人間の生活は情操と意志と知識とが渾然と綜合せられてゐる生命的なるものから次第に遠ざかり、分析末梢的方向にのみひたぶるに走つて行つた、從つて人間は全體人から部分人に顚落し、知性が人間から遊離して一種の自動的運動を起すに至つた、斯くの如くして知識の精密なる體系としての科學が發達し、更に科學は機械を發明して從來の生產樣式に一大革命をもたらしたのである、それが結局資本主義的經濟組織を生み出した、資本は恰も人間生活そのものに關係なく勝手氣儘に跳躍し却つて人間を支配し命令するが如き奇怪なる現象を發生せしめた、かくて機械や機構が人間の支配者となつた、人間は最早や萬物の靈長ではなく無目的な「進步」に狂奔する物質文明に引きずられて、其の精神的自立性を失はんとする之が所謂「價値の顚倒」であり人間精神の物質界への墮落でもある、素より我々は徒に精神のみを高揚して物質を輕視するものではない、我々は所謂肉のみを重ずる近世主義に抗辯すると共に又所謂靈のみを過大視する中世主義にも反對せざるを得ない、即ち我々の深く念願する處は靈肉が不可分に渾然と融合し無限の變化運動の中に自ら不動の中心が直觀せられる創造的生命文化を復興し之を全面的に躍動せしむることである、人間は其の最も素直な存在のありかたに於ては自己を遠心的に發展膨脹せしめんと欲すると共に更に再び生命の源泉に收縮還元せんとする求心的傾向を有するものである、此の生命的リズムが何等の凝滯なく交替して行く場合に於て人間生活は明朗となり、不斷の創造的進化が行はれて行くのである、然るに近世の機械主義文明は人間が自己を主張する個別化的傾向のみを遠心的に促進せしめたものであり、之を再び求心的に生命の本源に吸引し得る原動力を缺くものである、此處に西歐文明の危機が釀成せられた

□

今や人間は是迄不當に虐げられて來た自己の精神的自主性を取戾さねばならぬ、科學と經濟とを人間の眞の幸福の爲に奉仕せしめねばならぬ、素より近代主義を淸算した我々は求心的を唯心文化のみを認めて所謂物質的科學文化を拒否するものではない、我々の要請する處は近世主義を超越し、物心を內に含みつゝ尚一層高次段階に於てこれを綜合止揚する生命全體主義的文化の創造である、即ち自由主義が齎した塲へ離き分裂と對立と爭鬪とを綜合すべき權威の中心を確立し、之に依つて全個一體の力强き調和的創造生活が始まらねばならぬ、政治の優位性が經濟の優位性に取つて替らねばならぬと云ふのはこの意味である、具體的に云へば强烈なる綜合調和力を體現する哲人政治家が原動力が樞軸となつて、行き過ぎた人間の遠心的傾向を思ひ切つて求心的傾向へ轉廻せしめ、空虛なる形式を實質的なる內容に依て充足せしめなければならない、實に政治は精神的なるものと物質的なるものとを結び付くる媒介者である、天意を地上に敷くとは此の事である、斯くして當然最大の利潤のみを追及する資本主義經濟は各人の生々發展を保證し得るが如き全體主義的經濟にその地位を讓るべきである然しそれは潑剌たる個人の企業的創意と活動とを拒否する共產主義的獨裁統制經濟とは本質を異にするものである、むしろ凡ての個人の創造的な經濟活動が全面的に發揮せられるが爲に硬化せる資本主義的機構が是正せられねばならないのである

グアム島防備施設 日本と相談せん

アーリー大統領秘書談

【ニューヨーク廿日發國通】ウォールッシュ・ヴインソン上下兩院海軍委員長が十九日議會に提出した海軍防備强化法案は問題のグアム島防備のため特に五百萬弗を計上してゐるところから果然米國政府に囂々たる論議を捲起してゐるが廿日のニューヨークタイムス紙ワシントン特電によればルーズヴエルト大統領秘書アーリー氏はグアム島の防備問題に關する大統領の意向につき次の如く語つてゐる

大統領はグアム島防備に要する豫算を一括要求する權限を得ることには贊成してゐるが愈々實際に軍事施設を建設することになれば前に一應日本に相談してから決定したい意向と解される

列國の對蔣援助を非難

スイス紙社說

【ジュネーヴ十九日發國通】ジュルナール・ド・ジュネーヴ紙（保守系）は十八日夕刊紙上に顧維鈞支那代表が聯盟理事會に提出した對蔣援助案に關する社說を揭げ列國の對支援助を非難して次の如く論じてゐる

支那事變を處理するに當つては日本はどんなことがあらうと徹底的に頑張るのであるといふ事實を忘れてはならぬ、然も列國はこれに對し兵力に訴へてまで抗爭しやうといふ意圖はないのだから聯盟として對日制裁につき更に新しい措置をとらうとしても方法がない筈である、諸外國中には支那支援のため凡ゆる手段を盡して日本を疲らせ讓步せしめやうと目論んでゐるものもあるが、これは危險極まる政策である、支那の抵抗が永引けば永引くだけ日本の態度も强化し英米の庶幾するところとは逆の結果を來すのみである

總局と北支事務局連絡會議

滿鐵北支事務局の北支交通會社移行に備へる鐵道總局、北支事務局兩當局事務擔當者の連絡會議は廿日午前十時より總局で開催、諸富官業、大垣經理各局長、高田文書課長外關係各局長、北支事務局より小池運輸部次長、福川經理部次長、永田文書、井口人事、寺阪厚生各課長等三十餘名出席午前、午後に亘り

一、總務關係、弘報案內業務機關の新設その他

一、人事關係、北支事務局員の身分退職手當並に身許保證積立金處理

一、經理關係、債權、債務、財產移讓に關する連絡

その他新會社設立に伴ふ事務的諸問題に就き種々打合を遂げたが、今後も隨時連絡會議を開き北支事務局の新會社移行に萬遺憾なきを期することゝなつた

滿赤理事長

工藤少將略歷

病氣の爲辭職した武田理事長の後を襲つて二代目滿洲國赤十字社理事長に就任した工藤義雄豫備少將は二・二六事件の連座者を部下將校の中から出した責任を負つて步兵第二旅團長の榮職を未練氣もなく捨てた將軍である、陸士は十七期と云ふから東條、前田兩中將等とは同期、陸大も優秀な成績で出てゐる、昭和二年步兵第六聯隊長時代濟南守備の爲出動赫々たる武勳を樹てたことも有名で、事件後東京の自宅で悠々自適の生活を送つてゐたのを今回引つぱり出されたものであるが、將軍は岡山縣の出身、本年とつて五十五歲の働き盛りである、將軍が第六聯隊長時代、聯隊旗手をやつてゐた關東軍報道班の中島大尉は「ほゝういゝ方が見えますね」と前置して

將軍は溫厚篤實、部下を非常に可愛がる反面、上に對しては突張りの利く人で豫備役に編入されたときなど非常に惜まれたものです、非常時の滿赤に將軍のやうな立派な方を迎へたことは滿洲國の大きな收穫と云へませう

とその橫顏を語つた

今年は多い宇宙の異變

手具脛引いて待つ天文學者

【東京國通】今年は色々の異味ある宇宙の異變が話題に上り新春早々天文學界を喜ばせこの好機逸せずとばかりに大きな收穫を期待してゐる、まづ神秘の世界を彩るものは春の宵の西空に或ひは澄んだ秋の朝の東の空に夢幻的な光をはなつ黃道光が形や光度の變化を起し、また今年は太陽の黑點が最も增大し地球に對し諸々の影響を與へるといふ十二年目にめぐり來る年に當るので地軸の著しい變化や氣象上の異變が起るだらうといふそれから北極と南極の極地に近い高緯度の地でなければ見られぬものと思はれてゐたオーロラーが今年は注意深く觀測すれば北海道は勿論、東北地方などの內地からでも見られやうとの話、次に皆既月蝕も五月三日の深更に現はれてこれも見逃せない異變の一つさらに七月廿八日には謎の星「火星」が十五年振りに地球に近づいてくる、この火星の軌道は二年置きに地球に接近し何時もの平均距離七千萬キロから一躍五千八百萬キロに接近する、この前の大接近は一九二四年で、當時世界の天文學者は總動員で觀測陣を張りその結果運河や火星人說等まで唱へられ天文學界を賑はしたが、今度こそはこの機會を捉へて火星の溫度測定その他の物理的な觀測をとげやうと學界は待機の姿勢で活氣を呈してゐる

昭和十三年度 米穀收穫高

【東京國通】農林省發表＝昭和十三年度米穀收穫高は青森縣の外十一府縣の分は千五百七十五萬八千三百七十石にして前年に比し廿五萬八千七百廿五石の減收である

二千六百年に 國民藝術祭

廿七日打合會

【東京國通】光輝ある紀元二千六百年を國民藝術の祭で慶祝しやうと日本文化中央聯盟では曩に音樂、舞踊の祝典計畫を立案したが更に大衆娛樂の大きな對象である演劇にもこの際劃期的革新のモメントを起して明年は舞臺藝術の絢爛たる演劇祭典を繰展げやうとその準備のため來る廿七日劇團關係の名士を糾合して懇談會を開催する、集合する顏觸れは作家、評論家、劇團代表者等を網羅したもので伊原青々園、城戸四郎、坪内士行、三宅周太郎、久保萬太郎、千田是也、飯塚友一郎、大谷竹次郎、岡本綺堂、河原崎長十郎、岩田豐雄、岸田國士、長谷川伸、川竹繁俊等の諸氏約五十名で歌舞伎、淨瑠璃をはじめ新派新劇、喜劇、ページェントに至るまで廣範圍の問題に亘つて討議される、具體案確立の曉には愈々明年二月十一日の佳節を卜して一齊に各劇場の舞臺を飾ることになるわけだ

讀者の領分

投稿歡迎 中傷不可

列車延着時の改札（愛驛生）

各新聞紙が報ずる如く近頃の列車の遲延振りは腹の立つ程である、內地から最近來た者にとつては甚だ奇異な感じがするのであるが、ずつと古くから滿洲にゐる人にとつては別段何とも思つてゐず、馴れたもので列車に用のある時は先づ驛へ電話をかけてから出掛けるといふ程である、事實種々の事情を聞いてみると遲れるのも無理からぬと合點するのである、だから私は遲れることに對して何とかかとか文句を言はない、たゞ遲れることに對する旅客、送迎客の損失が幾分でも償はれた氣がする樣に驛員のサービス萬全を期して貰ひたいのである、驛長は常に語る、遲れるのは仕方が無いと傍觀してゐるのでは無い、我々は常にこの問題によつて起る旅客の不快を少しでも減らしたいと努力してゐると、事實最近の驛員達の親切は流石新京驛ならではと思はれる程丁寧である、案內係など引つ切りなしにかゝつて來る電話を聞きながら窓口の客に應接するのに大汗かいてゐるのを何時も窓口から見て同情してゐる程である、しかし唯一つまだ少し不親切な點がある、それは改札の開始時刻である、列車が遲れて入つてくるから旅客、送迎客は構內にざわめきながら待つてゐる、それに對する開札開始が馬鹿に早くて、はゝあ豫定よりも少し早いからスピードを出して取戾したのかと思つてホームへ出ると、何時まで待つても到着しない、寒いホームで震へながら待つ身の辛さ、かと思ふと列車の到着する頃まで知らぬ顏で放置してゐて、改札が濟んでホームへ出たと思つたらもう列車が入つて來てゐるなんていふ事もあつた、この爲少し遲れてホームへ來たら目的の迎へる客と入違ひになつて逢はれなかつたといふ人もゐる、これは近接の數驛と連絡すれば直ちに解決されることゝ思ふ、改札係の責任か誰の責任か知らぬが、どうか適時に改札を開始する樣に驛長に切にお願ひする次第である

訂正 十九日付本欄「民族愛と日本人」中第三段目「支那婦人にして日本人に嫁せる者三千人」とある中「三千人」は「三十人」の誤に付き訂正

研究指導機關として農事試驗場增設
模範農場と共に增産に拍車

五ケ年計畫中農業部門における昨年度の實績は既報の如く大體において計畫に近い數量を擧げてゐるが、昨年度までの

增産 は主として二荒地開拓に依る作付面積の增加を手段としてゐたので、今後は技術的向上に主力を置くことゝして政府は各種の方法を考究中であるがそのうち技術的研究と指導の中心機關となるものとして農事試驗場と勸農模範場を全國に體系的に設置することに決定、左の如き具體案を樹立し本年度より逐次實現を圖る豫定である、即ち全滿を土壤、氣象その他各種の條件より興安、東滿、南滿、中滿、北滿の五地區に分け、各地區每に國立農事試驗場を設け、その下に更に小地域に國立農事試驗所を設けてこれらに於て土性、肥料、品種改良、機械農業等に就て各地事情に即した技術的研究を行ひその

研究 の成果を具體化するため各縣に勸農模範場を設置して模範農場を造り此處に於て農民の訓練指導をなさんとするものである、勸農模範農場は出來得れば更に街村單位のものも造り林業、畜産との有機的連絡を考慮して各々適地適應の農法を實現して增産に資せんとするもので、これには協和會農林分會、拓士等との間に密接な連繫、協調を保持せしめる豫定であり官制化も近く行はれるものと見られる、而して前記五つのブロック中南滿は徹底的集約農法を採用、北滿は新農法を採用する方針を樹て增産に拍車をかけんとしてゐるが五つの試驗場の上に

中央 に統轄的の試驗場を置く方針で目下の豫定では各試驗場の設置箇所は左の如きものとなる筈で既設の王爺廟、佳木斯、公主嶺、哈爾濱の四試驗場中北滿開發の急務なる所より哈爾濱農事試驗場は本年直ちに擴充に取りかゝる豫定である

中央—新京　興安地區—王爺廟　東滿地區—佳木斯　南滿地區—奉天　中滿地區—公主嶺　北滿地區—哈爾濱

昨年度對第三國輸出 雜品の輸出不振甚し
關係當局振興等研究に乘出す

昨年度における日支を除く對第三國貿易は既報の如く入超二千五百萬圓の逆調を來し、これが速急的打開策を講ずることが刻下の急務とされてゐるが、當局でも當初の豫定計畫に意外の齟齬を來したものとして頗るこれを重大視し、目下關係各當局において鋭意これが振興方策につき研究中である、即ち昨年度における對第三國輸出の實績を見るに前年度に比し輸出增を示したのは大豆八百廿五萬、玉蜀黍七千圓、マグネサイト廿五萬圓、高粱十二萬圓、粟七千圓の五品目のみで他は何れも軒並みに著減し、而もその輸出伸力は著しく鈍化しつゝある傾向が見られるのみならず、特に落花生、豆油の如き雜品輸出の不振が目立つてゐる、而してこれが原因としては對日並に對支輸出の急增、北支競爭品の八ペンスベース輸出の壓迫等があげられてゐるが政府當局の輸出增進方策も餘りに大豆にのみ偏倚し、雜品輸出振興を輕視した嫌ひがあつたのではないかとして今後の善處が要望されてゐる、對第三國重要輸出品並に前年度比增減左の通り（單位千圓）

	五年度	增減（△印減）
大豆	一二一、三六八	八、二五九
其他豆類	七三〇	△ 七五
粟	六九	七
高粱	三二九	三三五
包米	一四	七
落花生	五、六三三	△ 八、六八一
蘇子	一	△ 一〇一
蓖麻子	一	△ 二三
豆粕	二、〇七五	△ 二、三三六
豆油	八、六六八	△ 一五、五九〇
蘇子油	四、五九〇	△ 四、六四五
石炭及煉炭	六二五	△ 一、四一九
マグネサイト	一、一九七	二五二
硫酸アンモン	一二	△ 三二〇
豚毛	三、五三三	△ 四五三
その他	一五、一二八	一七九
計	一八三、八八一	△ 二四、八三三
再輸出	九九九	△ 六九四
合計	一八四、八八〇	△ 二五、一〇七

三泰棧煙草會社 六會社を買收

協和、奉天、第一、興滿、瀋陽、トロッパスの在奉六煙草會社は三井系三泰棧の手で廿萬圓を以て買收完了愈々來る四月末の期限滿了と同時に資本金約四十萬圓を以て三泰棧煙草會社（假稱）の業界乘出しを見る運びとなつた、なほ産業部よりの六年度上半期國內産原料葉煙草の配給數量は啓東二千五百八十八瓩、東亞一千六百四十瓩、滿洲六百三十瓩、大陽四百四十瓩、六社三百七十八瓩で六社買收後における三泰棧製品の進出は業界注目の的となつてゐる

關東州棉作技術員會議

關東州棉作技術員會議は廿日午前十時より州廳會議室において開催、州廳、棉花協會、農事試驗場、滿洲棉花株式會社等より四十餘名出席左記事項を審議午後四時散會した

一、昭和十四年度棉作面積に關する件
二、耕種に關する件
イ、指導に便ならしめると共に耕作者の競爭心を喚起せしめんがため集團的に栽培せしめるやうにすること
ロ、小面積の作付については當業者の栽培熱心度すくなきにつき本年度一戶につき二反あたりとし、販賣用棉花栽培を行はしめるやうにすること
ハ、土地選定を誤まらざるやう本年は特に實施調査をすること
ニ、自給肥料の增肥、人肥の合理的施用を指導して反あたり收量を增加するやうにすること
三、昭和十四年度棉作調査に關する件
右は滿洲棉花協會に委囑して作成せしめた樣式により基本的調査を行ふ

東滿産業開發
牡丹江省、牡鐵提携して
來年度より早急實施

牡鐵産業課においては東滿の特殊性に鑑み軍需資源の獲得移民愛護村の福祉增進助成、鐵道沿線の培養等をモットーとして一大産業開發に着手することゝなつたが、右は過般滿鐵にて發表せる北滿開發計畫に基くものなるも牡鐵管內としては、その地理的重要性に立脚して農業部門は蔬菜の增産に主力を傾注すること、特に畜産部門は牡鐵獨特の創案になり老大なる豫算を投じて牛、豚、鷄等の畜産增殖計畫を樹立し、目下牡丹江省において實施中の東滿振興工作とタイアップして一路國策助成に向つて邁進すべく、實施案も完成したので來る年度替りより早急實施に乘出すことゝなり、目下準備に忙殺されてゐるが、計畫完成の曉は東滿産業界に一大エポックを畫するものとして注目されてゐる

大豆六圓台突破

頃來强調一途を辿り六圓臺高に迫つた哈爾濱大豆は本廿日更に歐洲高（八磅一志三片）と共に貨車繰り愍に基く證券物薄と此の機に乘じた輸出筋の買漁りならびに豆粕高を移した、油房の買氣旺盛に奔騰前場先限高値六圓四錢と遂に待望の關門を突破、昨年七月以來の新高値示現活況を呈し

滿業社債發行
シ團借入三千萬圓を返濟

【東京國通】滿業の本年度資金計畫は一億二千萬圓を豫定してをり、これが調達に關しかねてシ團側の諒解を求めてゐたが、その內まづ社債發行により昨秋シ團より借入れた三千萬圓を返濟することに方針を決定、同社の特殊性に鑑み條件その他に關し愼重なる考慮を要するのでシ團幹事銀行たる興銀と協議を重ねた結果意見一致し、廿日興銀にシ團の參集を求めいよいよ同社々債の處女發行を決定するに至つた、しかして發行條件は昨秋における日鐵債の經驗に鑑みこの際條件の行過ぎを警戒することを最も穩當と認めクーポンレートは一流社債の基準を踏襲、四分三厘パーとし滿洲國政府保證の關係から期限は一流社債の基準たる十年より二ケ年を延長し十二年とすることゝなつた

奉天省本年度日本人入植計畫

奉天省內の日本人農業拓士については昨年度において昌圖に七千町步、海龍の一千町步、東豐二百五十町步を決定したが現在農業拓士としては東豐の青森縣金木農場終了者二十戶四十六名が水田畑作百二十町步を耕作してゐるのみで、更に今回土地取得によつて本年中に同所に二十戶の入植を行ふ豫定であり、海龍の千町步には煙草移民百十戶を豫定し目下産業部を通じ日本關係方面から募集中で、これまた本年中には大部分が入植される豫定である、一方昌圖の七千町步については水害の被害地ではあり、本年中は堤防の新設、排水作業等に當り明春當りから相當多數の入植を企てゝゐる、省內に優秀な技術を有つ日本人拓士の入植が將來の農業土木の開發とゝもに非常な期待を持たれてゐる

滿洲製糖躍進
甜菜糖生産增大

滿洲糖業の確立を期するため滿洲製糖會社では産業部の協力を經て甜菜糖の生産力を本年度より一躍四十萬擔に增大することに決定したが、甜菜栽培にあたつては買上單價を一千斤七圓二十五錢より八圓まで引上げ、肥料、病虫驅除藥の支給、收益保證制度の實施など甜菜栽培に一段の努力を拂ひ、農民を集團的に動員して製糖一貫作業の實現を期する筈でその成果は注目されてゐる、なほ會社では滿洲に於ける砂糖の現地調辨を目標として甜菜製糖期以外の閑散期を利用して粗糖の精製をも行ふことゝなり、本年は台灣粗糖約三十萬擔を輸入する豫定である

一月中旬貿易

【東京國通】大藏省發表—一月中旬の對外貿易概要左の如し（單位千圓）

輸出	六九、六五四
輸入	九一、九五五
入超	二二、三〇一

哈爾濱航聯
昨年中業績

近く滿鐵の正式接收によつて北滿水陸交通の一元的統制機構下に新たなる發展的改組を見ることゝなつた哈爾濱航業聯合局昨年度中（康德五年度）の船客輸送人員はこの程正確なる調査集計を了へたがこれによると總計七〇九、四〇三人で前年度に比較して三四七八人、前年度に比し〇・四%を微減した、但し康德三年度に比すれば約一一%に當る六九、一五一人の著增となつてゐる、各地方河別輸送狀態左の如し（括弧內前年度）

	乘船人員	一人當平均乘船料（錢）
第二松花江	一、〇五五（九四九）	一〇三（一一〇）
嫩江	二、〇〇八（一、一八〇）	一一二（一一一）
哈爾濱上流	三、〇一七（三、六四四）	一〇八（一〇三）
哈爾濱	一〇一、五四七（一四〇、五一一）	三四七（三〇五）
哈爾濱下流同江間	三五六、八一二（三五〇、八五九）	一三六（一四三）
漠河上流	一、四三三（八一〇）	一〇七（一〇八）
上黑龍江黑河上流	一二、三六八（一一、九八〇）	三五三（三五六）
下黑龍江黑河下流	四〇、七三七（三三、〇〇〇）	三四二（三三三）
烏蘇里河	一〇、二三六（一一、九四〇）	三四三（三四六）
穆稜河	一	一
合計	七〇九、四〇三（七一三、八八一）	平均一五五（一六〇）

なほ同局所屬一〇九埠頭中乘船人員一萬人以上の主要埠頭名をあげれば次の通り

埠頭	
佳木斯	（一三三、四五九）
哈爾濱	（一〇一、五四七）
蓮江口	（七五、三二六）
三姓	（四九、六〇三）
富錦	（四八、四六〇）
通化	（二九、五八九）
湯源	（二六、九三四）
樺川	（二一、三八〇）
黑河	（二〇、三五〇）
木蘭	（一七、八五七）
方正	（一七、一一八）
新甸	（一四、三四七）
竹籬	（一三、三三五）
安克力	（一三、五五八）
新頭鎭	（一一、七九八）

世界的傾向たる鐵鋼自給策顯著
中井勵作

米國では、「鐵鋼業は大名に非ざれば乞食なり」と言はれてゐるのであるが、鐵鋼業程景氣の反映の甚しいものはない譯である、一九三六年末から一九三七年にかけて世界の鐵鋼需要は爆發的な增加を示し、一般的に鐵鋼不足の聲が喧しく、米國の製鋼作業率は一九三七年五月には九〇%を超えたのであるが、秋風と共に急激な減退を始め同年末には二〇%になつてしまつた從つて一九三七年上半期に於ては同國一六主要會社の利益合計は一億三千七百萬弗であつたが、一九三八年同期には一千四百萬弗の缺損に顚落してしまつたのである

同樣な現象は程度こそ弱いが、英、佛、白等の諸國に於ても之を見る事が出來る、これは下記の「世界主要國製銑高及製鋼高表」を一見すれば容易に分ることであらう

世界主要國製銑高及製鋼高（單位百萬噸）（括弧內の數字に世界總計に對する百分比を示す）

一、銑鐵

	一九三七年	一九三八年（推定）	前年比較
世界總計	一〇四、三（一〇〇）	八一、四（一〇〇）	二二減
米國	三七、二（三六）	一八、八（二三）	四九減
獨逸	一六、〇（一五）	一八、四（二三）	一五增
露西亞	一四、五（一四）	一四、八（一八）	二增
英吉利	八、六（八）	六、九（九）	二〇減
佛蘭西	七、九（八）	五、九（七）	二六減
白耳義	三、九（四）	二、四（三）	三九減
ルクセンブルグ	二、五（三）	一、五（二）	四二減
伊太利	〇、九（〇、九）	〇、九（一）	一

二、鋼塊（鋼鑄物を含む）

	一九三七年	一九三八年（推定）	前年比較
世界總計	一三六、六（一〇〇）	一〇九、八（一〇〇）	一九減
米國	五一、四（三八）	二八、五（二六）	四五減
獨逸	一九、九（一五）	二三、三（二一）	一七減
露西亞	一七、八（一三）	一八、三（一七）	三增
英吉利	一三、二（一〇）	一〇、八（九）	一八減
佛蘭西	七、九（六）	六、一（六）	二四減
白耳義	三、九（三）	二、二（二）	四四減
ルクセンブルグ	二、五（二）	一、四（一）	四四減
伊太利	二、一（二）	二、三（二）	九增

右の表を見て何人も氣の付く事は他の諸國が概ね減産してゐるのに反しドイツの躍進の著しいことで特に一九三八年の製銑高は各國を凌駕し世界第一位を爭ふに至つたことである（上半期に於ては明にドイツは世界製銑高の先頭を切つてゐたが年末に近づいて米國の業界が相當の恢復を示したゝめに一年間の總計は兩國殆んど等しく正確な統計が出來るまでは何れが首位にあるか決定しかねると言ふ狀態である）日本の數字は不明であるが銑鐵鋼塊共相當の增産を爲してゐるものと思はれる、其の他イタリー、ロシア等も相當の增加を見せてゐる

以上の如く一方の國に於ける甚しい生産の減退と他の國に於ける增加とが見られるが、これは近年進行しつゝある世界景氣、世界經濟の孤立化と言ふ現象の一つの現れであるとも思はれる、今我々は自給化の傾向を辿りつゝある世界鐵鋼業を一瞥して見やう

まづ、最近世界鐵鋼貿易が著しく減少して來た事を擧げなければならない、近年における景氣の波の二つの頂點である一九二九年と一九三七年とを比較して見ると各主要國の製鋼高（之を百とする）に對する鋼材半製品の輸出入の割合は次の如くなる

	一九二九年（輸出）	一九二九年（輸出入合計）	一九三七年（輸出）	一九三七年（輸出入合計）
ドイツ	三一	四〇	一九	二三
イギリス	四〇	六七	一八	二八
フランス	四九	五〇	二三	二五
アメリカ	四	一	七	八

即ち米國が近年その尨大な生産能力の一部を輸出市場に振向けて來た以外、各國の鐵鋼貿易は全く半減してしまつたのである、そしてこれ等大國においては輸出の減退が特に甚しい

併し貿易の減退は一般的現象である、そこで前期の期間における總貿易額と鐵鋼貿易とを比較して見ると（勿論一般生産指數と製鋼高指數と考慮した上で）英佛は鐵鋼貿易の減退の方が著しく、米國はその反對である、世界全體として見ると結局鐵鋼貿易の減退の方が未だ相當程度が低いと言ふ事が出來やう

併しこれは今までの事實であつて、今後も同樣であると斷定する事は出來ないと思はれる、それは鐵鋼業はその建設に多大の資本と技術とを要するものであるから自給自足が可能となるために多くの時日を必要とするのであつてその完成が他の産業より遲れるのは自然な現象であるからである

現に從來の製鐵國以外の國に於ける鐵鋼業建設計畫は注目すべきものがある、次に目ぼしいものを拾つて見ると南米ではブラジルが第一であるが一九三五年から五ケ年の間に鋼材生産額を三倍にする豫定であり（と言つても三十萬噸であるが）、ポーランドは政府の保護の下に製鋼高二百萬噸（現在百五十萬キロトン）を目標として居ると傳へられる、トルコの如きは從來近代的設備を全く缺いてゐたのであるが一九三七年四月新に百五十噸熔鑛爐二基及び之に伴ふ製鋼壓延設備の建設に着手し目下工事を急いでゐる、インドは既に連續ストリップミルを建設し、僅かながら各種鋼材の輸出に乘出してゐる（一九三七—三八年の鋼材輸出は前年度の十倍に達した、尤も未だ總計二萬七千噸であるが）

これ等の設備が完成した曉には鐵鋼貿易は更に減退を來し、自給自足の程度が更に進められるのではないだらうか

同時にブロック經濟化の現象も見られるのであつて、例へば英國の鐵鋼輸出中自治領及び植民地への方が一九二九年には五〇%であつたものが一九三七年には五三%、一九三八年半期には六二%となつてゐる、しかもこれは自治領及び植民地の鐵鋼自給力が最近甚しく增大して來たのを考慮しなければならないのであつて、自治領及び植民地の側から見ると英本國からの輸入の比率が非常に多くなつて來てゐるのである

さてこの自給自足の傾向の結果、一方には供給力不足のために法令によつて鐵鋼消費の制限を强行してゐる日本、ドイツの如き國があるかと思へば、他方米國の如く供給力過剩に惱み、需要の開拓、特に一般消費品の中に鐵鋼製品の新分野を求めやうと努力してゐる如く見られる國も出來て來た、そして、後者の傾向は、供給不足國に於ても今後擴張計畫が一應完了し且需要の減退を見たときには當然現れる所のものであらう

尙、他の一つの結果として國內貧鑛の開發が盛になつて來た、現にイギリス及びドイツの如き國産鐵礦石の鐵分含有量は平均三〇%であるが、今後更に品位の低い鑛石を使用せんとしてゐるため資源利用の範圍が著しく擴大されて來る傾向にある事は注目に値する現象であると思ふ

全國小中商工業者大會開催

【東京國通】日本商工俱樂部主催の全國中小商工業者大會は廿日夜軍人會館で開催、北は北海道から南は九州、朝鮮に至る全國業者代表三千餘名出席し、先づ陣歿將士に對し默禱を捧げたのち緊急動議として皇軍將士に對する感謝狀發送に關する件ならびに左の如き宣言文を滿場一致で可決した

△宣言文 茲に吾等中小商工業者は各人の利害を超越し克く苦難に耐へ事變究局の目的達成のため擧國一致の態度を益々鞏固にし進んで國策の遂行に協力し東亞新秩序の建設に邁進せんことを期す

鑛工業勞働者技術者の國民登錄開始

【東京國通】鑛工業勞働者技術者等を差當り要登錄者とする國民登錄は愈々廿日から全國各職業紹介所を中心に一齊に開始された、この日六百萬の人口を有する東京府の登錄は正午まで直接出頭が約百名會社、工場からの申告表提出がざつと三千名であつたが、何しろ我國はじめての國民登錄實施のことゝて中には國民全體が登錄されるものと合點したり、土木勞働者の紹介所へ登錄と感違ひした人夫職が飛込んで來りした珍風景を點出された

有名小說に登場するモデル物語

小說のモデルといふと誰でも思出すのは、先づ紅葉の「金色夜叉」と蘆花の「不如歸」であらう。これについては幾度かモデルが詮議されたが、今では傳說みたいになつてしまつてゐる。

宮に似し後姿や春の月

熱海の海岸にある此の句碑は小栗風葉の書いたものであるが、その他貫一茶屋といふのもあり、實在か傳說かわからなくなつてゐる。

貫一 は童話界の大立物巖谷小波であるといふ噂は余りにも有名であるが、貫一の如く高利貸をしてゐたといふ噂もきかぬ。

「不如歸」の片岡中將が故大山元帥、浪子は信子といふ本名で吉井勇氏の從妹、川島武男は三島章道子爵の亡父彌太郎といふことになつてゐるが蘆花自身が題材の出所として大山元帥の副官から得たといつてゐるのだから眞實であらう。蘆花はまた乃木大將をモデルにした「寄生木」を書いてゐる。

◇

次に問題になるのは漱石の「虞美人草」及び「坊ちやん」であらう。前者のヒロイン藤尾は故厨川白村博士の未亡人の娘時代の性格をモデルにしたことは余りにも有名な話である。後者のモデル詮議も常に繰り返へされるが、當の坊ちやん、山嵐になつたのが澤山現はれてくるのだから、漱石も地下で苦笑してゐることだらう。この邊になると詮議立てするのさへ馬鹿らしくなる。

漱石 門下として芥川、菊地、久米、松岡といふ一連の作家が名をあげたが、久米正雄氏の「破船」も深刻なるモデル問題を惹起した、登場人物も凡て實在の人物であつた。久米氏の漱石令孃に對する失戀も、久米氏の獨り合點で失戀したのだといふ噂もあるが、此の時の漱石令孃筆子さんの氣持を知りたいならば菊池氏の「友と友との間」を讀めば解る、筆子さんと結婚した松岡讓氏は後に「憂鬱な愛人」を書いてかなりセンセーションを捲き起してゐる。

◇

最近といつても五、六年前になるが龍膽寺雄氏の「M子への遺書」はモデルが悉く本名で、文壇內部でかなり問題になつた。古くは相馬泰三氏の「荊棘の道」で、これは作者が日頃交遊してゐた友人達を悉くモデルにして物議を釀したものである。更にモデルが問題になつて互に絕交したのは里見弴氏の「おせつかい」と中戶川吉二氏の「北村十吉」である、中戶川氏の夫人は里見氏の書齋へ出入してゐた文學少女で、この戀愛のいきさつが問題となつたのである。絕交ではその他に

里見 氏と志賀直哉氏との問題もあるが、現在では舊交に復してゐるさうだ。また谷崎潤一郎氏と佐藤春夫氏の夫人讓渡事件も一時世間を騷がせたが、矢張りその前に絕交といふ問題もからみ合つてゐた。谷崎氏の「神と人との間」及び佐藤氏の「この三つのもの」は共に此の間の事情を詳しく語つてゐる。谷崎氏の「痴人の愛」や「愛なき人々」等は凡て葉山みち子として知られてゐた精子さんをモデルにしたものである。

◇

一詩暴露小說が流行つたが細田民樹氏の「眞理の春」は沒落した資本家M・T氏との家庭關係を暴露したものである その他例の朴烈事件をモデルにした「黑の死刑女囚」細田源吉氏の「陰謀」には世間を騷した說敎强盜がそのまゝモデルとなつてゐる。

里見弴氏については前にもふれたが、この人は殆ど自分の肉親達をモデルにしてゐるので有名で

有島 武郎氏をモデルにしたのは特に多い、更に菊地寛氏の「結婚二重奏」は愛妻を失つた直後の橫光利一氏と川端康成氏を一緒にした樣な人物を配し「眞珠夫人」は白蓮夫人の家出事件をモデルにしたと云はれてゐる。

主婦の常識 シャツのサイズ どうして測るか

シャツの サイズのとり方は兩袖の付根のところに於ける胴廻りを置き尺にて計つたものを長さとしてゐるもので、35、36とかあるのは時を示してゐて、新しいメートル法では鯨で85、90、95となつてゐます、但し麻生地クレープの樣なものについては置き尺ではなく、使用上適合する號數を表記してゐます

ズボン下 のサイズのとり方は後方部の調節用製目のあるものはこれを閉ぢ、無いものはそのまゝ釦を掛けずにズボン下の最上部の腰廻りを二つ折とし、その一端から一端に至る寸法をとりこれを二倍したものをその長さとして無名數にて表記します、麻生地クレープのやうなものはシャツと同樣使用上適合する號數を表記してゐます、サイズはシャツと同じく36、又はメートル法で90、95、と示します、尙コンビネーションの場合は股下部の胴廻りの長さをサイズとしてゐますが、股上の寸法が付記されてゐる場合もあります、この場合は胴廻り寸法の下に例へば90、95と云つた工合に付記します、即ち、之は胴廻りが90、で股上の廻りが95、ある云ふわけです、これも麻生地クレープ物の時は使用上に適合する號數を表記します

「寒いと何故肌が荒れるのか？」

年が改まつて、愈々本格的な寒波の襲來を忍ばねばならぬ生活が始まりました、中でも水仕事をなさる方達の爲に荒れの原因と豫防と手當に就いて說明致しませう

×　×　×

荒れる〳〵と申しても、漠然と夕と水仕事をするに皮膚がかさ〳〵になつてひゞが切れるのでベルツ水を塗つてゐますが、大して効目もありませんわ、クでは必許ない、荒れる原因は水許りでなく、湯を使つた場合風に當つた場合、アルカリ性成分のものを使つた場合などのある事を御存知ですか

（ま） づ荒れない皮膚とはどの樣な狀態にあるかを說明致しませう、顏にしろ手にしろ適當な水分と脂肪をもつ皮膚は滑らかなのです、ですから、水使ひした後の手をよく拭かずにゐて風に遭ふと水分が、風に取られてしまつて荒れる譯なのです

湯を使つた後も、水を使つた後以上に、脂肪分が溶けてとられてゐる上に、水分の蒸發が早いので水の場合と同じ樣に『荒れ』をみます

又アルカリ性成分は脂肪を溶かしますので、適度のアルカリ分を含んだ石鹼や化粧水ですと、脂肪がごみをつけて去るわけですが、强度なアルカリ性成分は必要以上に脂肪を取り去りますので、洗濯石鹼や洗濯曹達の扱ひには特に注意しなければなりません

（要） はなるべく水氣をつけぬ事、風に當てぬ事が荒れを拂へぬ根本條件なのですから、豫防としてはマスクや手袋を用ひたり、ゴム手袋を利用なさる事は賢明な策と言へませう、ゴム手袋もその儘つかはず大き目のを求めて、軍手又は古手袋をはめた上に、はめる樣になされば全然寒さ知らずです、脊に腹は變へられぬこの際、面倒でもこの位の手數は止むを得ません

（荒） れの程度に應じて手當を致しませう

さほどひどくない時は手をよく拭つてまめにベルツ水やグリセリンを擦り込む程度で、手當にも豫防にもなります

相當のひどい時は、夜でも仕事の終つた時に金盥一杯の湯に硼砂茶匙一杯とグリセリンを十滴ほど入れ、そこへ兩手をつけて揉み、柔らかくなつた時に、よく水分をとつて油性クリームなり、ベルツ水をつけるとよろしい、應急手當としては油性クリームなりワセリンなり、良質の脂肪分をたつぷり手につけて手袋をはめて就寢なさるとよい

顏の方は化粧水よりもクリームを厚目に塗つて、風がぢかに肌に觸れぬ樣にし、唇にも忘れずに油性クリームを塗りませう

健康相談

鼻が塞る原因は何か

（問） 私は十七才の靑年です。今より四、五年前から鼻が塞つて息苦しく不自由を感じますが、其の後商業に從事し業務に盡瘁、勞働過多の爲か現在は特に酷く非常に惱んで居ります。良い治療方法を御敎示下さい（柯祐）

（答） 御文面に依りますと可成以前から鼻が塞つて息苦しいとの事ですが、鼻閉には二通りの意味があります、即ち一つは鼻腔內に多量の分泌物が溜つて、そのために鼻閉を來たす場合と、もう一つは鼻腔內にある粘膜が肥厚して起る場合であります。貴下の場合は後者即ち慢性肥厚性鼻炎があるものと想像されます。極めて輕度の際は鼻腔內を微溫食鹽水にて洗滌するのでありますので、之れも多少技術を要しますので、一度專門醫に就き御相談の上なさるとよいと考へます。可成病狀の進んだものは肥厚せる部分の切除法を講じなければなりません。何れにしても一度專門醫に就き病狀の程度を確定していたゞきたる上治療を講ずる樣お願ひ致します。（回答者 新京特別市立醫院耳鼻咽喉科々長醫學博士 岩田龍生）

（痩）（せ）（る）（苦）（勞） 健康の線に沿つた方法を選ぶべし！

△……肥つた御婦人が痩せたいと希ふ苦心といふものは、到底痩せた人や中肉の人には想像も及ばぬものがあります、この痩せる方法には藥品或は脂肪の吸出といふ事も無いではありませんがどうもお奬め出來ません、まづ手ッ取早いのは食餌療法とスポーツでせうそれに食餌の方は減食して榮養不良になつて眼を引込ませてしまふなどもつての外のことで、そんな位なら健康にマル〳〵肥つてゐらつしやる方がどれ程結構か判りません、最後にスポーツに依る痩身法が一番安全で好適だといふことになりますが、これも身體の部分々々によつてスポーツの選擇が異ならねばなりません

△……例へばお尻の大きなお方には乘馬が最も結構であります、それから繩飛び、自轉車、機械自轉車等もよろしうございます、肩、胸部等の餘分な肉をおとすには水泳が好適でありませう、胸部、肩、腕の形を整へるには球轉ばし等も宜しうございます、それから腰の線を美しくするのには特にフェンシングがよいとされてをります

美味しい寒餅 なぜ保存出來るか

寒餅 一月下旬から二月へかけては、暦の上での大寒ばかりでなく、氣象上からも大寒ですこの寒に入ると昔から寒餅が搗かれます

といふのは寒に入つてから搗かれるのでこの名があるのですが、暮から正月にかけて搗いた餅に比較すると、寒餅は保存に適するところから、年末にはお正月に食べる當座用の餅だけにとゞめて置いて、あらためて寒に入るのを待ち三四月ごろまで食べるのを搗くのが普通です

何故 寒餅は保存に適するか、主としてこれは氣象的の因子によるもので、即ち大寒の頃になると前にいつたやうに氣溫が低くなり、このため細菌の繁殖が困難で、したがつて水餅にした場合にも味に變化を來たさず、また黴るおそれが非常に少い、これが寒餅の保存用として適當な理由であり、また古來このために寒餅といふものが行はれてゐるのです

保存 の方法としては水に漬け込むのが普通です、搗いたまゝで置くと、多くは空氣中の濕度が低く從つて乾燥が早い、風味の上からいふとこれは非常によいが、水分が少くなつてゐるため硬く、水餅に比較すると消化が劣ります、齒の惡いもの、子供などには不適當です

水餅 これに反して消化がよい、特に寒餅はよいといはれてゐますが、これに關する科學的な證明はまだないやうです、なほ同じ餅でも米餅のほか粟餅がありますが、消化の點では粟餅は米餅に對して多少劣つてゐます、普通胃中における米餅の消化時間は二時間三十分です、餅の成分は米の場合原料の關係からその大半は含水炭素で、蛋白は七、〇前後、脂肪にいたつては問題にならない、またビタミンもありません

歌手天晴れ 圓盤五人男 稻瀨川勢揃ひ

◇……東海林太郎――問はれて名乘るもをこがましいが、生れは秋田の片訛、十四の年から歌が好きで、身のなりはひも白雪の、寒さに鍛へし聲と咽喉、唱歌はうたへど勉强はせず、人の情も秋田の身の追分から大曲 唄が巧いと大館られ、滿洲大連から引返して、赤城の子守唄で名をあげた、六十餘州に隱れねえ、センチメンタル謠の首領東海林太郎

◇……霧島昇――さてその次は福島縣、東北生れの拳鬪上り、不斷着馴れしグローブも捨てゝタキシードに化け、赤城しぐれにしつぼりと、ヒットを出したそれ以來、愛の山川踏み越えて、惡い浮名も別に立たず、だん〳〵溜る貯金函、泣いてくれるなホロ〳〵鳥よ、俺ア田舍者の辨天小僧霧島だア

◇……藤山一郎――續いて次に控しは、月の武藏の江戶育ち、餓鬼の折から氣取り屋で聲變りからぐれ出して、旅を稼ぎに歌うたひまぶな仕事もどうやら當り、純情と云つて寺々や、女學校の女に持て、丘を越えたり鐘が鳴り、酒は淚か溜息か、心の憂さの捨てどこに、歌をばらたふ藤山一郎

◇……上原敏――又その次に列なるは、以前は會社のサラリーマン、鈍き表情磨き上げ拜啓御無沙汰しましたが、僕を益々元氣です、これが當つてヒットして、自慢ぢやないが見せたい家を建て、今日ぞ命の明け方に、窓から仰ぐ星月夜、その名も上から敏と鑑をしたやうな堅い男

◇……德山璉――扨どんじりに控しは、潮風あらき小ゆるぎの、磯馴の松の曲りなり、頑固で肥てゴツ〳〵だが、駄洒落の道も辨まへて時にきらめく地口ユーモア ロッパと組んでは、恐ろしや舞臺度胸の見物殺し、背負つて立たれぬ罪科は、その身に重きおデブちやん、そうで女に持てはすまい、しかし悲觀はしない、死ぬ時も笑つて死なうといふ念佛嫌えな樂天家、その名も玉のやうに丸々肥つた德山璉

季節の料理

かきの前菜

かき廿個、レモン半個、トマトケチャップ小匙十杯（五人前）

◇…貝に入つてゐるカキならば、汁を捨てない樣に貝からはがし、そのまゝ貝に入れておき、カキの大きい物一つについて鹽を耳かき一杯、胡椒少々をふりかけ、レモン汁又は橙酢をしぼりかけ、その上からトマトケチャップを少したらす。

貝からむいてあるカキならば淡鹽水で洗ひ、ふきんにのせて水氣をきる。そして足のついたコップ又は普通の向付の鉢などに一人前五つ位を入れ、前のやうにしてすゝめる

之は洋食の前菜に用ゐてよく日本料理の酢物として出してもおいしい。

けふの番組

「M・T・C・Y 新京放送局」廿二日（日曜日）

◇朝◇

七、五〇（大連）ラヂオ體操・入港船のお知らせ
八、一〇ニュース
八、二五（大連）氣象通報 朝の音樂
九、〇〇（東京）子供の時間
九、三〇（東京）管絃樂（解說付）日本放送交響樂團 指揮 服部正
一、組曲「子供時代」シューマン作曲 服部正編曲
二、圓舞曲「皇帝」ヨハン・シュトラウス作曲
一〇、〇〇（京都）日曜勤行 =黃檗宗大本山萬福寺より中繼=
一〇、四〇（東京）週間を顧みて「錄音」

◇晝◇

一一、五〇（東京）經濟市況
一一、五九（東京）時報
一、〇〇レコード マンドリン合奏
一、軍隊行進曲
二、マンドリン合奏 スペインの小夜曲
三、マンドリン合奏 野ばら
四、マンドリン合奏 赤い翼
五、アコーディオン合奏 ミミル
六、アコーディオン合奏 愛の酒
七、アコーディオン合奏 愛のビギン
八 アコーディオン獨奏 ヴォルブタ
〇、三〇（東・新）ニュース
一、〇〇（大阪）傷病將士慰問の午後 =大津陸軍病院より中繼=
一、齊唱と合唱 黎明勤勞の歌 愛馬進軍歌 白衣の皆樣お大事に 外

◇夜◇

（五）
JOB八唱歌隊
伴奏 大阪ラヂオオーケストラ 指揮 內田元
二、落語 桂三木助
三、歌謠曲 松島詩子 伴奏 大阪ラヂオオーケストラ 指揮 福喜多鎮雄
四、漫才 わらわし日記 松鶴家光晴 浮世亭夢若
五、浪花節 大竹重兵衛 吉田小奈良
六、歌謠曲 豆千代 きり香 三味線 伴奏 大阪ラヂオオーケストラ 指揮 福喜多鎮雄
四、〇〇（東京）ニュース 氣象通報・ニュース
四、三〇（東京）大相撲春場所實況「十一日目」=兩國々技館より中繼=
六、〇〇（大阪）子供の時間 連續童話劇 日本人オイン 大佛次郎原作 堀正旗脚色 BKコドモ會
六、二五 音樂鑑賞（レコード）
ヴァイオリン奏鳴曲第七番は短評作品三〇ノ二 ベートヴェン作曲
第一樂章 アレグロ・コン・ブリオ
第二樂章 アダヂオ・カンタービレ
第三樂章 アレグロ（スケルツオ）
第四樂章 アレグロ（フイナーレ）
ヴァイオリン フリッツ・クライスラー
ピアノ フランツ・ルップ
七、〇〇（東京）ニュース・告知事項・今晩の番組
七、三〇（大阪）日曜特輯 JOBK文藝課編輯 ニュース漫藝
八、〇〇（松本）浪花節 =松本市松本座より中繼= 乃木將軍信州墓參 筑波雲
八、三〇（松本）俚謠 =松本市松本座より中繼=
一、ざんざ節 長野縣下伊那郡伊那里村有志
二、安曇節 長野縣北安曇郡松川村有志
八、四〇（東京）連續ラヂオ小說 眞實一路（上） 山本有三原作 關口次郎脚色演出 夏川靜江 林文夫 外
九、三九（東京）伴奏 東京放送管絃樂團 時報・ニュース 氣象通報・ニュース・告知事項・明日の番組
一〇、三〇ニュース再放送
一〇、四〇（哈爾濱）北滿時間
アナウンサー荒井（朝）渡邊（晝）田中、上森（夜）

學藝

新年文藝佳作

移民の子（二）

吉川八郎

永俊の兩親は雑草の中から息ひつたけ伸びる事の出來なかつた穂の軽い麥を路木づゝ纏めては刈り取つた八月の太陽は遠慮なく彼等を射てゐる

「お父うさん（アバーチ）」

永俊は遠くから聲をかけた。

父親も母親も麥を刈る事を止めて腰を伸ばし永俊の方を見た、そして又無言で麥を刈り出した。

『お父うさん此處におくよ』

永俊はポプラの根元に茶碗の包みを置くと北側の岡を目指して一目散に駈け出した。

彼は直ぐ吹き亂れた桔梗や女郎花の雑草に呑まれてしまつたが、間もなく岡の中腹をかけ登つてゐた。

岡の南斜面には崩れた土壁が幾つてゐる。其の西と東側は落葉樹が數本立ち並んで居るが、其内の一本は永俊が實を求める梨の木だつた、樹下に駈けつけた彼は、枝に一錢銅貨大の石梨が鈴生りになつてゐるのを發見して喜んだ。

彼は木の中枝まで攣ぢ登ると、其の梨を捥いでは上衣へ（チョコリ）の物入に落してゐたが、やがてそれでも滿足出來なくなつたので、再び地上に降り立つて上衣を脱いで地面に敷き、捥いだものを投げ落して之に包んだ。

上衣に包んだ梨を抱へた永俊は包の中から大きそうなのを取り出して、口に啣へては囓じり乍ら岡を下り始めた。

彼はこの時始めて廣々とした曠野を眺めた。遥か下の方に父親と母親が黒く動いて居る黄色の花に埋まつた草原が遠くの山の麓まで續いてゐる。

その薄墨ずんだ長い山の上に茶碗を被せたやうな白い山が見へる。あれが白頭山だとこの前父親から聞かされた。あの山を越へた向ふの故郷が思ひ出された。

移民して以來學校にも行けない彼には友達もなかつた。三年の時まで一緒だつた隣の二次（アルジャ）や雑貨屋の徳吉（トツキリ）は今どうしてゐるのかと思ひ出さずには居られないし、それを思ふと今でも故郷に歸り度くなつた永俊にはあの時分がとても幸福であつたやうに思へて仕方がなかつた。

永俊は酸つぱい梨を囓り乍ら歸りの道を急いで居た。

丁度葦の澤山生へてゐる水溜りの處まで來た時、彼は異様な鳴き聲を耳にした。ハッと立ち止つて聲の方向を見たが何も見へない。溜まつた水溜りに無數の葦が亂生して陽炎迄が長閑そうにキラ／＼動いてゐるだけである。彼は夢中である事の考へに耽つて居たので、あの異様な鳴き聲は何かの聞き違ひかも知れないと思ひ、ふと驚いた自分が恥かしいやうにも感じられて來た。それでも尚念の爲と思つて、抜き足差し足でもつと水溜りに近寄つて見た。この時又異様な鳴き聲を聞いた。もう耳を疑ふ餘地はなかつた、人や獸ではないが、生き物の斷末魔の悲鳴が彼の心臓に響き渡つたのである。彼は我を忘れて其方を凝視した。

彼は其處で全身水を浴びたやうなショックを受けた。温まつた水溜りの葦の密生した間に長い躰を横たへた蛇が、水面から擡げた首の先に躰よりも大きい青蛙を啣へてゐるではないか。蛙の躰は既に半分を蛇の口中に沒してゐる。

蛙の悲鳴は又聞へた、もうさつき程の強い響きはなかつた悲鳴と云ふよりも絶へ入るやうな絶望の叫び聲である。刻一刻蛇の口中に沒して行く蛙の姿と、一回毎に細められて行く悲鳴とは永俊をそれ以上其處に止まらしめなかつた。

彼は見てはならないものを見てしまつたと云ふやうに耳を退けた。そして再び家の方向に足を向けたが、彼の足は重かつた。

彼はこのさつき迄、家に寝てゐる妹の事を考へ續けてゐたのであるが、其矢先あの斷末魔の悲鳴に接して、何かしら妹の將來が暗示されたやうな氣がしてならなかつた。哀れな蛙の姿は病魔に囚はれた妹の姿に似てゐるからである。そんな事はないと自から打ち消してみたが、仲々彼の頭からあの光景は去らなかつた。

重い氣持になり乍ら移民部落の東門を潜つてやうやく家に着いた。

永俊は家に着くと直ぐ寝てゐる妹に聲をかけた、

「華玉（ファオギー）歸つたよ」

「華玉、これ何だか知つてゐる」彼は上衣に包んだ梨を示した、妹の窶れた目の中には何か好奇心がひらめいたやうである。しかし彼女は微かに永俊の好意に答へてゐるやうな反應を示した丈で何も言はなかつた

「分らないだらう、梨だよ」

永俊はアンペラの上にバラ／＼つと擴げた。そして良さそうなのを二つ選んで華玉に渡した、妹は微笑しながら、枯木のやうに痩せた右手を出して受け取つた。

「有りがとう。……きのふも花取つて來て呉れたんだねまだあんなによく咲いてゐるよ」

台所との境の柱の根元にサイダー壜に入れられた桔梗の花が綺麗に咲き揃つてゐる。

華玉は嬉しかつた。兩親は扶役と家事に追はれて晝間は家に居つた事がない、雨の日や夜家に居つても、其時も又栗搗きや家の補修に追はれて彼女に親切な言葉をかける事が出來なかつた、永俊一人が彼女の味方であり、慰安だつたのである

創作

松飾り（二）

大脇一雄

「―さあどうぞ」

繁子は、急いで坐蒲團を勸めると、もう一度襟元を掻き合はせ、首筋に垂れる遅れ毛を撫で上げ乍ら云つた。

女は、やつと、それでもひどく遠慮勝ちに、首から静かに襟巻を滑らせ、手袋を取ると

「―妾、新田千枝と申します、今夜は夜中をお騒がせしまして―」

と、慇懃に頭を下げた。

「―妾、繁と申します」

さう云ひながら繁子は、女らしい氣持のまゝ、ちらりつと女の横顔を見上げた。女は斷髪であつた。青白い顔に、こめかみ邊から亂れた遅れ毛がなよ／＼と逆立ち、外の冷氣の爲か、唇が紫色にわなゝいてゐた。

「何か、御用件は―」

繁子は、夜更けの突然の出來事に、すつかり破られた夢心地の中で、何か不機嫌になつてゐる自分に驚き、―お寒いでせう?、どうぞこちらへ―と、我にもなく拙い口調で云つた。

「はあ、有難うございます。あの―」

と女は、何か云ひにくさうに暫くの間面を伏せてゐたが思ひ切つたやうに、つと顔を上げた。

「實は妾、お宅の御主人と一寸知り合ひの者なんですけど―」

「―敏朗の!」

と繁子は、夫の知り合ひで、新田と云ふ姓を持つ者を、忙しく頭の中に描き出さうとしたが、ふと、女の持つ不安とも云ひにくさが、自分と云ふもの丶存在にあるのだと思ひ當ると、又しても何か知ら不足なものを感ずるのであつた。

「―さうでございましたか、敏朗は只今寝んで居りますけど―、一寸お待ち下さいませ」

「―さう云ひ夫を起しに立ち上がらうとすると、女は、ひどく氣の毒げな表情を見せ胸の邊に兩手を泳ぐやうに浮かせながら。

「―もうお寝みでしたら明日で結構ですから、どうぞそのまゝで、あの―夜分お伺ひしながら眞に厚顔ましいお願ひですけれど―今夜お泊めして戴けませんでせうか知ら?」

繁子は、一瞬びつくりした顔で振り返り、又してもそれに氣か付くと、いけないぞ、と激しく心の中で叱りながら何氣なしに座に戻ると。

「―始めてお伺ひしながらほんたうに云ひにくいお願ひですけれど―」

女は哀願するやうな瞳を上げた。

整つた顔立ちではあつたが肌の荒れが、顔を上げた拍子に、首筋の邊にちらつと目立つて、瞳がカラ／＼と、水氣なく光つた。髪の裾がアイロンで焼け爛れてちり／＼にちれ上り、赤く亂れたその下には、荒れた額があつた。

繁子は、瞬間、女の言葉をどう處理したものか、と、嘗てこのやうなことが無かつただけに、この場の自分の取るべき態度につき迷ひながら、それでも、女の憐みをこめた瞳に遭ふと、それを無碍に斷り切れない氣持になつてしまふのだつた。

「―さうですか、何か―」

何か譯が―と聞き返さうとすると、女は、その水氣の失せた瞳を大きく見開き、繁子の顔を正面から、凝と見上げた。瞳は明かに、どうぞ事情は聞かないで―と訴へてゐるのである。

「―さうですか、では汚穢しい所ですが良かつたらどうぞ」

繁子は、半信の氣持ながら自分でも驚く程率直にさう云つてしまふと、ふと又何か、後悔にも似たものが心の底をちらつとかすめ去つた。

「―夜分突然お伺ひしながら厚顔しいお願ひをしまして眞に恐れ入ります」

女は、繁子の心の中の自家撞着を外に、さう云ふと、もう一度叮嚀に頭を下げた。

翌朝繁子が目を覺ました時は、二階の客間に寝てゐた女は、もう床を上げ、亂れた髪に手をやりながら、むつとするやうな女息と、煙草の白い煙を部屋一ぱいに澱ませてゐた。

ぐつすり寝込み、晝近くなつて漸く目を覺した夫の敏朗は、まだ夢心地の丹前姿で、茶の間に立つたまゝ、繁子から昨夜の突然な出來事を細々聞かされ、ほう、と、何か遠い昔話でも聞いてゐるやうな、さり氣ない返事をした。

繁子は、思ひがけない出來事の爲、昨夜は一睡も出來なかつた事やら、今朝の食事の事やらで落着かない氣持を、只一言、しかも何氣なしな輕い調子で、ほう、と、聞き流してしまふ夫に、何か遣瀬ないものを感じながら。

「―貴方その方御存知?、貴方の知人だつて云つてゐたわよ」

と、焦々した氣持を、夫の胸元に、ガンと、撲ちつけた心組みで云つた、すると、云つてしまつた後には、何か知ら、ざら／＼とする得態の知れぬほろ苦い感觸が殘り、おや、と自分で自分の氣持に驚いてみるのだつた。

「―いゝや別に、たゞ何處かで聞いたことのある名前だなあ」

夫はふと小首を傾ける風を見せたが、繁子の持つて行つた洗面器の湯で顔を洗ひ終へると、もうさうした事にも拘泥らない様子で、大分降つたねえ、と、窓外の雪に瞳を遊ばせてゐた。

夫が二階へ上つて行つて暫くは、寂として聲も無かつたが、間もなく賑かに笑ひ合ふ聲が階段を滑り降りて、勝手元に立ち働いてゐる繁子の耳にびん／＼と響いた。

夫は、その女のことに就ては一言も語らなかつたし、全然初對面であるのか、或は又以前から知つてゐたのか、繁子には、一寸見當もつき兼ねたが、今の笑ひ聲は、全然未知の人々の間に交はされるものではない事は明かである、―さう思ふと繁子は又、何か不快な感情に襲はれてしまふのであつた。

間も無く、夫と女は、何事か賑かに話し合ひながら階段を降りて來た。

心なしか、夫の顔までが、ひどく晴れがましい輝きを見せてゐるのも、繁子の不快をそゝるのであつた。

女が座を立つと、夫は、嘗て繁子にもみせたことのない優しい口調を向け、女が顔を洗ふ爲の湯をわざ／＼自分で洗面器に移して加減をみたりタオルを持つて行つて女の後から顔を洗ひ終へるのを待つてゐたり、

「―おい繁子、クリームを遣つておくれ」

等と、さり氣ない顔で云ふのであつた…

食事が始まると、

「―大野は元氣ですか?奴も大分飲む方だつたがねえ」

夫は―、瞳を細め、懐しげな感情をこめてそんな風に切り出した、

寫眞機　森洋行　中央通　電(三)三八七三

正月雑感

加藤金保

湯の街の富士よりをろす朝風に
別府灣頭年明けにけり（別府富士あり）

×

活ける山、火を吐く山よ雄々しぶり
つはものども門出にも似て（阿蘇山）

×

防共の固めを祈る人の列
旗押し立てゝ山深く行く（阿蘇山にて）

×

草千里、濱より見れば轆轤の
濤路けたてゝ門出するごと（阿蘇山にて）

バタゲキ欄

日本的な文學

―岡本かの子「鮨」―（「文藝」一月號）

この作者の小説作法は愈よ手慣れたものとなつて來たことが知られる。

こゝには東京の或る山の手での壽司屋、そこの看板娘と馴染客の一人とが書かれてゐる。女學校を出て、甘んじてさうした商賣をやつてゐる娘。長い外國生活をしたあとででもあらう、獨身の中年者が語る壽司への愛好のいはれ。それは彼の場合、人間成長の一つの重大な歴史をなすものなのである。この異常さを描いて、作者の筆も異常に熟してゐる。しかも讀後、爽かな感じが殘る。

これは一つの日本文學の誇らかな世界を示したものであらう。敢へて佳作に數へたい。（御堀南士）

書架

△華語學報（創刊號）四六倍二頁の週刊、支那文に發音を附し註をつけたもの、其他支那知識等を滅せてゐる（神戸市灘區弓木町五ノ八、華語學報社、三錢）

△養蜂界（一月號）（愛知縣中島郡奥町、養蜂界社、十七錢）

△大連商工會議所々報（一月十五日號）（大連商工會議所）

△正金週報（一月六日號）（横濱正金銀行調査課）

△滿洲グラフ（五四號）この號は在滿寫眞家連の作品を收めた特輯（南滿洲鐵道株式會社、二十五錢）

△發明の滿洲（一月號）加藤二郎「滿洲の科學一ヶ年の回顧」奥村愼次「滿洲に於ける重工業の進歩」その他の記事を掲ぐ（新京大同大街徳和館内、滿洲發明協會、四十錢）

……本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御寄附相成度し―（係）……

清和街事件より二年目

大寒の朝夢を破り 血に染む蘭花莊

徹宵必死の追及も甲斐無く 犯人捜査線下に潜る

夕刊既報、世は戰捷の春を謳歌屠蘇の香も未だ消えやらぬ大寒の日廿一日午前十一時頃市内高級住宅街興亞胡同一〇二蘭花莊二階七號居住新京自動車株式會社監査役城正直氏（三八）の妻女キミさん（二九）及び長男正男君（六）次男正純君（四）三名を手斧樣の兇器を以つて慘殺した殘虐なる殺人事件は過ぐる二年前即ち昭和十二年一月廿七日同じく白晝間惹起、市民を戰慄せしめた今尚記憶に新たな清和街殺人事件以來のもの、その犯行の殘虐兇惡さに於ては犯罪史上稀有のものであると當局に語らせた程凄愴悲慘なものであると共に今後の都市警備上に亦市民の自警上幾多の示唆を投げかけるものであつた、事件發生と共に首都警察廳では管下全警察官を總動員、田村副總監自ら陣頭に立ち文字通り國都警察陣の全機能を擧げた鐵壁の捜査網を張り午後七時捜査本部を本廳に移し兇惡なる犯人追跡に必死の活躍中であるが本稿締切りまで犯人は未だ捜査線上に浮び上らない【寫眞は犯行現場城氏宅と慘殺されたキミ子夫人及び長男正男君次男正純君、一昨年八月卅一日正男君滿三才の誕生日の撮影になるもの、正純君は當時生後八ヶ月半】

玄關で應接中の慘劇 可憐愛兒と共に

血潮大井に飛ぶ悽慘な現場

事件屆出の報と共に本廳より中島司法科長、島貫捜査股長以下各刑事、所轄順天署より松原署長、三上司法主任以下係員が急行檢證したが、犯行現場は同家の玄關上り端の約三疊敷の板廊下で夫人キミ子さんは全身廿數ヶ所の創傷に血まみれとなつて瀕死の重傷に北向横倒れとなり、頑是ない兄弟正男、正純兩君は腦を露出、體を並べて即死、玄關一帶は足の踏み場もない血の海、血潮は高く天井にまで飛ぶその凄愴殘虐さは目を覆はしめる涙と悲憤の修羅の情景を展開してゐた、同家ではこの朝主人正直氏は午前十時頃出社してをり慘事發見は同十一時二十分で、犯行は約一時間の短時間に行はれ、現場の状況より推定して犯人は同家を訪れ、夫人が應接に玄關口で兩手をつくや、矢庭に隱し持つた手斧樣の兇器を以て頭部を一撃、人の訪れにもの珍し母く親の後を慕つて出て來た二人の子供はこの慘劇を目撃、母のぶつ倒れるを後から「母ちやん」とすがりついたところを、後難を恐れた犯人はまたもや兄弟の頭部に一撃即死せしめ、さらに夫人に對し滅茶苦茶に毆打したものと見られてゐる

昨年暮移つたばかり

慘劇の行はれた蘭花莊は高級住宅街である興亞胡同の道路に面して北向きに建てられた二階建のアパートで、現在アパートに居住してゐるものは管理人山村榮次郎氏を加へて八家族、滿洲國官吏其の他中流以上の生活を營む家族持ちばかりで、二階に通ずる中央の階段を境に階上階下とも二家族づゝに分れてゐる、二階への通路は正面中央の階段と左右各一個の階段より他なくそれも二階では裏口には廻れないので、加害者は正面階段より上つて玄關から入つたものと思料されるが、階下二號の管理人山村夫人を訪ふと突發的な慘劇におろ〳〵しながら語つた

城さんはもと南新京の方にゐられ昨年暮の三十日に七號に越してこられた方でまだ隣近所とのお付合ひもなく、話をすると言へば私方ぐらゐなものでした、慘劇のあつた日の十時頃城さんが會社に出掛けられて一時間あまりして、いつも集金に來られる電業の近藤さんが來たので料金をお拂ひしてゐると、近藤さんが二階に上つたかと思ふと暫くして慌てゝ降りて來て兇行のあつたことを知り、二人で警察へ電話したのですが、二人とも目がチラ〳〵して容易に電話がかけられませんでした

美しい輪血も甲斐無く 夫人も絶命

謎を解く鍵消ゆ

いとしい二兒を見るも無慘に打ち殺され自らも二十數ヶ所に傷を負つて意識不明となつたキミ子夫人は事件發見より三十分後二十一日正午には發生現場である自宅より約一丁北方の興安病院に擔ぎこまれ院長吉田秀夫博士の治療を受けたが、顔貌も判らぬ位に切り刻まれてゐるので死生の間を彷徨して意識は回復せず午後零時半には腦の打撃による内出血に二百グラム程を口中より吐き出し全く重態に陷入つた、兇行の鍵を握る唯一の手掛りとして捜査當局の神經は瀕死の夫人が吐く一息々々 [illegible] 訊問が行はれ緊張のクライマックスに達したが依然として意識不明、駈けつけた京タク運轉手今井千一氏（二七）伊藤三郎氏（四一）宗源福氏他一名及び自ら進んで申込んだ同病院看護婦戸津川朝子さん（二一）等の輸血も効なく遂に同五時四十分一言も發せず謎を殘したまゝ絶命した、急報により馳せつけた城氏が『子供はもう仕方がないがせめて妻だけは……』と天に祈つた甲斐もなく愛妻の死にガクリと頭を下げた痛ましい姿は周圍の人々の涙を誘つた、なほ夫人の遺骸は午後七時夫君始め友人たちに見守られ病院を出て慘劇の行はれた自宅に安置され涙の中にしめやかなお通夜が行はれた

解決のヒント得て 必死の捜査へ

色めく捜査本部

兇惡犯人を追ふ順天警察署の捜査本部には田村副總監を始め森田警務科長、中島司法科長、島貫捜査股長及び廿一日發令を受けたばかりの新任新京地方檢察廳次長井出廉三氏（元司法部理事官）が駈けつけ「係員以外入室を禁ず」と貼り出した一室に徹宵頑張つて密議を續けその緊張せる空氣は本事件の如何に重大なるかを物語つてゐた犯行現場による推定あるのみで、檢證の結果居室六疊の間に置かれた書類箪笥は無慘に荒らされて血痕と指紋が附着、犯人は慘殺後室内を物色したことを歴然と物語つて居り、強盗の行爲を思はせ、また犯人の遺留した手袋及び首卷は滿人の使用せるものと見られ、かゝる點からして強盗を目的とする [illegible] つた犯人の逮捕も時期の問題で無いかと見られてゐる、なほ強盗説と怨恨説との重大な分岐點であるところの被害品は城家は家事に關してすべて夫人まかせであつたので城正直氏には被害品があるが一向判らず依然謎のまゝに殘されてゐる

夫人は敷島出身

無慘な兇行をうけ、遂に絶命したキミ子夫人（舊姓村井）は熊本縣玉名郡大野村生れで昭和四年第一期新京敷島高等女學校を優等で卒業後同年五月同校の庶務係として勤務してゐたが、同八年城氏と結婚、家庭は附近の人も羨むほど圓滿であつた

滿鐵醫院で解剖

慘殺された正男、正純兩君兄弟の死體は二十一日午後四時より滿鐵醫院に於いて解剖に附したが、五時四十分遂に絶命したきみ子夫人の死體も二十二日午前八時より同醫院で解剖の豫定である

久邇宮大妃殿下

御手編の襟卷、靴下を賜ふ

【東京國通】皇后陛下の御母君にわたらせられる久邇宮大妃俔子殿下には酷寒の第一線で活躍する將兵の勞苦を偲はせられる有難き思召から御暇々に御自身で御手編み遊ばされた襟卷、靴下等を廿一日陸海軍將兵に御下賜の御沙汰あり、思召に恐懼した榊田事務官は午前十時半陸海軍省に赴きそれぞれ襟卷十五枚、靴下五十一足宛を傳達した

この秕政續く限り 我等戰を欲せず

張鼓峰事件に投降のソ聯兵 記者團と會見語る

昨年八月張鼓峰事件の勃發後間もなくソ聯を脱出入滿して以來溫かい滿洲國の王道に浴して幸福な生活を送つてゐる二名のソ聯兵が、二十一日日滿軍人會館で關東軍記者團と會見、ソ聯の内狀、赤軍の教育狀況、入滿以來の感想等に關し兩君との間に左の如き一問一答を行つた、對外宣傳と全く反對のソ聯の秕政に喘ぎ壓制に耐へかねたソ聯民衆及び赤軍兵士の越境入滿は昨年の事變以來相つぎ滿洲國ではこれ等入滿者を保護し各人に正業を與へて生活の安定を計つてゐるが、この二人はピヨウトル・シヤーモフ君（廿二）とイワン・デシヤートキン君（二三）で、シヤーモフ君はオレンブルグ州生れコルホーズの會計係りを父に持ち沿海地方ラズドーリノエ所在の第三十二師團管下、三十二歩兵聯隊の二等兵で、昨年八月九日張鼓峰前面で投降入滿、デシヤートキン君はバシユキーノル地方ビルスク市の百姓の息子で同九十六歩兵狙撃聯隊の上等兵で同じく八月八日に入滿したものである、脱走當時は兩人とも暑熱と疲勞で全く憔悴してゐたが、今では當局の好意ある保護によつて半歳の間に全く見違へるほど肥り、協和服に身を固めた兩君はスツキリした青年で今後の活躍を誓つてゐた

問 投降入滿した動機及び張鼓峰事件の狀況如何

答 張鼓峰事件が開始せられるや、軍幹部は事變の擴大する可能性と日本軍の精鋭なるを說き、兵士の奮鬪について訓辭したが、吾々が八月五日張鼓峰に到着してみるとソ聯兵の士氣は銷沈し、戰鬪意識が全くなかつたが、その後戰車、飛行機等の武器をソ聯が集めたので戰爭は多分大きくなるまいと安心する傾向にあつた、自分等は入隊する以前から兩親からソ聯のために働く必要の無いことを力說されてゐた爲、最初から働く意識がなかつた、それは自分等の兩親は自分以上にソ聯の惡政を知り、宗教の信念が深かつたが、ソ聯で革命以來宗教々禁止し、又一九七〇年國營農場設置の場合も非常に民衆が反對するなど、反ソ意識に燃え、帝政を慕つてゐたので、吾々に對しソ聯のために働らく必要のないことを力說したのである、實戰に參加して吾々は愈よ投降を覺悟し越境したのだ

問 赤軍での政治教育狀況如何

答 赤軍で吾々は政治指導員から三十分づゝ資本主義國とソ聯の比較を聞かされ、ソ聯を謳歌しコルホーズの宣傳を說かれた、然し吾々兵への故郷からの便りは生活の困窮を訴へて、兵は指導員の話を信用しなかつた、外國の狀況については獨逸日本、伊太利の順で說明があつた

問 日支事變については？

答 日支事變については新聞や政治指導員の說明で知つてゐたが、ソ聯の援蔣には觸れなかつた、たゞ支那には共產軍があつて支那軍を指導してゐるから支那軍は負けないと言つて、支那軍の强いことを宣傳してゐた

問 リユシコフ大將の脫走を知つてゐたか

答 何も知らなかつた、噂さへも聞かなかつた、滿洲國に來てから初めて知つた

問 スターリンの肅正工作は？

答 最初は黨籍除名程度であつたが、漸次激化し現在では人民委員が人民委員を拘引する有樣である

問 來滿後の感想如何

答 滿洲國に來てからまづ眼についたのは、すべての物資、すなはち食料品、衣服が豐富で民衆の裕福なる生活をしてゐることだ、次いで各民族相互が非常に親切で且樂しく暮してゐることだ、殊に滿洲の吾々同胞が何れも自由な生活をして互ひに扶け合つてゐる美しい情景である、かつて滿ソ國境地帶に勤務して日、鮮人の動靜を見、農產物の耕作をみこ或る規約の豫想はしてゐたが、滿洲國に來て如實にその實態をみて驚いた、スターリンの沒落後吾々は祖國に歸る積りだ

大相撲十日目

勝	決り手	負
八幡錦	叩込み	千葉昇
照國	寄切り	白鷲
小松山	寄倒し	錦谷
陸奥錦	切返し	清美川
相模川	突落し	佐渡ヶ島
佐賀ノ花	寄倒し	櫻錦
源氏山	肩すかし	加古川
十三錦	渡込み	國光
松ノ里	寄倒し	若浪
松浦潟	吊出し	嶺纖
富ノ山	上手投	四海波
陸錦	寄切り	大八洲
若潮	突出し	番神山
中入後		
青葉山	寄倒し	出羽ノ花
倭岩	下手投	鶴ヶ嶺
肥州山	吊出し	桂川
幡瀬川	上手投	綾錦
金湊	浴倒し	藤ノ里
綾若	下手投	高登
一渡	突出し	海光山
楯甲	叩込み	神武山
大邱山	寄切り	土州山
五ッ島	押倒し	巴潟
太和錦	押出し	富士ヶ嶽
大潮	押倒し	龍王山
鯱ノ里	外掛け	兩國
駒ノ里	吊出し	大浪
安藝海	寄倒し	小島川
和歌島	下手投	旭川
鹿島洋	寄切り	磐石
出羽湊	下手投	羽黒山
玉ノ海	押倒し	名寄岩
前田山	打棄り	綾昇
双葉山	寄切り	鏡岩
男女ノ川	上手投	笠置山

大相撲春場所星取表

（○勝●負△預や休）

【東】

力士	成績（二日目—十日目）
双葉山	[illegible]
前田山	[illegible]
名寄岩	[illegible]
羽黒山	[illegible]
笠置山	[illegible]
九州山	[illegible]
（應召）	
鹿島洋	[illegible]
兩國	[illegible]
龍王山	[illegible]
五ッ島	[illegible]
大潮	[illegible]
和歌島	[illegible]
楯甲	[illegible]
綾若	[illegible]
幡瀬川	[illegible]
神武山	[illegible]
出羽ノ花	[illegible]
富士ヶ嶽	[illegible]
土州山	[illegible]
高登	[illegible]
青葉山	[illegible]
一渡	[illegible]
男女ノ川	[illegible]

【西】

力士	成績（二日目—十日目）
武藏山	[illegible]
鏡岩	[illegible]
綾昇	[illegible]
玉ノ海	[illegible]
磐石	[illegible]
旭川	[illegible]
安藝ノ海	[illegible]
駒ノ里	[illegible]
小島川	[illegible]
大和錦	[illegible]
大浪	[illegible]
鯱ノ里	[illegible]
大邱山	[illegible]
海光山	[illegible]
藤ノ里	[illegible]
肥州山	[illegible]
鶴ヶ嶺	[illegible]
錦華山	[illegible]
金湊	[illegible]
巴潟	[illegible]
出羽湊	[illegible]
桂川	[illegible]

滿拓生駒理事

滿拓生駒理事は最近における各訓練所義勇隊の越冬狀況並に新年度の入滿隊の準備狀況その他一般狀況の視察を行ふため廿三日午後一時四十分發のあじあで四平街廻り齊々哈爾に向ひ寧安訓練所以下各訓練所を視察し二月十日頃歸着の豫定である

三橋吉林新聞社長

吉林新聞社長三橋政明氏は廿一日午後五時四十分腦溢血で卒倒、手當の暇なく急逝した、享年五十七、氏は北海道膽振國虻田郡洞爺村出身、明治卅九年東京外語支那語科を卒業同年正金銀行に入行奉天支店に在勤、間もなく同行を退き獨立して大正八年吉林に轉じ在留邦人間に重きをなし、その間島省日報（現吉林新聞）を經營、推されて居留民會長に就任、昭和六年滿洲問題を提げて政府政黨各方面に向つて强硬對策を要望し、歸吉の翌日には滿洲事變勃發し、寢食を忘れ居留民を統率、一人の犧牲者をも出さず完全に保護の任を全うし次で關東軍護路軍、吉林省政府の各顧問として時の吉林軍參謀長現宮内府大臣煕哈氏と肝膽相照し事變收拾に、或は建國の大事業に影の人として偉大なる功績を樹てた人である、その後昭和十一年初め健康を害してより專ら靜養に努め最近は健康を回復その活躍を期待されてゐたが、この突然の計報に接し各方面とも餘りのことに愕然としてゐる、遺族は夫人との間に一女あるのみである、なほ告別式は未定である

ガチャン

開拓總局に初代局長となつた結城清太郎君は自治指導部から協和會とともに草創期に活躍、監察院を經て國都建設局に入つても國都建設の第一期に格好をつけたもの▼今度の新任も移民開拓の草創時代に持つて來いの型なのを買はれたものであらう▼前に新京にゐた頃は國都建設の實地見學か、それとも下情視察か、ネオンの巷などへもよく出掛けたやうだつたが、今度は取つ組んだ仕事の場所が曠漠だ、さてこれからは移民村へ出掛けて氣焰を揚げることであらうが

けふの天氣　西の風晴一時曇
きのふ氣温　最高零下一三度四　最低零下二八度二

若殿膝栗毛

中川雨之助

鬼の目に涙 (二百三十九)

「あいつは、縛られて行きやがるなんて果報な奴だらう。羨ましいなあ……」

市松、涎を垂らして、羨ましがつた。神武このかた、無い圖だ、と思ひながら、やつぱり羨ましがつた。それから、又彼は、ぶらぶらと、的もなく歩き廻つた。

そして不圖氣がついたら、いつの間にか、又た桝屋喜兵衞の表へ歸戻つて來て居つた。

桝屋の看板に氣がつくと、市松は、吸ひ込まれるやうに、ふらふらと這入つて來た。

「市松でないか、何しに參つた」

それと見て長七郎、帳場まで出て來て聲をかけた。

市松は、直ぐに返辞が出來なかつた。甘酢つぱいやうな氣持で、口の端をピクピク痙攣させてゐたがやがて涙が、ぽろぽろと眼を傳ひはじめた。

何のための涙か、それは市松自身にも分らないのだ。まつたく不思議の涙であつた。

「そちは泣いてゐるのう」

長七郎がいつたので、そばにゐた三平太等も、初めてそれと氣がついた。三人は

「鬼の目にも涙……」といつたやうな顔を並べて、べソを掻いてゐる市松に、不思議の眼を注いだ。

泣いて困るのう…と、叱かれると、親にあまえる子供のやうな氣になつて、市松は、よけいに悲しくなつて來た。

「若様ア……」

やつと、それだけ言つて、あとは咽喉に絡んで出て來なかつた。

「どうした?」

「おいら、名乘つて出て、潔くお仕置を受けようと思ひました。けれども、番所でも、町で掛合つた役人も、誰も相手になつて呉れねえ。あつしや巾着切です、といつても縛らうとしねえで、役人の方があべこべに逃げて行くんだ。役人が逃げるなんて、そんなベラボウが、あつた例のものぢやねえ。若様。市松が一生のお願えです、どうか、あつしを縛つて、役人に渡しておくんなせえ」

その市松の願ひに、長七郎は、ぢつと目をつけて居たが

「役人どもが、縛らうとしないのは、その筈ぢやよ」

と笑ひながらいつた。

それは市松に取つて、合點の行かぬ言葉だつた。

「若様、いつたい、それはどういふ譯で……」

「予が、助けて遣はしたのぢや」

「えッ」市松は目を圓くした

「嘘か、眞か、そちの改心を試したのぢや。これで、そちの本心もよく解つた、その改心を何時までも護りつづけて行くやうに……」

事情は漸く市松にも分つて來たみんな長七郎の情のはからひであつた。

お城外で、正體の掴まれた罪人は、長七郎から戻した上、若し巾着切の市松といふ者が名乘つて出ても、彼は當方の縁故の者で、その上、改心の状、顯然たるものである、どうか見逃して貰ひたいといふ頼み込があつた。

なにしろ相手は長七郎・體の一ト聲であつた。そこで町奉行方から早速役人一統に沙汰があつた。それを聞いた役人

「方々、その市松といふ巾着切の人相を御存知か」

「いや、拙者ども一向に存じ申さぬ」

「それは困つた。若し逢つて聲でもかけて御覧なされ、それこそ遁ら

だけではすみませぬぞ」